

I 調査の概要

1 調査対象者及び調査方法

対象者	配布方法	回収方法
区内子育て施設を利用している子どもの保護者 (認可保育所、幼稚園、認定こども園、認証保育所、 家庭的保育事業所、小規模保育事業所、児童館、子ども 未来プラザ、子育てひろば)	利用している 施設で配布	利用している施設 または インターネットで の回収
区内子育て施設を利用している子どもとその保護者 (学童保育クラブ)		
無作為抽出した区内に住む小学生、中学生、高校生と その保護者	自宅に郵送	郵送または インターネット での回収

※いずれも無記名自記式

2 調査期間

令和 7 年 6 月 24 日(火)から 7 月 14 日(月)

3 配付・回収状況

①保護者調査

施設等の種別	対象施設数	配付数	回収数	回収率
認可保育所 (公立・私立)	8	618	361	58.4%
幼稚園 (公立・私立)	4	270	146	54.1%
認定こども園	1	90	37	41.1%
認証保育所	1	28	7	25.0%
家庭的保育事業所 (保育ママ)	12	49	40	81.6%
小規模保育事業所	1	20	14	70.0%
学童保育クラブ (公立・私立)	6	120	39	32.5%
児童館・子ども未来プラザ	7	195	71	36.4%
子育てひろば (公立・私立)	2	110	84	76.4%
小計	42	1500	799	53.3%
郵送調査	-	500	203	40.6%
合計		2000	1002	50.1%

②子ども調査

施設等の種別	対象施設数	配付数	回収数	回収率
学童保育クラブ（公立・私立）	6	120	31	25.8%
郵送調査	－	500	160	32.0%
合計		620	191	30.8%

(参考)

		配付数	回収数	回収率
令和6年度	保護者調査	1,995	850	42.6%
	子ども調査	665	172	25.9%
令和5年度	保護者調査	1,989	1,022	51.4%
	子ども調査	606	183	30.2%
令和4年度	保護者調査	1,900	951	50.1%
	子ども調査	620	237	38.2%
令和3年度	保護者調査	1,887	1,026	54.4%
	子ども調査	586	241	41.1%
令和2年度		2,499	1,569	62.8%

※令和2年度以前の調査は、区内の子育て施設等を利用している児童の保護者を調査対象としている。

4 回答方法

①保護者調査

	回収数	割合
調査票(紙)回答	529	52.8%
インターネット回答	473	47.2%
合計	1002	

②子ども調査

	回収数	割合
調査票(紙)回答	109	57.1%
インターネット回答	82	42.9%
合計	191	

5 調査結果の見方

- 図中の「n」は、当該設問の回答者数を表します。対象を限定した設問では、「n」の値が全体の回答者数より小さくなります。
- 集計した数値（％）は小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が1つだけの場合、選択肢の数値（％）を全て合計しても、四捨五入の関係で100%にならないことがあります。
- 回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えます。
- 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。
- 「無回答」には、単数回答を求めている設問で複数の選択肢に○が付されている等、集計から除外した票数を含みます。
- 解説における回答比率の前年度との比較は、以下の指標に基づいて表現しています。
 - 3ポイント未満の変化…「大きな変化はみられません」
 - 3ポイント以上5ポイント未満の変化…「やや増加（または減少）しています」
 - 5ポイント以上10ポイント未満の変化…「増加（または減少）しています」
 - 10ポイント以上の変化…「大きく増加（または減少）しています」

Ⅱ 調査結果（保護者）

1 子育てに関するそれぞれの項目について、あなたの評価に最も近いものを一つお選びください。

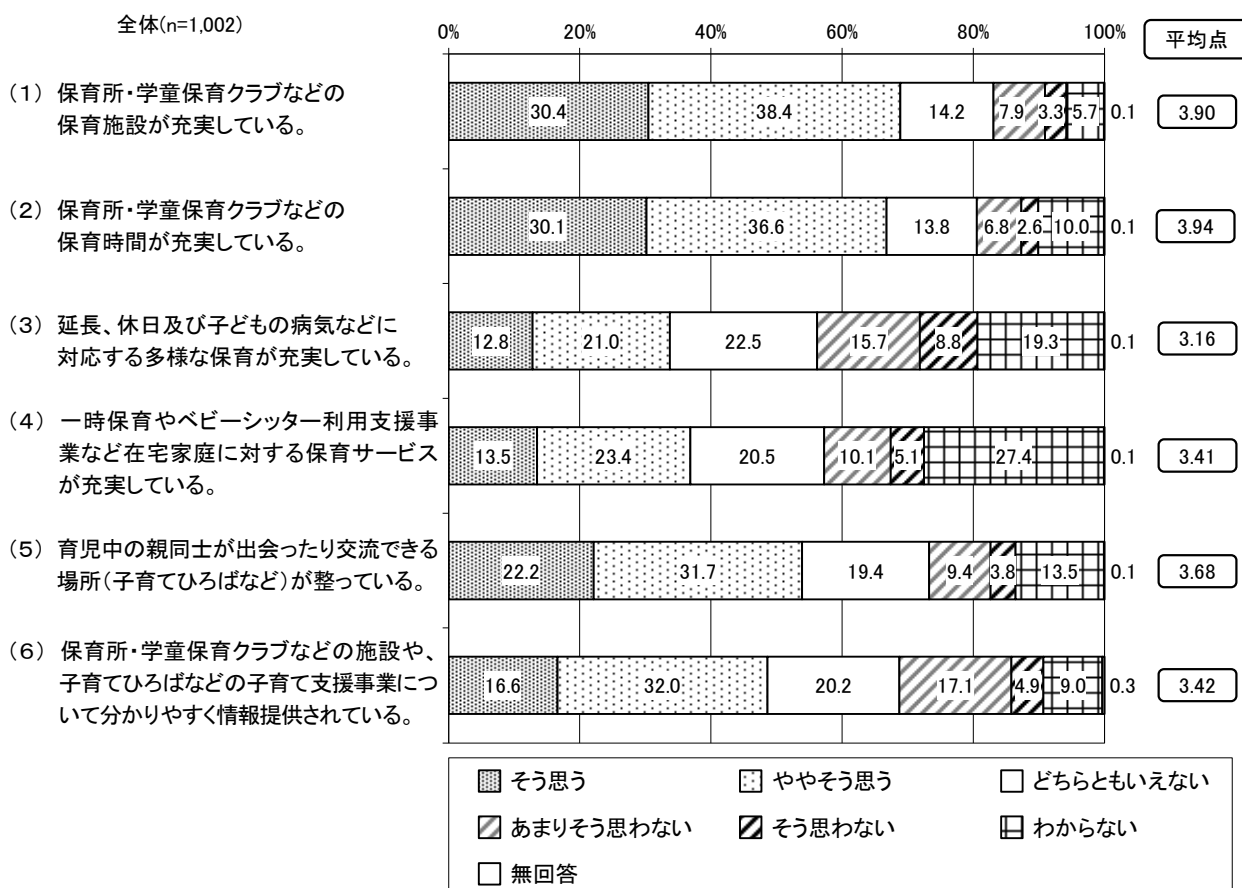
【全体】各選択肢の回答比率を算出するほか、「そう思う」を5点、「ややそう思う」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまりそう思わない」を2点、「そう思わない」を1点にそれぞれ配点し、平均得点を算出しました。

【経年変化】例年実施している同様の調査5か年分の比較を掲載しています。

基本目標1. のびのび子育て！に関する質問【全体】

- （1）保育所・学童保育クラブなどの保育施設が充実している。
- （2）保育所・学童保育クラブなどの保育時間が充実している。
- （3）延長、休日及び子どもの病気などに対応する多様な保育が充実している。
- （4）一時保育やベビーシッター利用支援事業など在宅家庭に対する保育サービスが充実している。
- （5）育児中の親同士が会ったり交流できる場所（子育てひろばなど）が整っている。
- （6）保育所・学童保育クラブなどの施設や、子育てひろばなどの子育て支援事業について分かりやすく情報提供されている。

基本目標1の評価は、『（2）保育所・学童保育クラブなどの保育時間が充実している』が3.94点で最も高く、『（3）延長、休日及び子どもの病気などに対応する多様な保育が充実している』が3.16点で最も低くなっています。

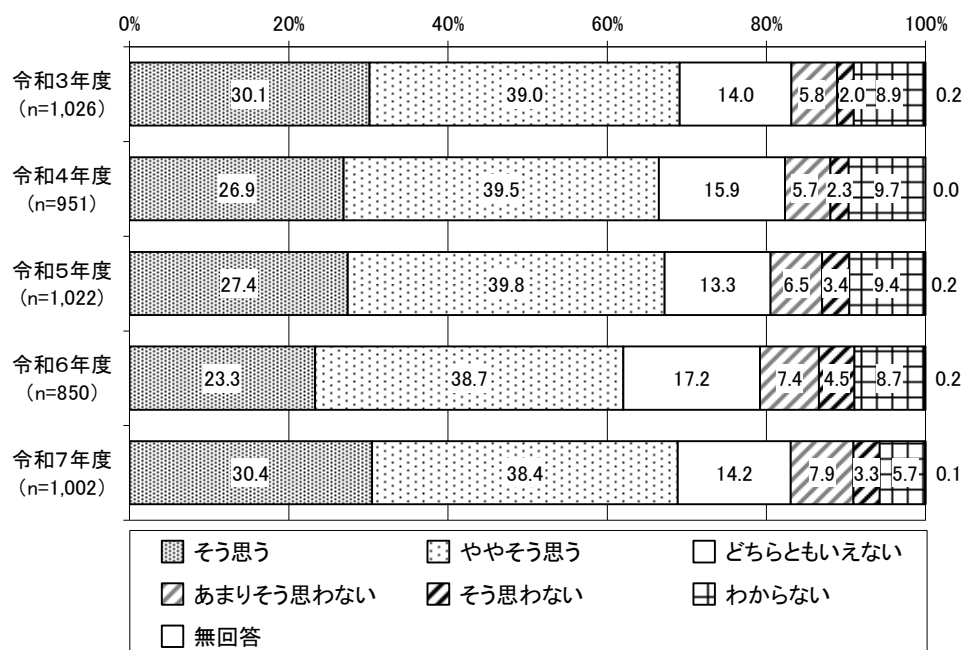


基本目標 1. のびのび子育て！に関する質問【経年変化】

(1) 保育所・学童保育クラブなどの保育施設が充実している。

「ややそう思う」が 38.4%で最も多く、「そう思う」が 30.4%、「どちらともいえない」が 14.2%となっています。

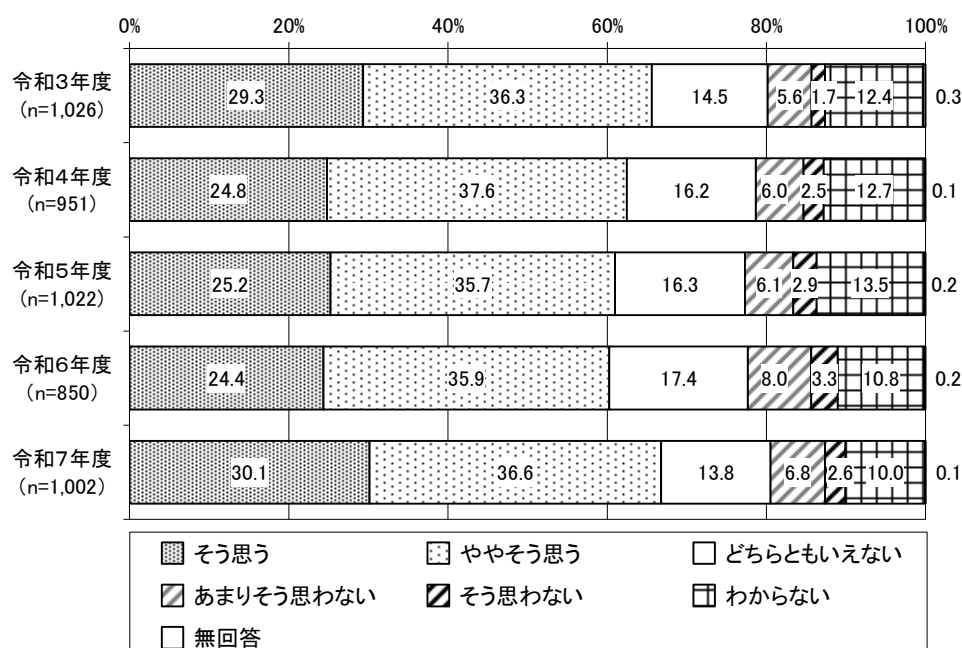
令和 6 年度調査と比較すると、「そう思う」が増加し「どちらともいえない」がやや減少しています。



(2) 保育所・学童保育クラブなどの保育時間が充実している。

「ややそう思う」が 36.6%で最も多く、「そう思う」が 30.1%、「どちらともいえない」が 13.8%となっています。

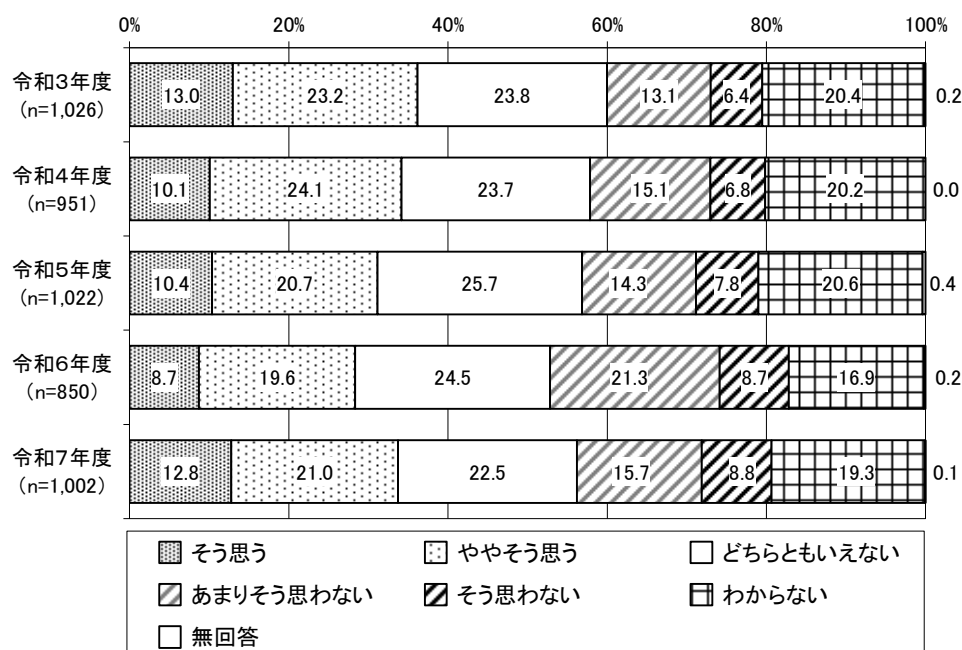
令和 6 年度調査と比較すると、「そう思う」が増加し「どちらともいえない」がやや減少しています。



（３）延長、休日及び子どもの病気などに対応する多様な保育が充実している。

「どちらともいえない」が22.5%で最も多く、「ややそう思う」が21.0%、「わからない」が19.3%となっています。

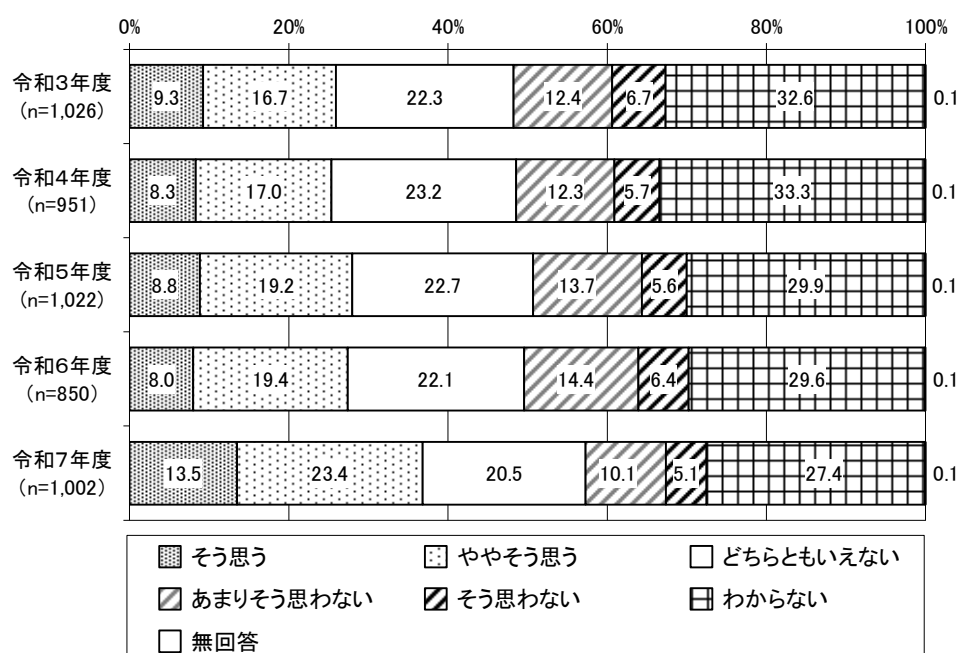
令和6年度調査と比較すると、「あまりそう思わない」の割合が減少し、「そう思う」の割合がやや増加しています。



（４）一時保育やベビーシッター利用支援事業など在宅家庭に対する保育サービスが充実している。

「わからない」が27.4%で最も多く、「ややそう思う」が23.4%、「どちらともいえない」が20.5%となっています。

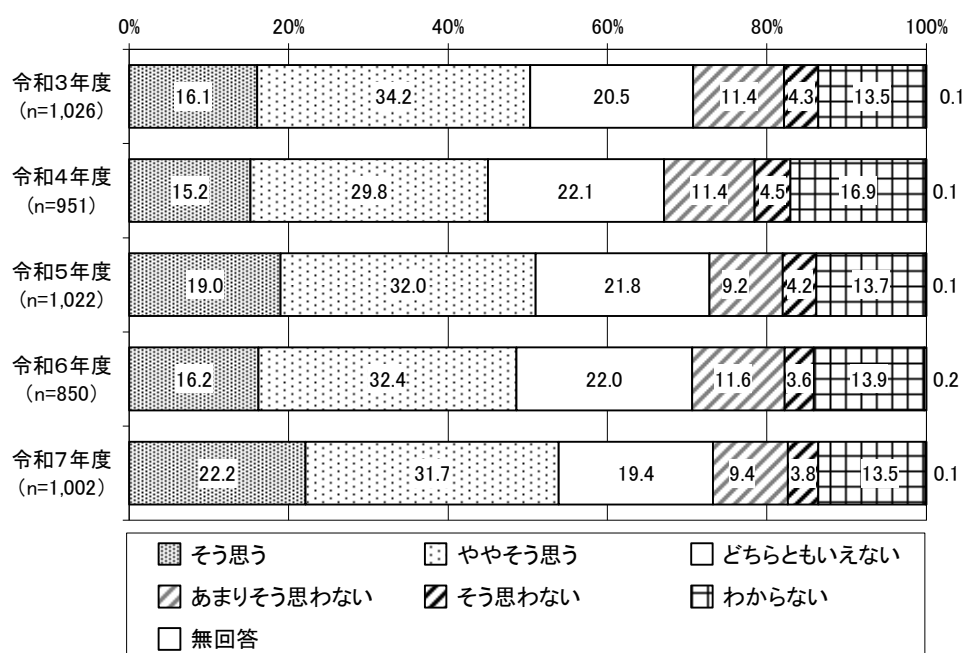
令和6年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加し、「ややそう思う」の割合がやや増加しています。



(5) 育児中の親同士が会ったり交流できる場所(子育てひろばなど)が整っている。

「ややそう思う」が31.7%で最も多く、「そう思う」が22.2%、「どちらともいえない」が19.4%となっています。

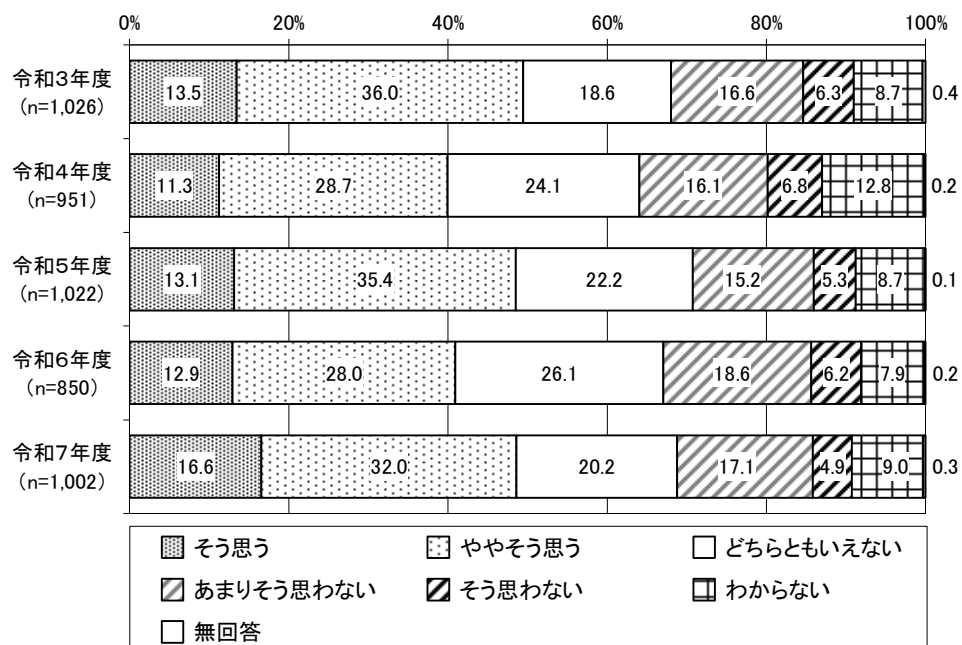
令和6年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。



(6) 保育所・学童保育クラブなどの施設や、子育てひろばなどの子育て支援事業について分かりやすく情報提供されている。

「ややそう思う」が32.0%で最も多く、「どちらともいえない」が20.2%、「あまりそう思わない」が17.1%となっています。

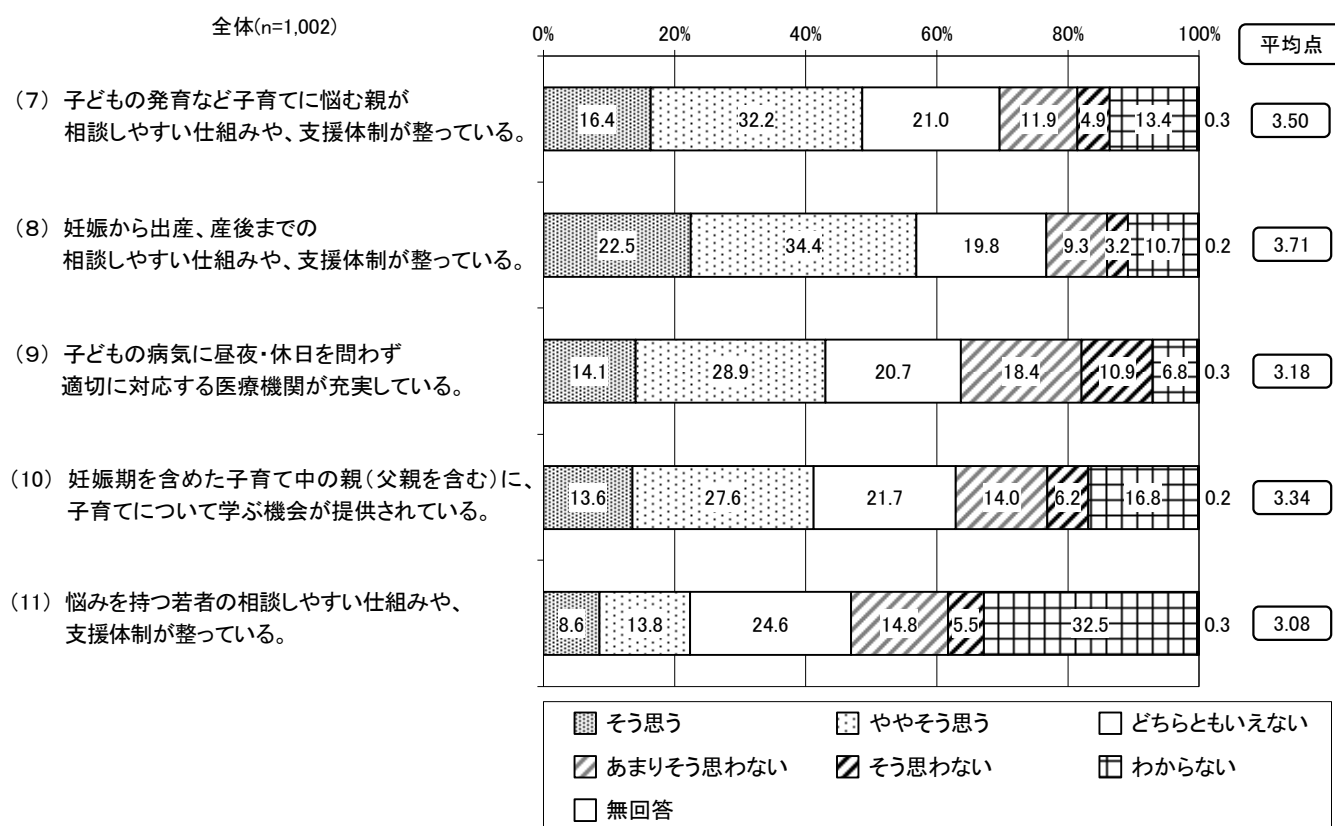
令和6年度調査と比較すると、「どちらともいえない」の割合が減少し、「ややそう思う」「そう思う」の割合がやや増加しています。



基本目標 2. すこやか子育て！に関する質問【全体】

- (7) 子どもの発育など子育てに悩む親が相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている。
 (8) 妊娠から出産、産後までの相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている。
 (9) 子どもの病気に昼夜・休日を問わず適切に対応する医療機関が充実している。
 (10) 妊娠期を含めた子育て中の親（父親を含む）に、子育てについて学ぶ機会が提供されている。
 (11) 悩みを持つ若者の相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている。

基本目標 2 の評価は、『(8) 妊娠から出産、産後までの相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている』が 3.71 点で最も高く、『(11) 悩みを持つ若者の相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている』が 3.08 点で最も低くなっています。

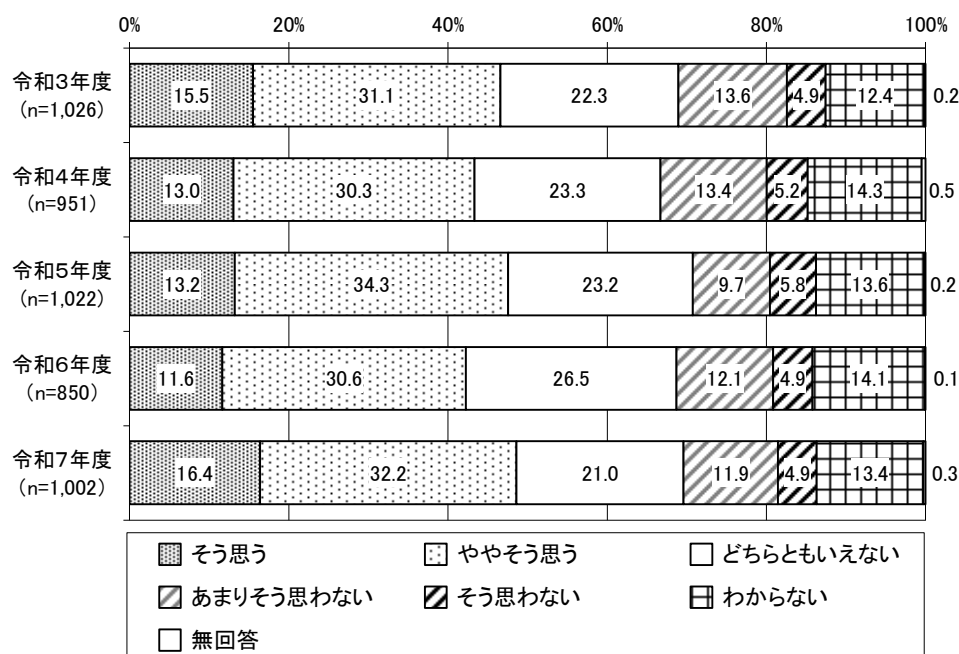


基本目標 2. すこやか子育て！に関する質問【経年変化】

(7) 子どもの発育など子育てに悩む親が相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている。

「ややそう思う」が 32.2%で最も多く、「どちらともいえない」が 21.0%、「そう思う」が 16.4%となっています。

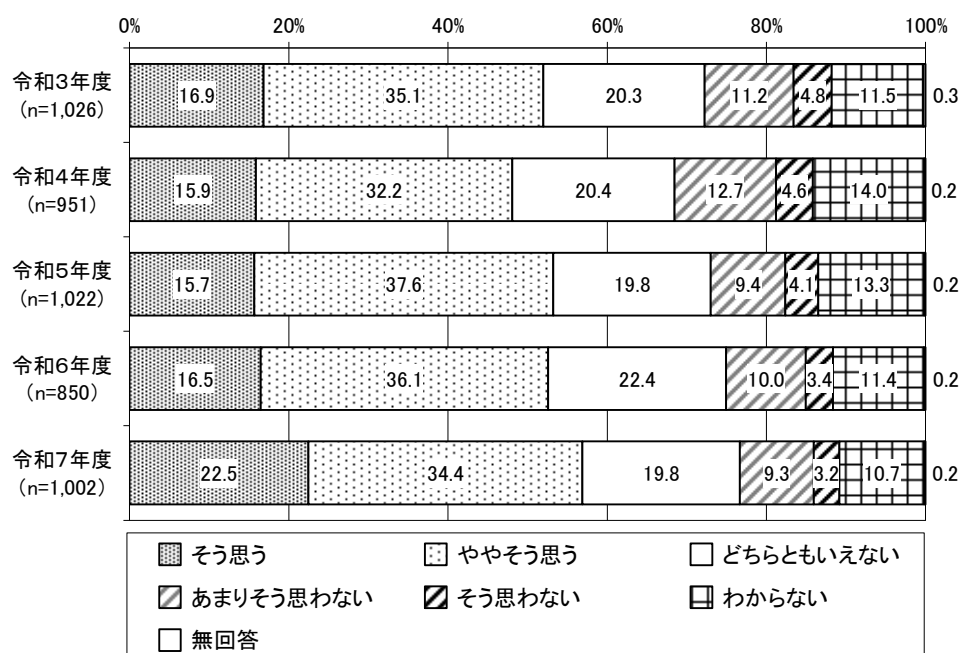
令和 6 年度調査と比較すると、「どちらともいえない」の割合が減少し、「そう思う」の割合がやや増加しています。



(8) 妊娠から出産、産後までの相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている。

「ややそう思う」が 34.4%で最も多く、「そう思う」が 22.5%、「どちらともいえない」が 19.8%となっています。

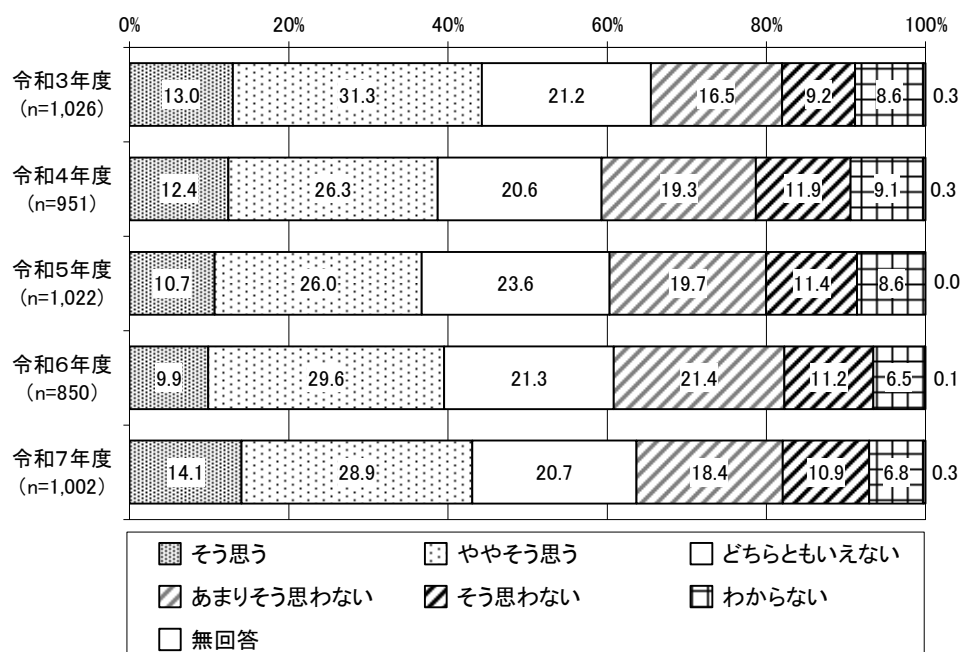
令和 6 年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。



(9) 子どもの病気に昼夜・休日を問わず適切に対応する医療機関が充実している。

「ややそう思う」が28.9%で最も多く、「どちらともいえない」が20.7%、「あまりそう思わない」が18.4%となっています。

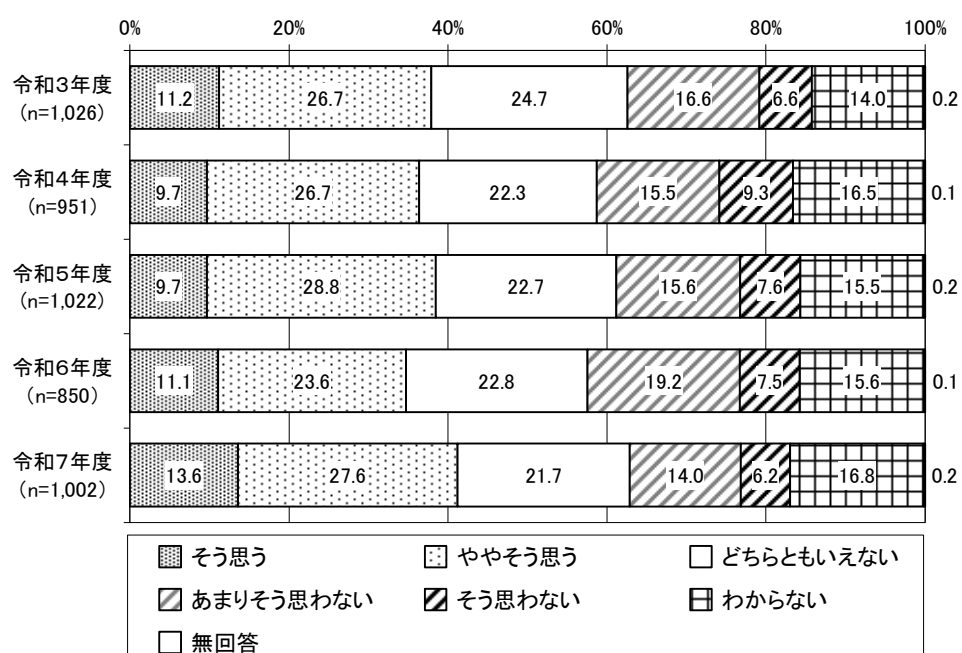
令和6年度調査と比較すると、「そう思う」がやや増加し、「あまりそう思わない」がやや減少しています。



(10) 妊娠期を含めた子育て中の親（父親を含む）に、子育てについて学ぶ機会が提供されている。

「ややそう思う」が27.6%で最も多く、「どちらともいえない」が21.7%、「わからない」が16.8%となっています。

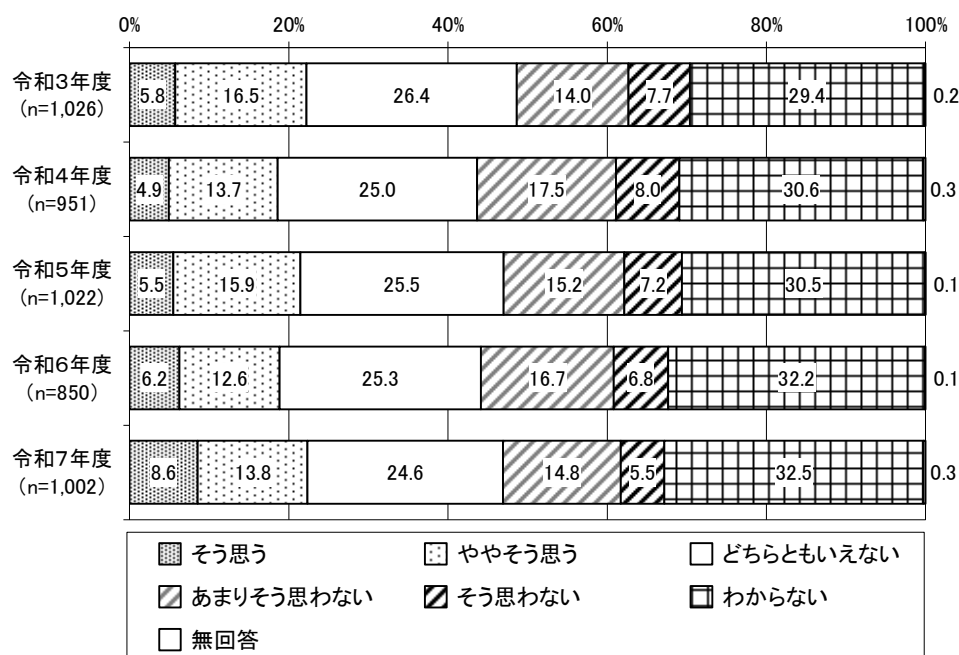
令和6年度調査と比較すると、「あまりそう思わない」が減少し、「ややそう思う」がやや増加しています。



(11) 悩みを持つ若者の相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている。

「わからない」が32.5%で最も多く、「どちらともいえない」が24.6%、「あまりそう思わない」が14.8%となっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和3年度調査から質問を新設しました。

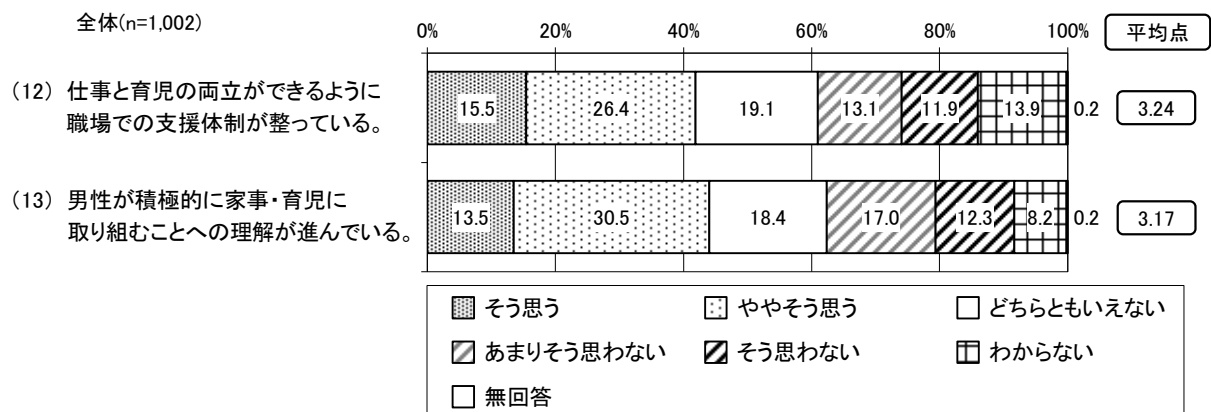
※令和3年度調査の質問は「様々な悩みを持つ若者の相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている」

基本目標 3. いきいき子育て！に関する質問【全体】

(12) 仕事と育児の両立ができるように職場での支援体制が整っている。

(13) 男性が積極的に家事・育児に取り組むことへの理解が進んでいる。

基本目標 3 の評価は、『(12) 仕事と育児の両立ができるように職場での支援体制が整っている』が 3.24 点、『(13) 男性が積極的に家事・育児に取り組むことへの理解が進んでいる』が 3.17 点となっています。

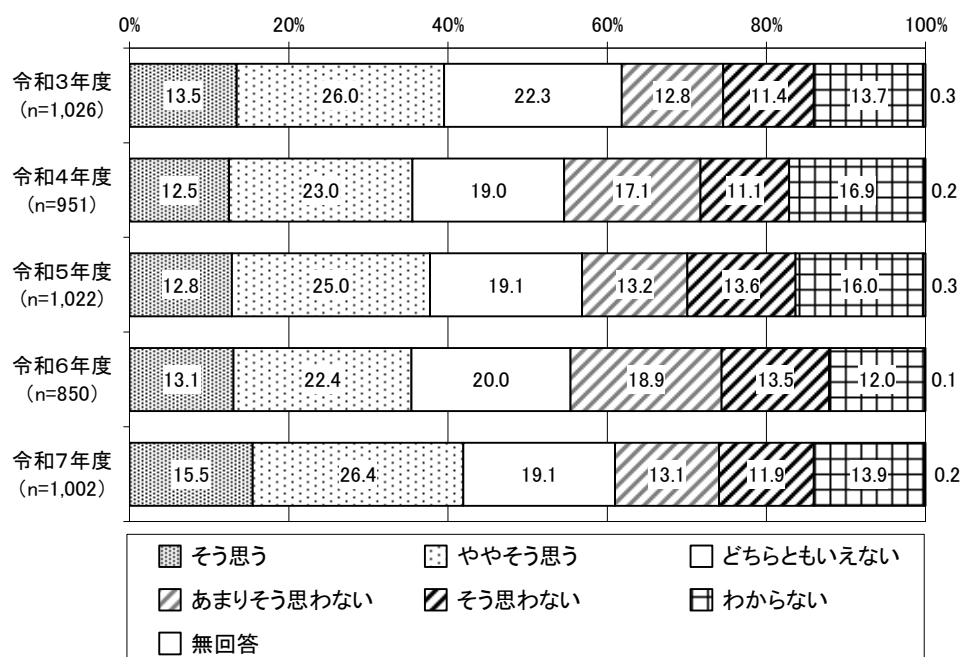


基本目標3. いきいき子育て！に関する質問【経年変化】

(12) 仕事と育児の両立ができるように職場での支援体制が整っている。

「ややそう思う」が26.4%で最も多く、「どちらともいえない」が19.1%、「そう思う」が15.5%となっています。

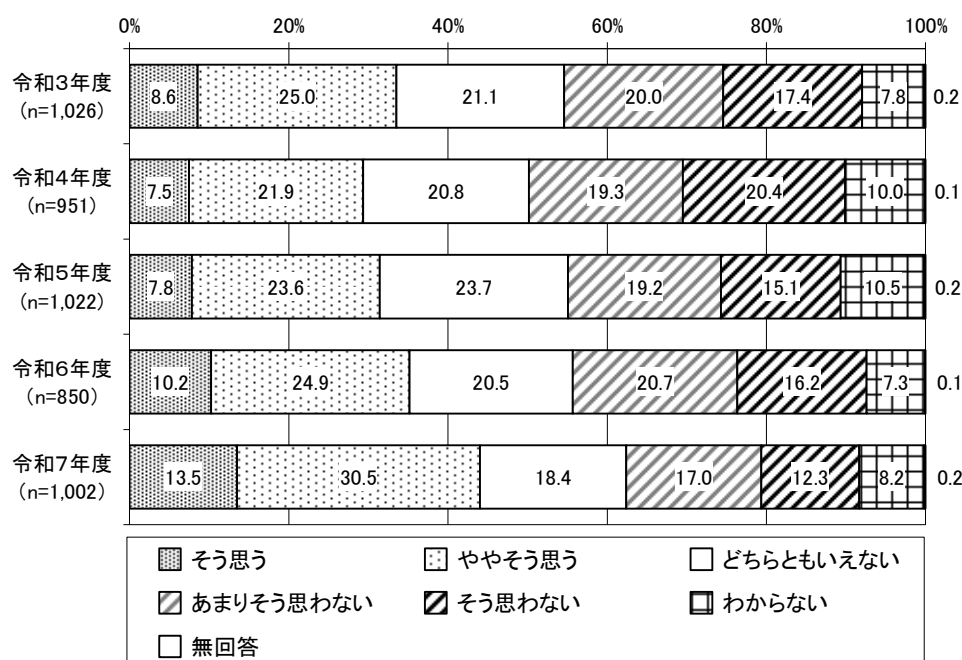
令和6年度調査と比較すると、「あまりそう思わない」の割合が減少し、「ややそう思う」の割合がやや増加しています。



(13) 男性が積極的に家事・育児に取り組むことへの理解が進んでいる。

「ややそう思う」が30.5%で最も多く、「どちらともいえない」が18.4%、「あまりそう思わない」が17.0%となっています。

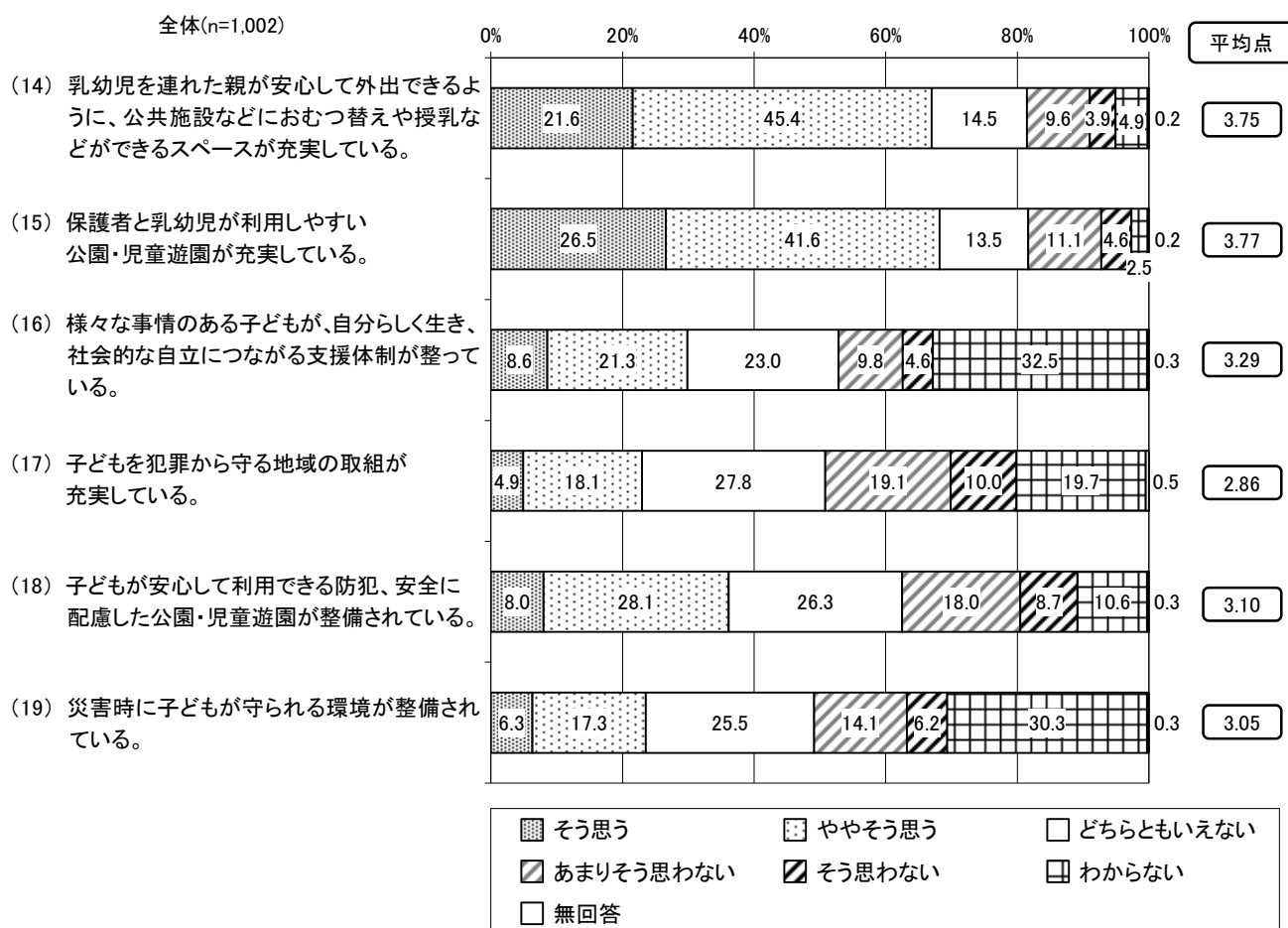
令和6年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合が増加し、「そう思う」の割合がやや増加しています。一方で「そう思わない」「あまりそう思わない」の割合はやや減少しています。



基本目標 4. あんしん子育て！に関する質問【全体】

- (14) 乳幼児を連れた親が安心して外出できるように、公共施設などにおむつ替えや授乳などができるスペースが充実している。
- (15) 保護者と乳幼児が利用しやすい公園・児童遊園が充実している。
- (16) 様々な事情のある子どもが、自分らしく生き、社会的な自立につながる支援体制が整っている。
- (17) 子どもを犯罪から守る地域の取組が充実している。
- (18) 子どもが安心して利用できる防犯、安全に配慮した公園・児童遊園が整備されている。
- (19) 災害時に子どもが守られる環境が整備されている。

基本目標 4 の評価は、『(15) 保護者と乳幼児が利用しやすい公園・児童遊園が充実している』が 3.77 点で最も高く、『(17) 子どもを犯罪から守る地域の取組が充実している』が 2.86 点で最も低くなっています。

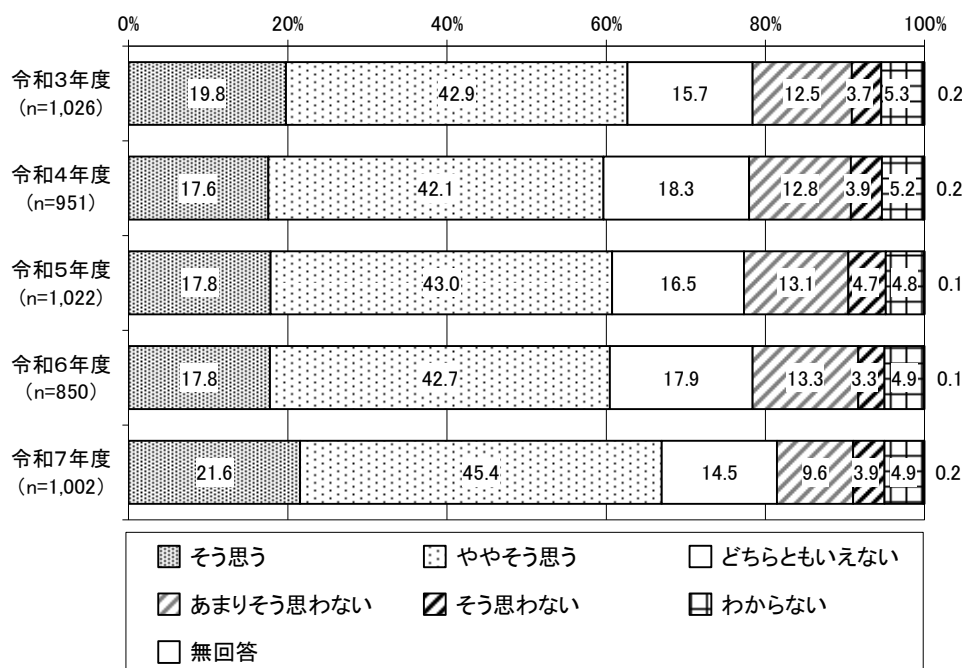


基本目標 4. あんしん子育て！に関する質問【経年変化】

(14) 乳幼児を連れた親が安心して外出できるように、公共施設などにおむつ替えや授乳などができるスペースが充実している。

「ややそう思う」が 45.4%で最も多く、「そう思う」が 21.6%、「どちらともいえない」が 14.5%となっています。

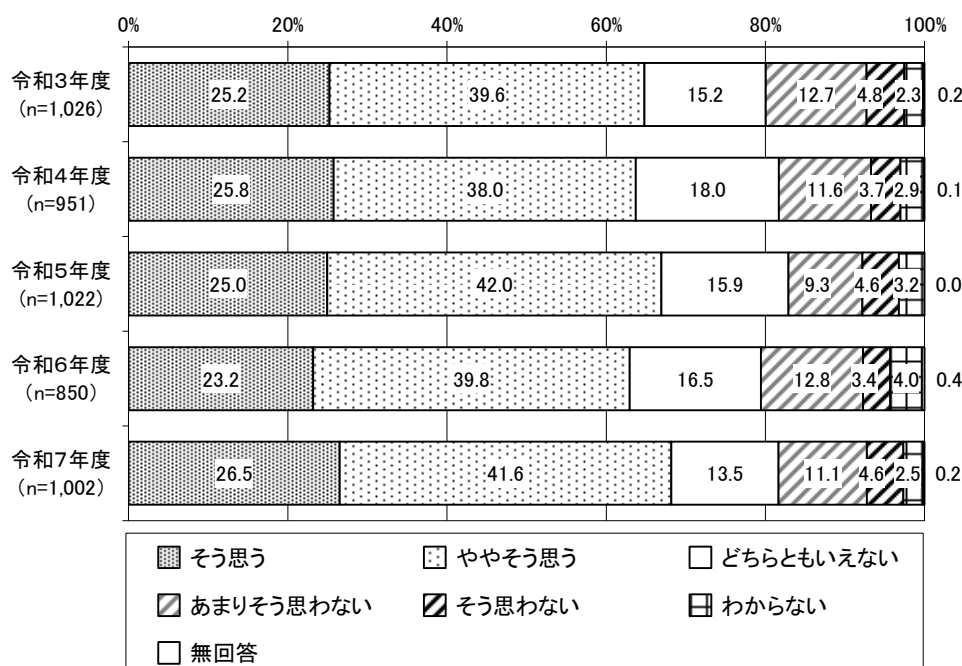
令和 6 年度調査と比較すると、「そう思う」がやや増加し、「どちらともいえない」「あまりそう思わない」がやや減少しています。



(15) 保護者と乳幼児が利用しやすい公園・児童遊園が充実している。

「ややそう思う」が 41.6%で最も多く、「そう思う」が 26.5%、「どちらともいえない」が 13.5%となっています。

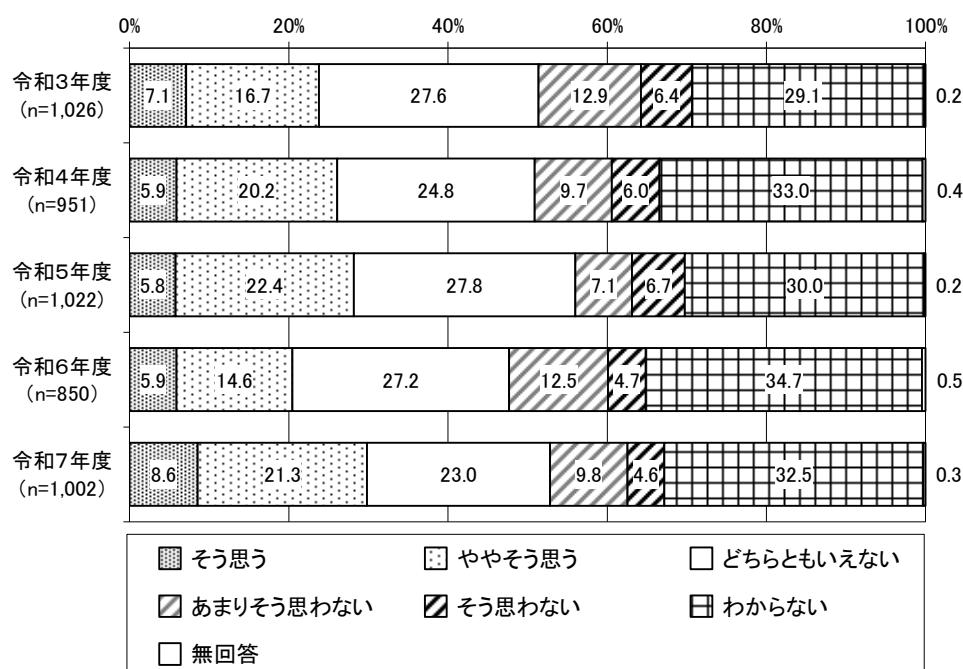
令和 6 年度調査と比較すると、「そう思う」の割合がやや増加し、「どちらともいえない」の割合がやや減少しています。



(16) 様々な事情のある子どもが、自分らしく生き、社会的な自立につながる支援体制が整っている。

「わからない」が32.5%で最も多く、「どちらともいえない」が23.0%、「ややそう思う」が21.3%となっています。

令和6年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合が増加し、「どちらともいえない」がやや減少しています。



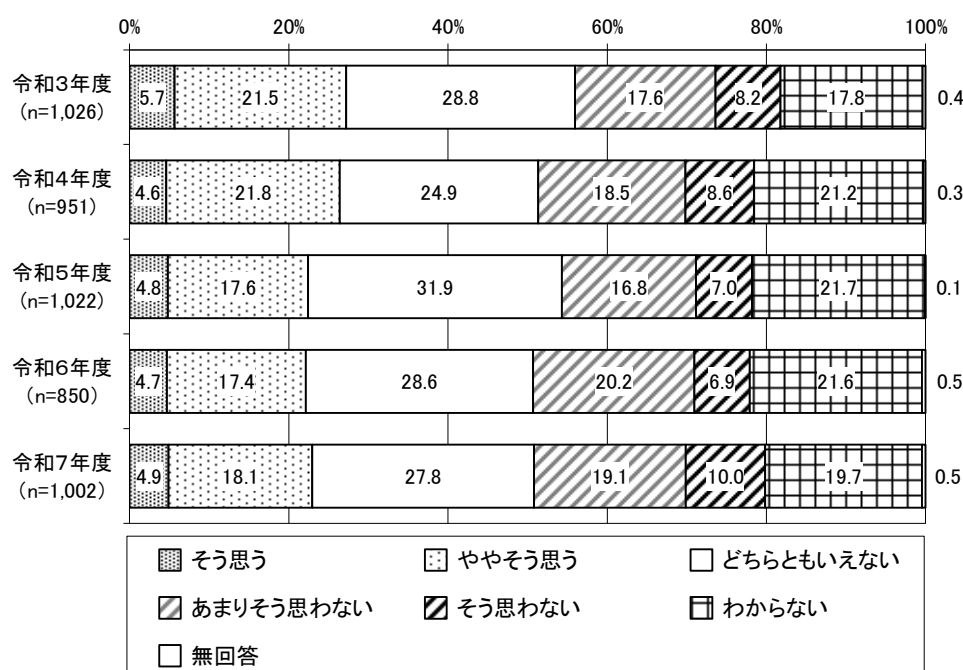
※令和3年度調査から質問を新設しました。

※令和3年度の調査の質問は「様々な事情を有する子どもが、自己肯定感を高め社会的な自立につながる支援体制が整っている」

(17) 子どもを犯罪から守る地域の取組が充実している。

「どちらともいえない」が27.8%で最も多く、「わからない」が19.7%、「あまりそう思わない」が19.1%となっています。

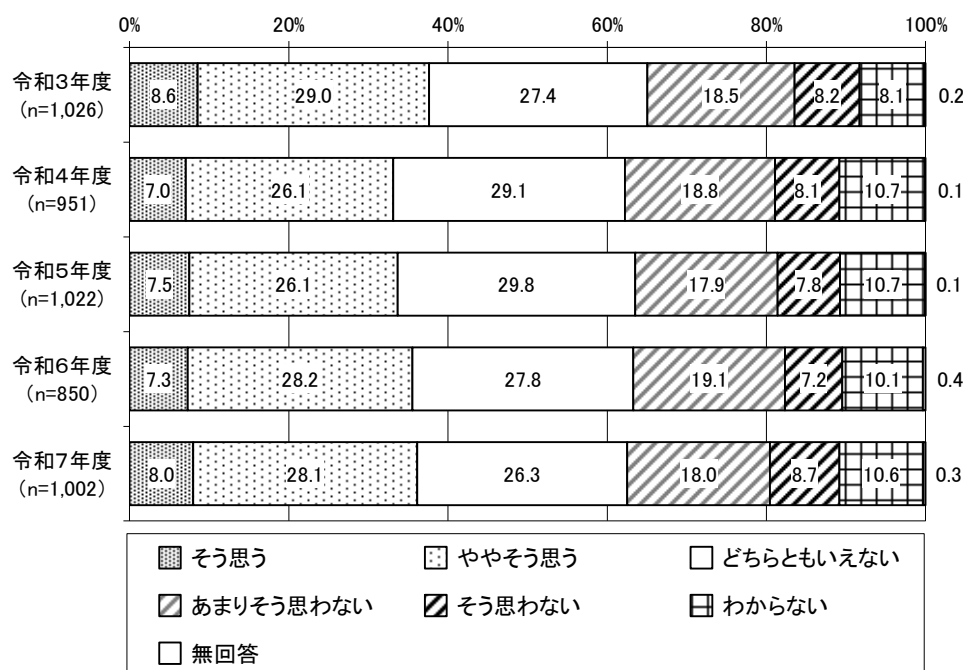
令和6年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合がやや増加しています。



(18) 子どもが安心して利用できる防犯、安全に配慮した公園・児童遊園が整備されている。

「ややそう思う」が28.1%で最も多く、「どちらともいえない」が26.3%、「あまりそう思わない」が18.0%となっています。

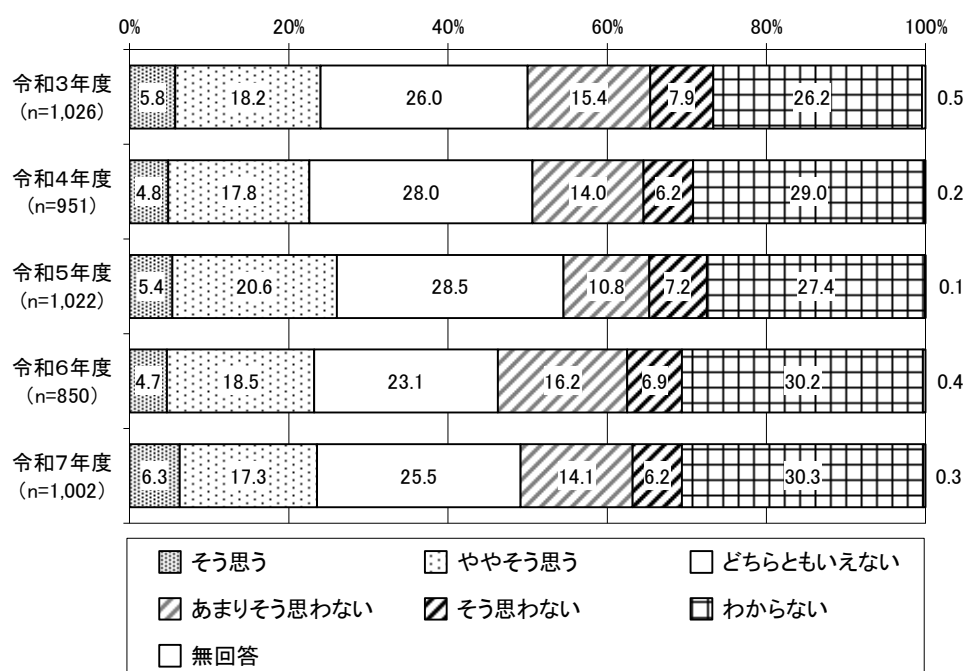
令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(19) 災害時に子どもが守られる環境が整備されている。

「わからない」が30.3%で最も多く、「どちらともいえない」が25.5%、「ややそう思う」が17.3%となっています。

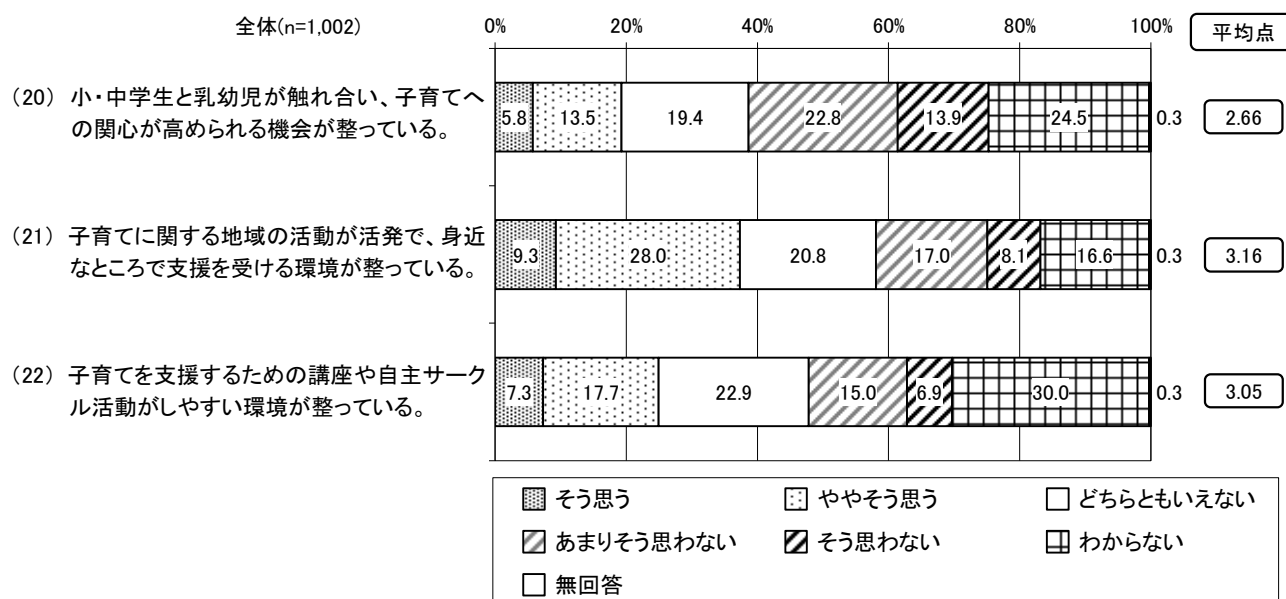
令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



基本目標5. みんなで子育て！に関する質問【全体】

- (20) 小・中学生と乳幼児が触れ合い、子育てへの関心が高められる機会が整っている。
 (21) 子育てに関する地域の活動が活発で、身近なところで支援を受ける環境が整っている。
 (22) 子育てを支援するための講座や自主サークル活動がしやすい環境が整っている。

基本目標5の評価は、『(21) 子育てに関する地域の活動が活発で、身近なところで支援を受ける環境が整っている』が3.16点で最も高く、『(20) 小・中学生と乳幼児が触れ合い、子育てへの関心が高められる機会が整っている』が2.66点で最も低くなっています。



※ (23)～(27)は、小学生以上のお子様がいる保護者の方にお尋ねします。

小学生以上のお子様がいらない保護者の方は(28)にお進みください。

(23) 子どもたちは、元気に、楽しく学校に通っている。

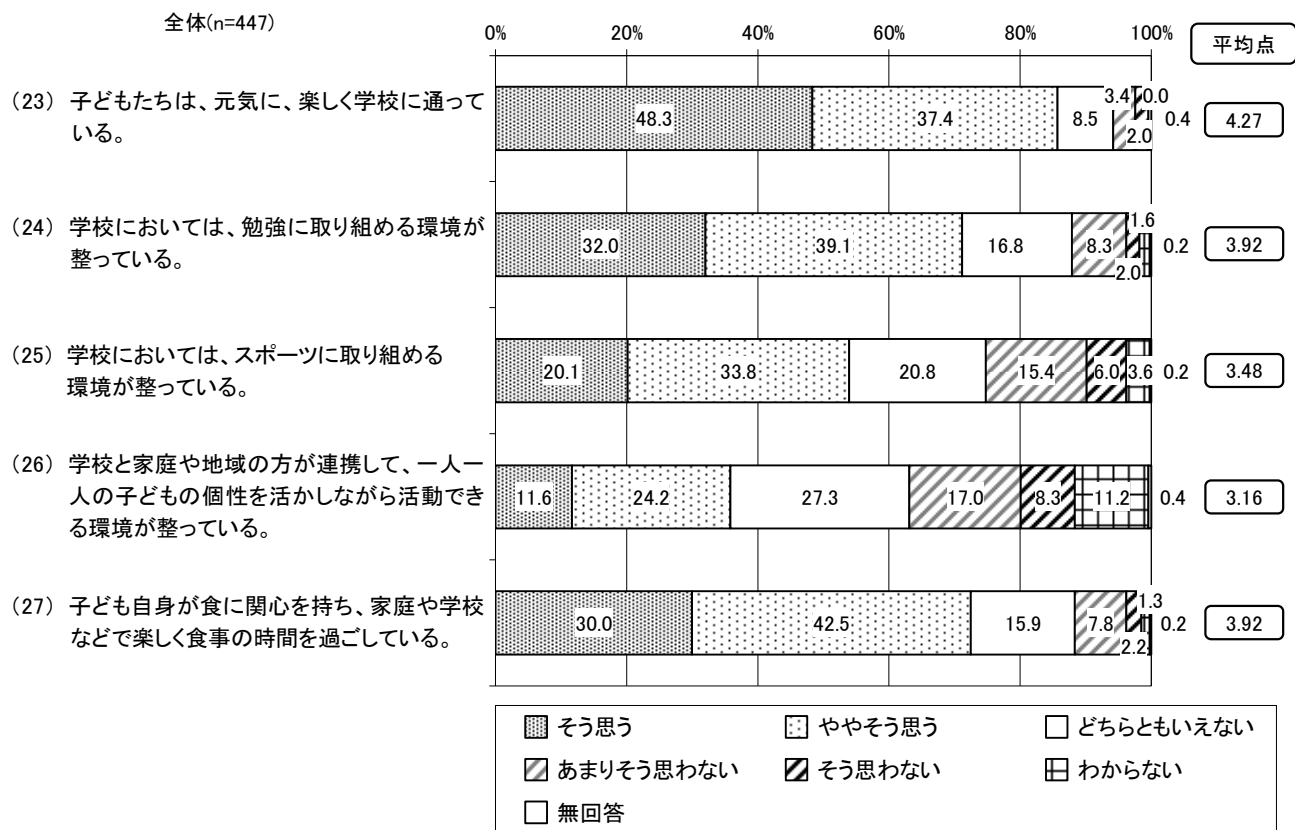
(24) 学校においては、勉強に取り組める環境が整っている。

(25) 学校においては、スポーツに取り組める環境が整っている。

(26) 学校と家庭や地域の方が連携して、一人一人の子どもの個性を活かしながら活動できる環境が整っている。

(27) 子ども自身が食に関心を持ち、家庭や学校などで楽しく食事の時間を過ごしている。

基本目標5で、小学生以上のお子様がいる保護者に尋ねた質問の評価は、『(23) 子どもたちは、元気に、楽しく学校に通っている』が4.27点で最も高く、『(26) 学校と家庭や地域の方が連携して、一人一人の子どもの個性を活かしながら活動できる環境が整っている』が3.16点で最も低くなっています。

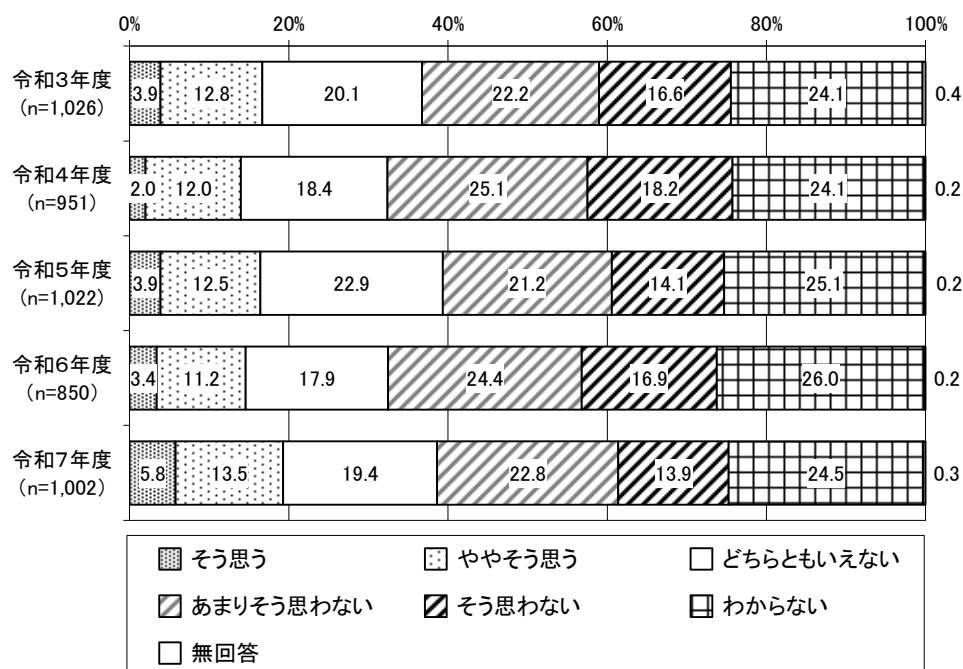


基本目標5. みんなで子育て！に関する質問【経年変化】

(20) 小・中学生と乳幼児が触れ合い、子育てへの関心が高められる機会が整っている。

「わからない」が24.5%で最も多く、「あまりそう思わない」が22.8%、「どちらともいえない」が19.4%となっています。

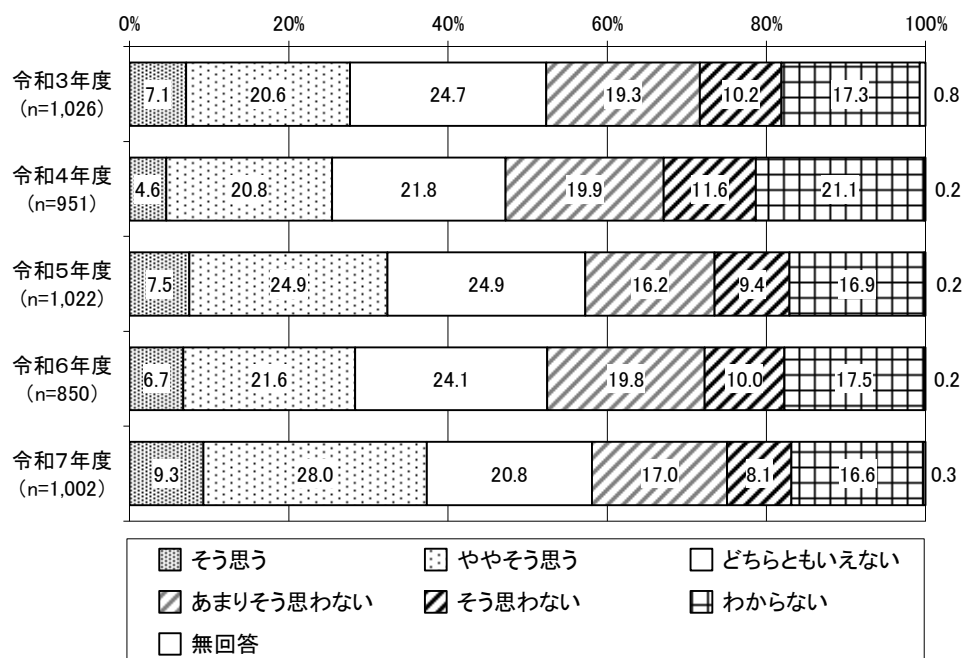
令和6年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合がやや減少しています。



(21) 子育てに関する地域の活動が活発で、身近なところで支援を受ける環境が整っている。

「ややそう思う」が28.0%で最も多く、「どちらともいえない」が20.8%、「あまりそう思わない」が17.0%となっています。

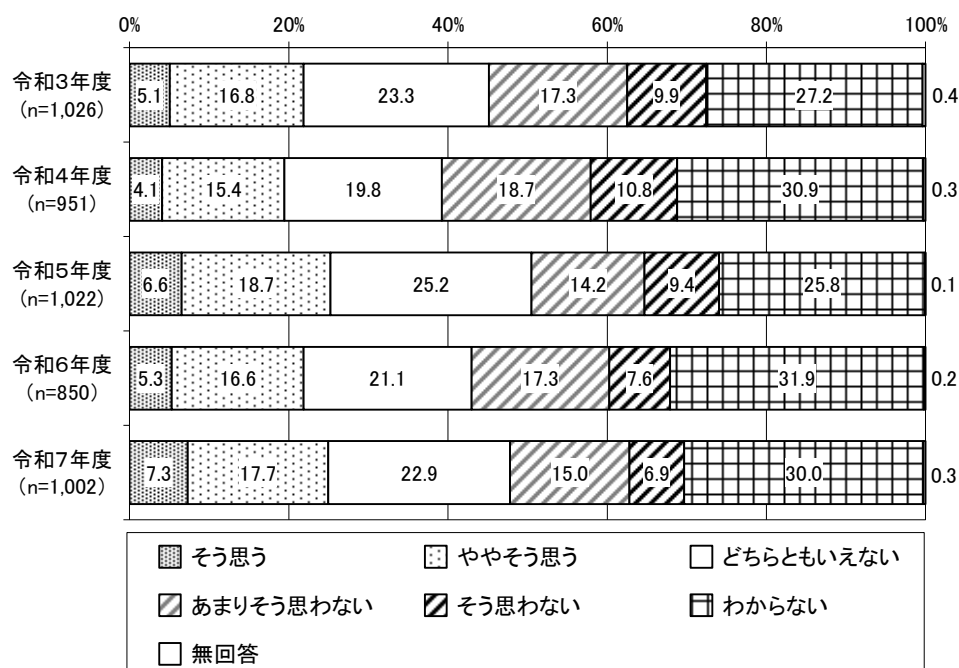
令和6年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合が増加し、「どちらともいえない」の割合がやや減少しています。



(22) 子育てを支援するための講座や自主サークル活動がしやすい環境が整っている。

「わからない」が30.0%で最も多く、「どちらともいえない」が22.9%、「ややそう思う」が17.7%となっています。

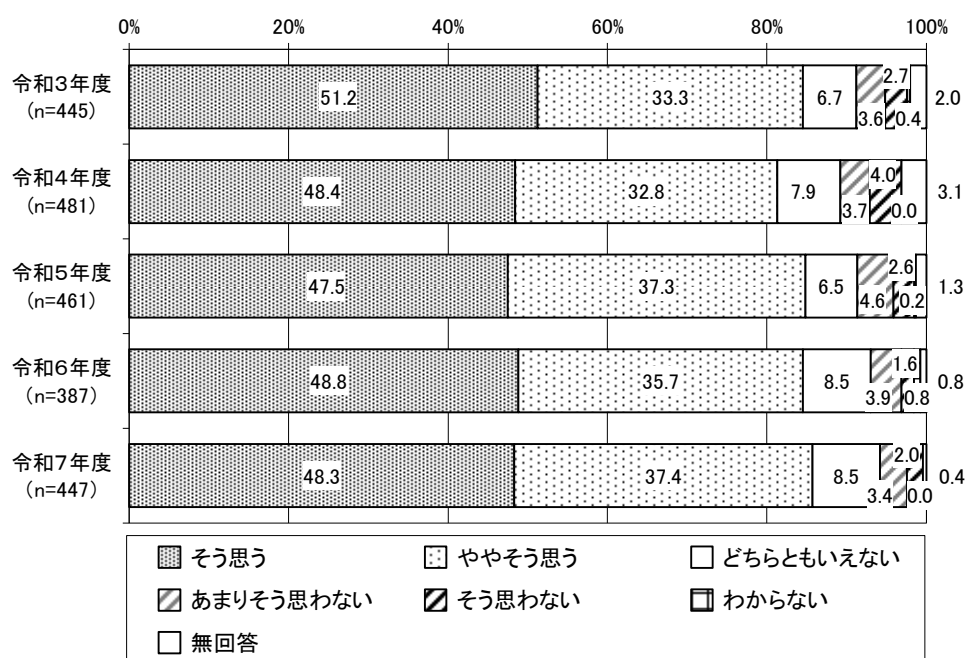
令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(23) 子どもたちは、元気に、楽しく学校に通っている。

「そう思う」が 48.3%で最も多く、「ややそう思う」が 37.4%、「どちらともいえない」が 8.5%となっています。

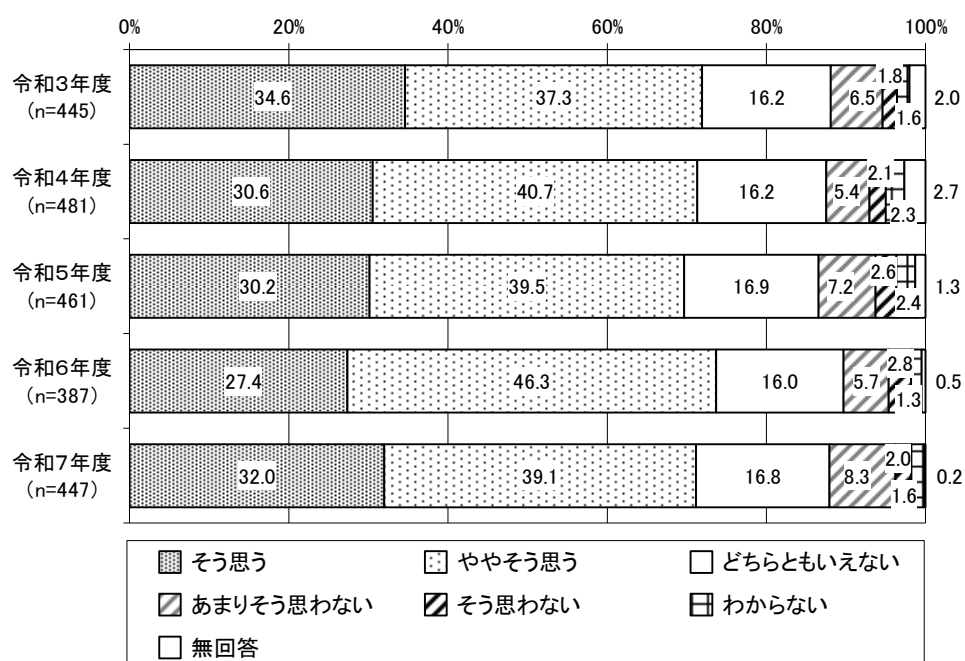
令和 6 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(24) 学校においては、勉強に取り組める環境が整っている。

「ややそう思う」が 39.1%で最も多く、「そう思う」が 32.0%、「どちらともいえない」が 16.8%となっています。

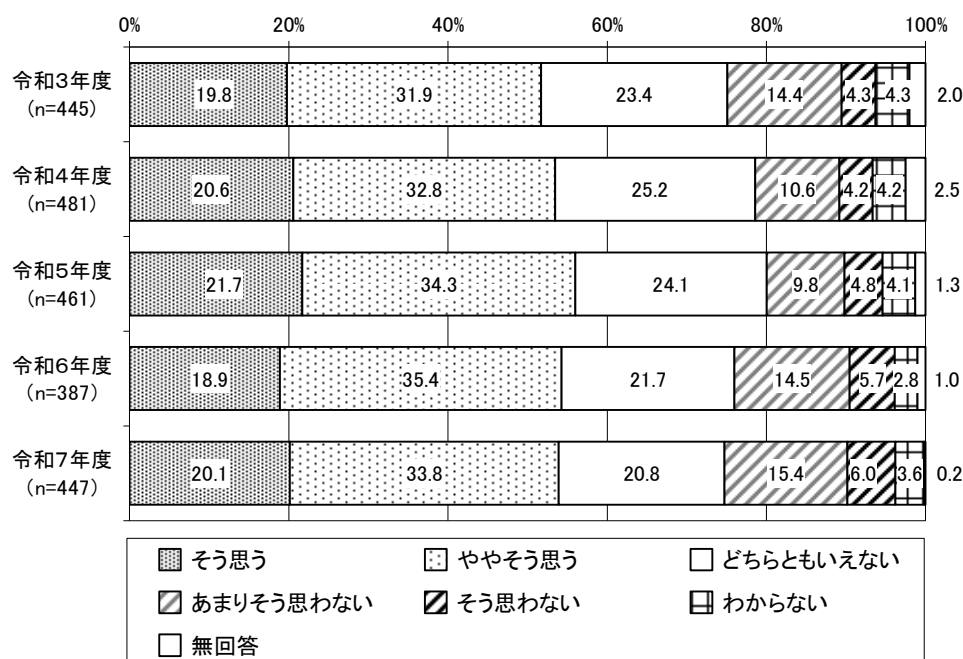
令和 6 年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合が減少し、「そう思う」の割合がやや増加しています。



(25) 学校においては、スポーツに取り組める環境が整っている。

「ややそう思う」が 33.8%で最も多く、「どちらともいえない」が 20.8%、「そう思う」が 20.1%となっています。

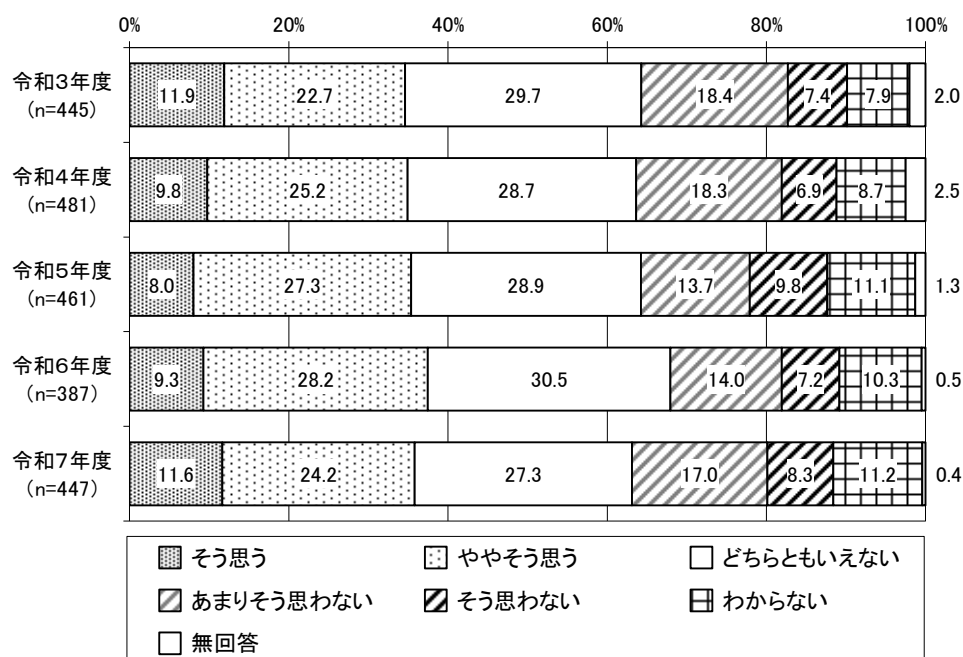
令和 6 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(26) 学校と家庭や地域の方が連携して、一人一人の子どもの個性を活かしながら活動できる環境が整っている。

「どちらともいえない」が 27.3%で最も多く、「ややそう思う」が 24.2%、「あまりそう思わない」が 17.0%となっています。

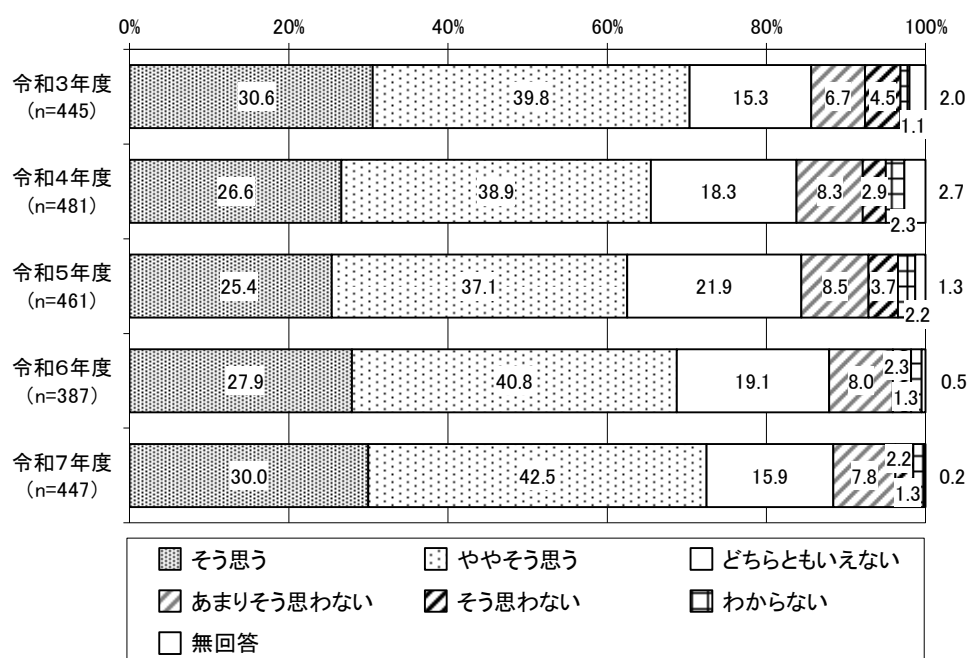
令和 6 年度調査と比較すると、「ややそう思う」「どちらともいえない」がやや減少し、「あまりそう思わない」がやや増加しています。



(27) 子ども自身が食に関心を持ち、家庭や学校などで楽しく食事の時間を過ごしている。

「ややそう思う」が 42.5%で最も多く、「そう思う」が 30.0%、「どちらともいえない」が 15.9%となっています。

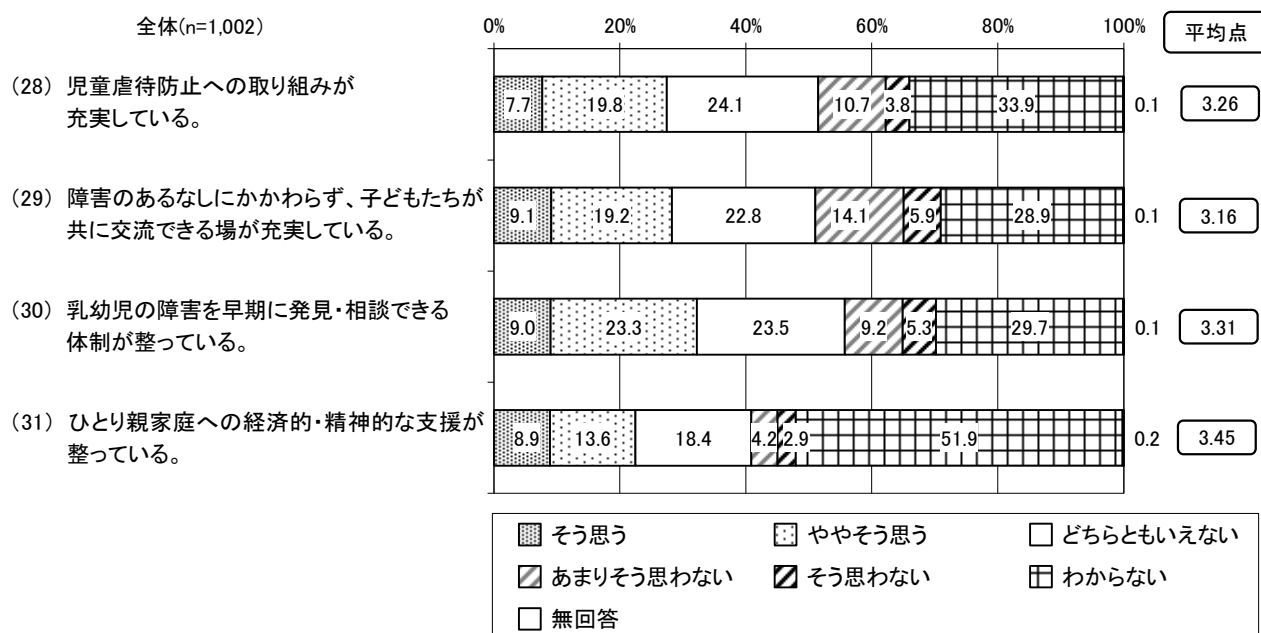
令和 6 年度調査と比較すると、「どちらともいえない」の割合がやや減少しています。



基本目標 6. つながる子育て！に関する質問【全体】

- (28) 児童虐待防止への取り組みが充実している。
 (29) 障害のあるなしにかかわらず、子どもたちが共に交流できる場が充実している。
 (30) 乳幼児の障害を早期に発見・相談できる体制が整っている。
 (31) ひとり親家庭への経済的・精神的な支援が整っている。

基本目標 6 の評価は、『(31) ひとり親家庭への経済的・精神的な支援が整っている』が 3.45 点で最も高く、『(29) 障害のあるなしにかかわらず、子どもたちが共に交流できる場が充実している』が 3.16 点で最も低くなっています。

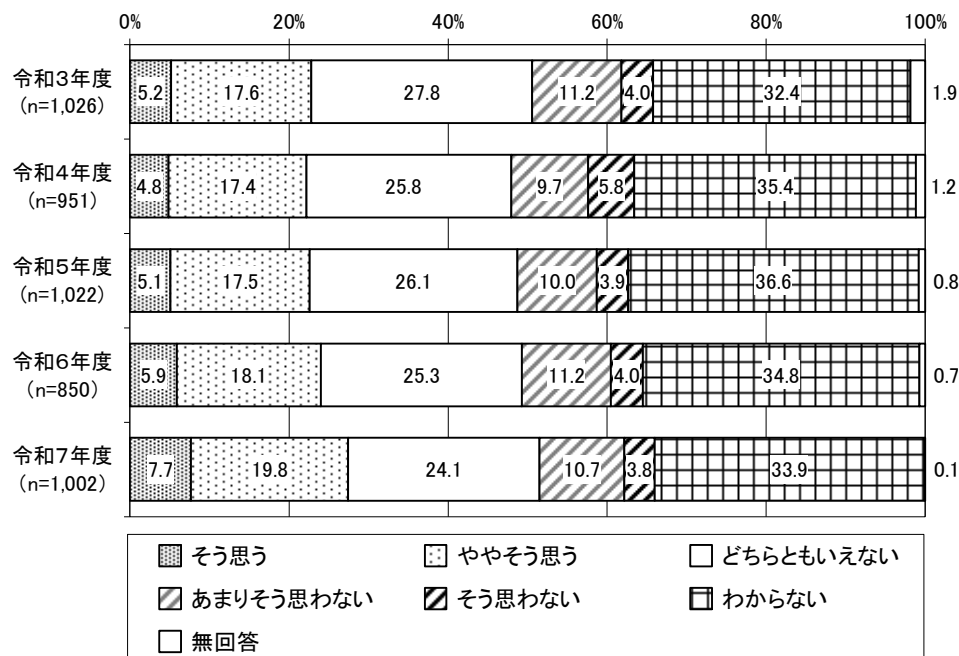


基本目標6. つながる子育て！に関する質問【経年変化】

(28) 児童虐待防止への取り組みが充実している。

「わからない」が33.9%で最も多く、「どちらともいえない」が24.1%、「ややそう思う」が19.8%となっています。

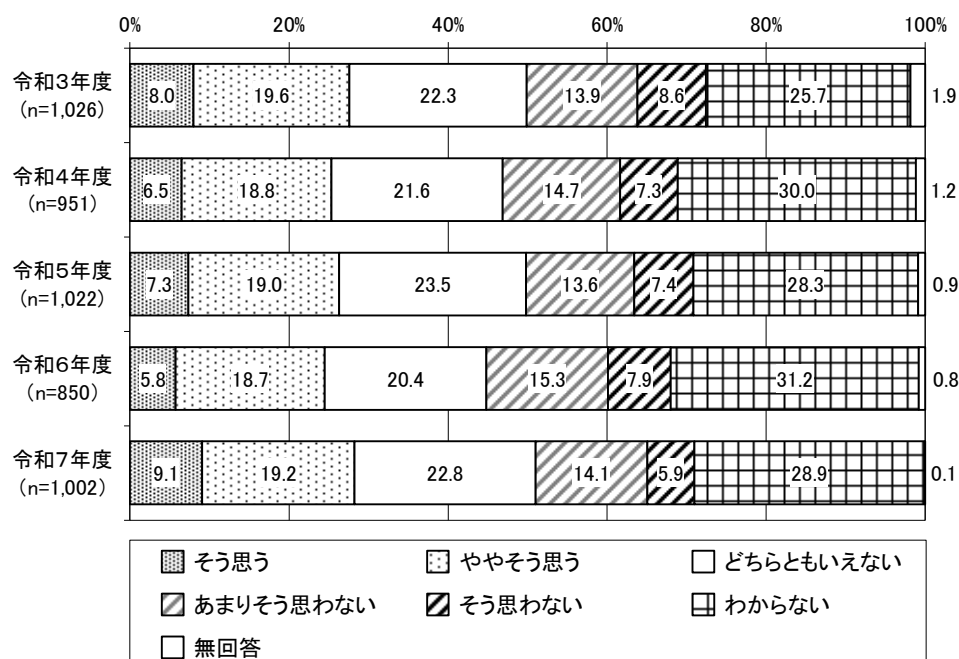
令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(29) 障害のあるなしにかかわらず、子どもたちが共に交流できる場が充実している。

「わからない」が28.9%で最も多く、「どちらともいえない」が22.8%、「ややそう思う」が19.2%となっています。

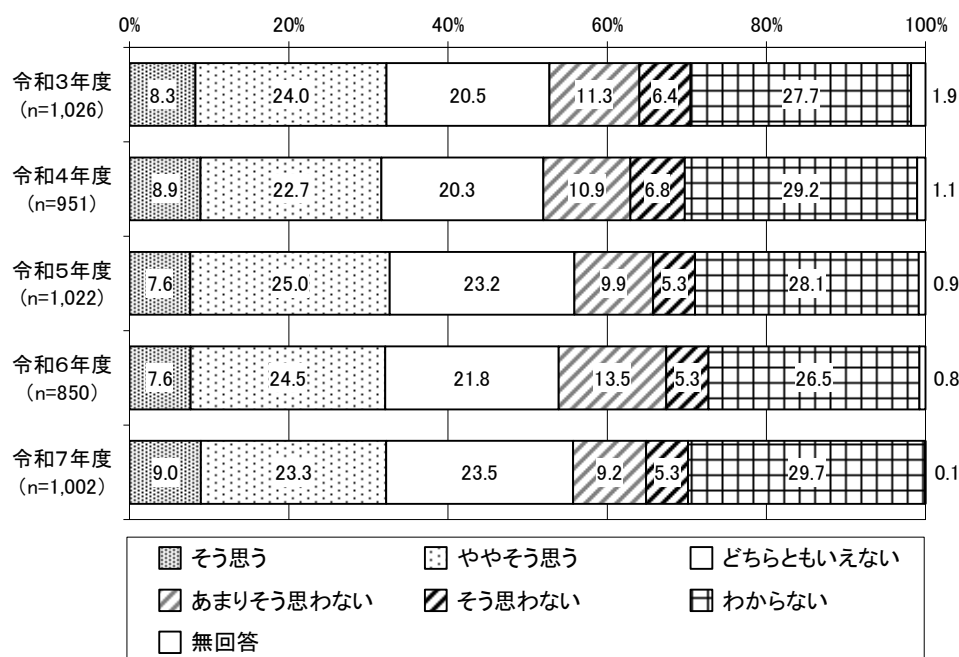
令和6年度調査と比較すると、「そう思う」の割合がやや増加しています。



(30) 乳幼児の障害を早期に発見・相談できる体制が整っている。

「わからない」が29.7%で最も多く、「どちらともいえない」が23.5%、「ややそう思う」が23.3%となっています。

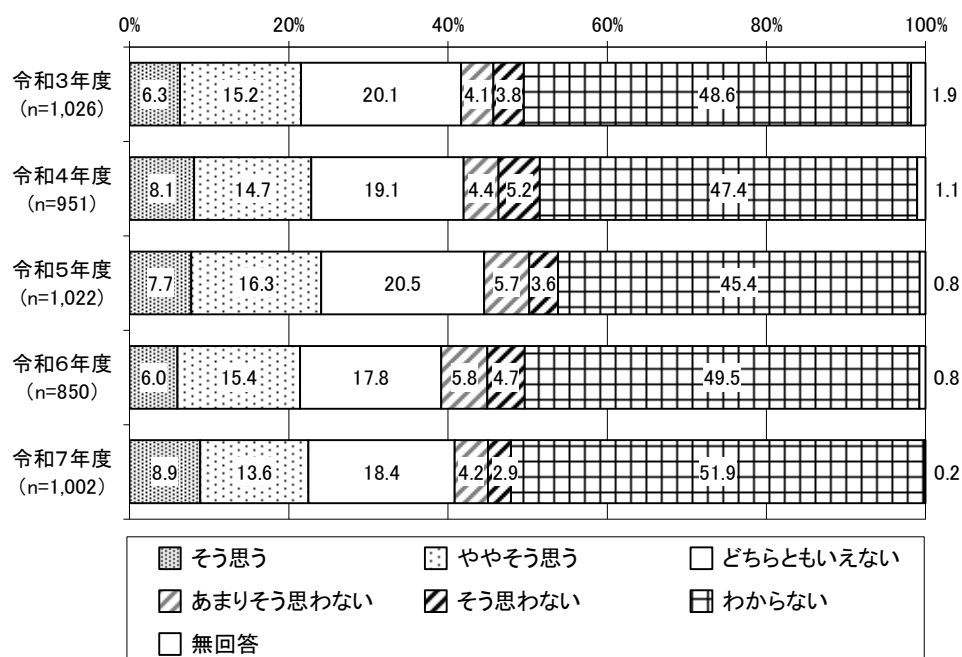
令和6年度調査と比較すると、「あまりそう思わない」の割合がやや減少し、「わからない」の割合がやや増加しています。



(31) ひとり親家庭への経済的・精神的な支援が整っている。

「わからない」が51.9%で最も多く、「どちらともいえない」が18.4%、「ややそう思う」が13.6%となっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



2 子ども・子育て支援に関する情報提供についてお伺いします。

(32) 子育てに関する区の情報をどのように得ていますか。

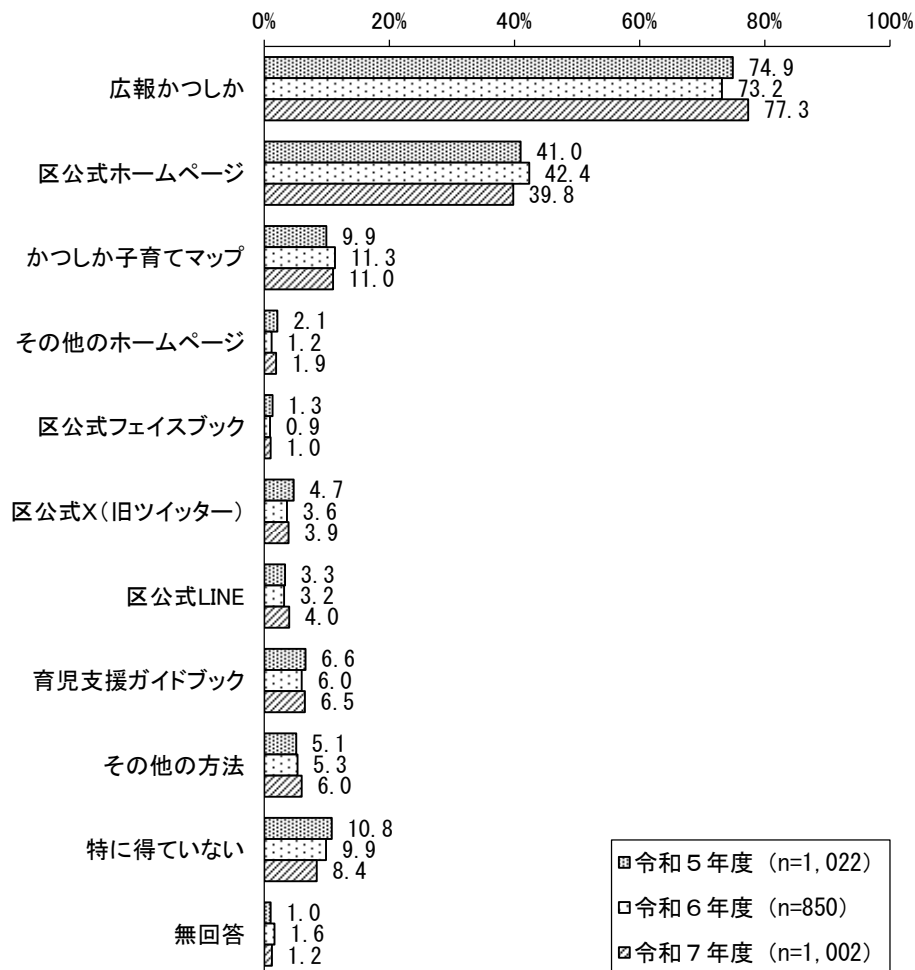
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- | | | |
|-------------------|---------------|---------------|
| 1. 広報かつしか | 2. 区公式ホームページ | 3. かつしか子育てマップ |
| 4. その他のホームページ () | 5. 区公式フェイスブック | |
| 6. 区公式X (旧ツイッター) | 7. 区公式LINE | 8. 育児支援ガイドブック |
| 9. その他の方法 () | 10. 特に得ていない | |

「広報かつしか」が77.3%で最も多く、「区公式ホームページ」が39.8%、「かつしか子育てマップ」が11.0%となっています。

令和6年度調査と比較すると、「広報かつしか」がやや増加しています。

(複数回答)

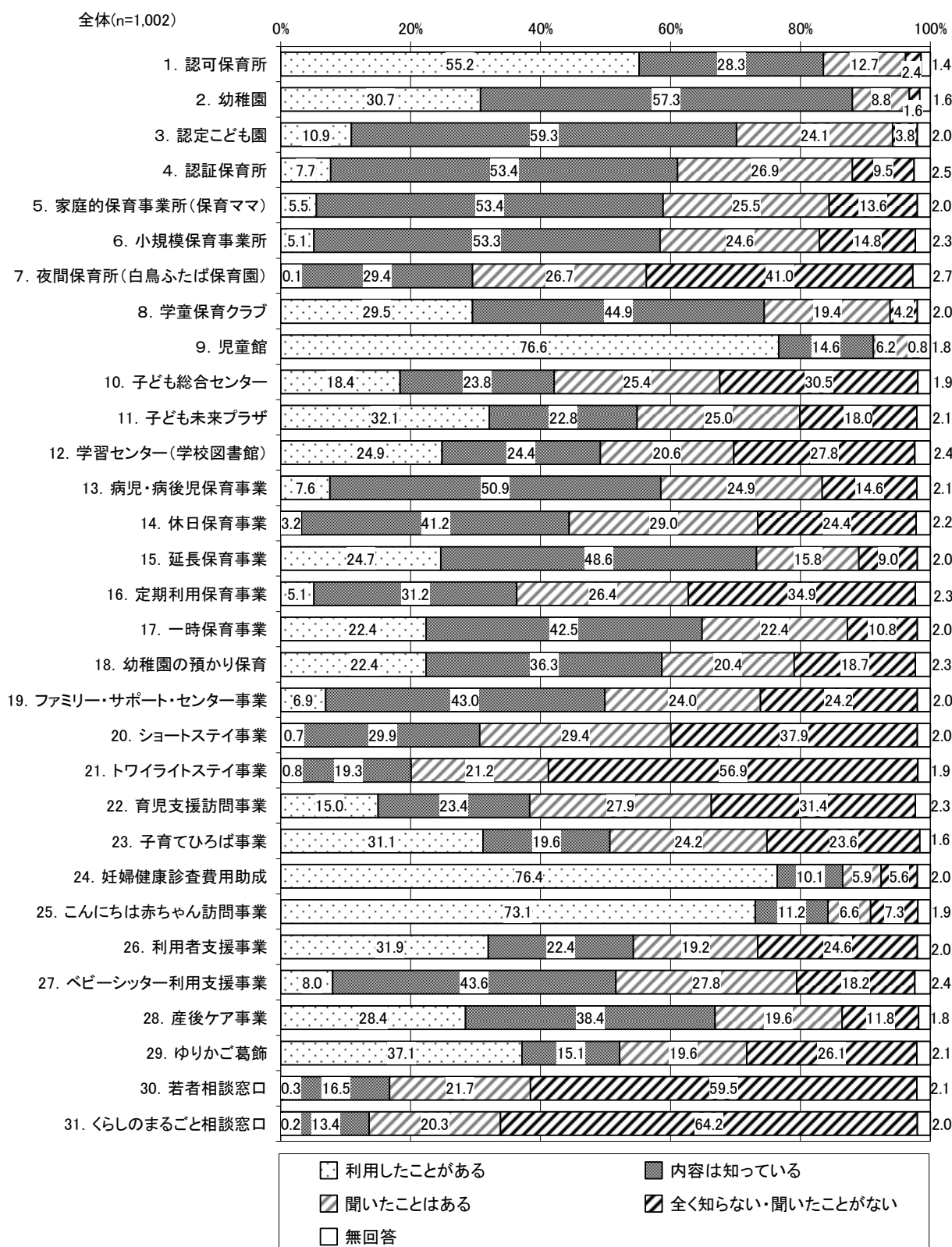


※令和5年度調査から「区公式LINE」を新設

(33) 区で実施している子ども・子育て支援に関する施設・事業を知っていますか。

『児童館』は76.6%が、『妊婦健康診査費用助成』は76.4%が、『こんにちは赤ちゃん訪問事業』は73.1%が「利用したことがある」と回答しています。

一方、『くらしのまると相談窓口』、『若者相談窓口』、『トワイライトステイ事業』は「全く知らない・聞いたことがない」が過半数に達しています。



※26 利用者支援事業（子ども未来プラザや保健センターで行う、子育て支援事業等に関する情報提供及び相談）

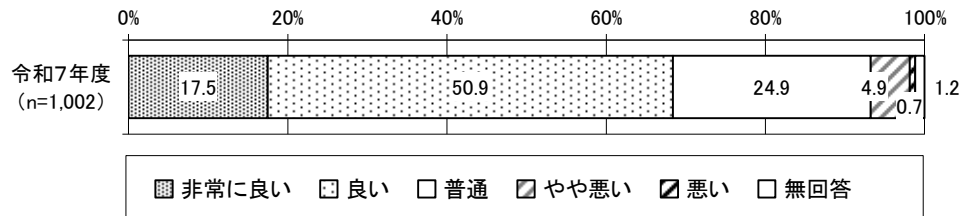
※31 くらしのまると相談窓口（「ヤングケアラー」などくらしに関する困りごとの相談窓口）

3 子育て環境についてお伺いします。

(34) 安心して子育てができる環境について、葛飾区を総合的にどのように評価しますか。

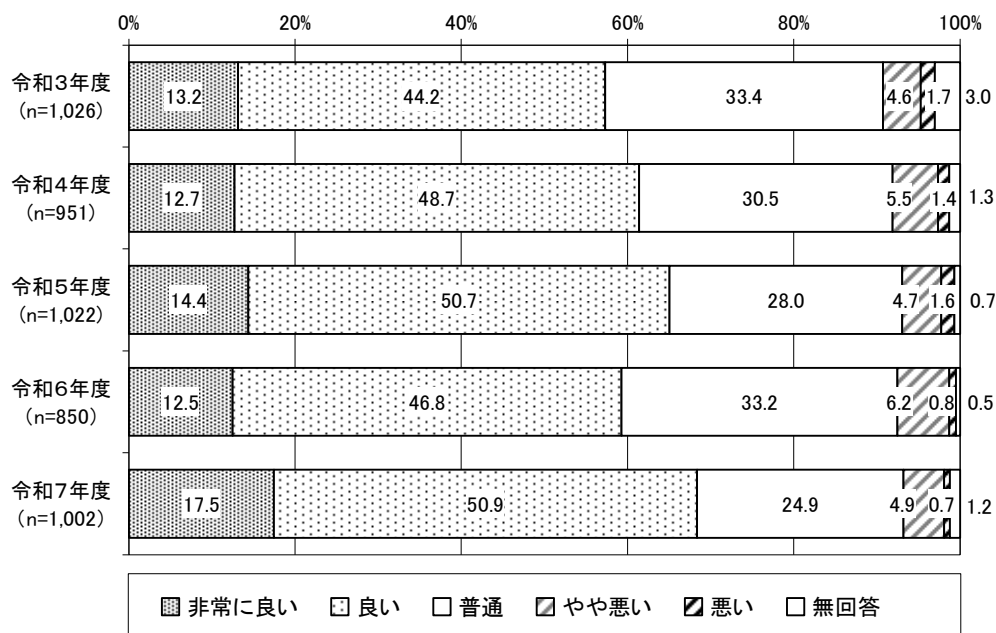
【全体】

総合的な評価は、「非常に良い」「良い」の合計は 68.4%、「やや悪い」「悪い」の合計は 5.6%となっています。



【経年変化】

「良い」が 50.9%で最も多く、「普通」が 24.9%、「非常に良い」が 17.5%となっています。令和6年度調査と比較すると、「非常に良い」が増加し、「良い」がやや増加しています。「普通」が減少しています。



その他ご意見・ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

ご意見・ご要望等の記述があったのは、回収数 1,002 票中 302 票でした。記述内容を区の子育て支援の「基本目標」に従って分類すると、以下のような結果となりました。なお、一人の方が複数の分類項目について記述をしている場合があるため、件数の合計は記述のあった票数より多くなっています。

分類項目	件数
基本目標 1. のびのび子育て！について	145
基本目標 2. すこやか子育て！について	38
基本目標 3. いきいき子育て！について	8
基本目標 4. あんしん子育て！について	117
基本目標 5. みんなで子育て！について	38
基本目標 6. つながる子育て！について	5
その他	20

以下に、主な意見を掲載します（文意を損なわない範囲で要約や表現の変更を行っている場合があります）。

基本目標 1. のびのび子育て！について

【保育園の入園基準について】	
1	上の子が保育園に通っている時の里帰り出産について、通わなくても退園にならない期間が長くなったと聞きました。とても嬉しいです。
2	早生まれ枠入園制度を作っていただけませんか。上の子が高 3、下の子が年少です。それぞれ 24 歳と 39 歳の時に出産しました。下の子は 3 月 3 日生まれで、私は 0 歳から預けたかったのですが、4 月入園ができず、5 月から預け、慣らし期間を経て産後 3 ヶ月で復帰しました。今、身体にガタがきています。半年くらいで復帰できる枠をつくるか、1 歳児の入園枠を増やすかしてもらえると、母子の身体的・精神的負担が減ると思います。育休を長くされる職場ならよいですが、そうでない人ができるだけ負担が少なく安心して預けられると良いと思います。
3	第 2 子の保育園入園申込の際、自身の点数が第 1 子の時よりもかなり低かったため確認したところ、就労実績が少ないからと言われました。もともと午前 9 時から午後 5 時の週 5 で働いていましたが、書類に記入した 3 ヶ月間は、ちょうど悪阻がひどく、医師からも出勤停止の指示があり、診断書も会社に提出していました。それでも「実際の就労実績が少ないからどうしようもない」と窓口の女性に言われ、もし第 3 子を授かっても後々保育園に入れることを考えたら、無理して体調を崩しても出勤しないと保育園に入れないんだなと思いました。
4	ぎりぎり早生まれのため、4 月の保育園入園が 1 歳児では厳しく入園できませんでした。1 歳児受入事業は利用していますが、来年度また保活をしなければいけませんし、もし 2 人目を出産するとなったら、タイミングによって退園しなければいけないので、諦めるかどうか考えています。

5	保育園に安心して入れるようにしていただきたいです。復職前で、入所できるか不安です。
6	収入で判断するならせめて、育休を取らない方(主に父親)の収入で判断してほしいです。母の収入が家計の割合が大きい場合、働けないと家計へのダメージが大きいです。
7	保育預け時間は時短関係なく広げてほしいです。保育園に入れるための条件をもっと緩くしてほしいです。子どもの事を一番に考えると仕事の時間を長くしたくないのに保育園に預けるために仕事の時間を優先しているので、もっと条件を下げてくれると仕事と育児の両立がしやすくなります。
【保育園の定員について】	
1	希望保育園の1歳児枠がなくて入れないのが悲しいです。
2	第2子の産前産後、頼れる親類がいないので上の子を保育園に預けたかったのですが、年度途中の公立保育園の募集が停止されていたので、送迎可能な近隣の園に空きがなく、入れなくて悲しかったです。遠くの保育園の空きがあっても自転車に乗れない妊娠中は何キロも離れた園への送迎はできないので、区全体で定員割れしているからといって、安易に全ての公立保育園を募集停止しないでほしいです。
【保育園の預かり時間について】	
1	保育利用時間が短いため、仕事を選ぶことができません。延長料金がかかるため、仕事がしづらい状況です。祝日や日曜日に利用できる保育園を増やしてほしいです。
2	今通っている保育園は延長ができず、短時間で働かざるを得ないので、延長できるようにしてほしいです。3歳以上になり、労働時間を長時間に変更したくてもできません。
3	認定こども園も5時以降延長料金がかかるので、6時までは保育時間に入れて欲しいです。
【保育園のサービス内容について】	
1	2歳の女の子を子育てしているママです。保育園を利用しています。親に代わり保育をして下さりありがとうございます。葛飾区の方針として一番感動したのが、保育園の食事はすべて国産の素材を使うところです。おかげで娘にも安心して食べてもらえます。
2	区内保育園のアレルギー給食の対応があまりにひどいです。一人一人に個別の配慮をしてほしいです。安全や生命と豊かな食体験を天秤にかけているように感じます。両立できるはずなのに、一律のアレルギー完全除去食を食べさせるなどの対応がされています。子どもにとって良いとは思えません。
3	発達がゆっくりな子を育てています。今年度は保育ママさんに保育していただき、少人数で楽しく過ごせていますが、来年度からは、保育園しか年齢的に選択肢がなく、集団での生活が難しい娘にとってはハードルが高いです。3歳児クラス以上の子どもでも、少人数で過ごせる保育施設があればいいのになと感じてしまいます。
4	保育園でのびのび過ごしたいのに、近所からの苦情で息苦しいです。
5	保育園の夏の遊び(プール)が少なすぎて困ります。

6	私立保育園（こども園）に通わせてる親の意見やクレームにもっと真摯に対応して欲しいと思います。私立だからあまり介入出来ないのかもしれませんが、何かあってからでは遅いので対応してくださると嬉しいです。親や子どもの気持ちを置き去りにしたまま、自分たちの目指す自然派保育だけに気持ちを向けられてるようで不安しかありません。どうか指導や話し合いをしてください。子どものことを一番に考えてもらえると大変ありがたいです。
【保育士について】	
1	保育園の先生方がのびのび働けるよう、給与とか上げてほしいです。
2	言い方がひどい先生がいます。
【保育料について】	
1	保育料が高いです。
【保育園の場所・通園について】	
1	金町、新宿地区、なかなか保育園に入れません。仕事復帰を延ばすしかなく、こまりました。もう少し入りやすくしてほしいです。学童も同じことになるのではと不安です。
2	新小岩駅南口側の保育園が少ないので、もう少し増やすことを検討していただきたいです。
3	駅の近くにもっと保育園を増やしていただきたいです。
4	小菅は葛飾区の端なので、保育園や児童館が遠く限られているのが不便です。
【病児・病後児保育について】	
1	病児・病後児保育施設を増やしてほしいです。感染症が流行っている時期になかなか空きがなく、預けることができないとよく聞きます。
2	病児・病後児保育について、事前登録が平日に数枠しかなく、予約が必要であったり、入口での煩雑さ、使用時にも診断書が必要で当日の利用ができないなど、何かと使いづらいです。突発的に仕事を休まなければならないこともあり、柔軟な病児・病後児保育の利用ができると非常にありがたいです。
3	復職してからは、病児保育をもう少し拡大してほしいと切に感じました。
4	利用する際の手続きをもう少し簡易的にしてほしいです。手続きが煩雑で心が折れそうになります。施設によっても利用までの条件が異なるため、統一してもらえると、実際に利用する時に確認にかかる時間が減って、もっとスムーズに利用できると思います。
【休日保育について】	
1	休日保育や病児保育できるところが少なく激戦なので、利用しづらいです。
2	認可保育所に通っていた当時、年末年始に保育園の休日保育を利用できないか検討しましたが、結局休日保育もお休みで、職場に連れて行くなどして対応していました。もう少し開所日を増やしてもらいたいと思います。
【ベビーシッター利用支援事業について】	
1	誰かの手を借りたいけど、他人を家に入れたくないというご家庭が非常に多いと感じます。トライアルで初回無料や事業者の方にお会いできる機会を設けたりすると、抵抗感は少なくなるものと思います。
2	ベビーシッターなど、急に必要になった時に助けてもらえる制度がほしいです。

3	ベビーシッターは無料と聞きますが、シッターさんの交通費は払わないといけません。一度お支払いし申請してしばらくしてから返ってくる。初めから、こちらから支払わずに済むようにしてほしいです。使いたいけど立替える余裕がなく、制度を利用できません。
4	東京都出産・子育て応援事業「赤ちゃんファースト」のポイント付与などの恩恵が受けられ、同じく東京都のベビーシッター利用支援事業も利用できて、大変ありがたいです。
【一時預かり・一時保育・ファミサポ等、在宅子育て家庭への支援について】	
1	一時保育の枠が少なすぎると感じています。予約開始日に連絡しても電話が全然つながらず、つながった時にはすでに予約がいっぱいだと言われてしまい、預けられません。病院受診などの際、子どもを連れて行って、2～3時間待機中にギャン泣きされて困ってしまいます。
2	一時保育利用していますが、すぐ定員が埋まってしまい、取りたい時に取れないときがあります。人件費等あると思いますが、対応できる保育園や人員が増えたら嬉しいです。
3	柴又エリアは一時保育（未就園児）できる幼稚園がないので、1つでもいいから作ってほしいです。
4	一時保育の利用が予約できず、全然使えないと感じています。保育士の給料を上げるなど、区として補助し、子どもを大切に作る体制を整えてほしいと思います。
5	ファミサポさんの利用目的変更にかかる時間が長くなり、マッチングもうまくいかないことが多いです。
6	一時保育を利用したことがありますが、私立のためか、園によって必要書類や持ち物が異なり、聞かれることも違って戸惑いました。
7	家事代行もたくさんの時間を利用することができ、魅力的ですが、1時間あたりの利用料金を下げてもらえると更に利用しやすいです。
8	子ども未来プラザで一時保育を利用したのですが、助成の対象外だったので、今後対象に入れてほしいです。
9	産後、急に体調が悪くなり上の子の保育園送迎が辛いと思った時に、ファミサポ（事前登録は済）にはお願いできず、頼れる手がなく辛い時期がありました。即日でも対応してくれるサポートが何かしらあるととても嬉しいです。
10	ファミサポを申し込みましたが、サポート会員が少ない地域なのでマッチングが難しいと言われました。
11	一時保育は予約が争奪戦で8時30分に電話してもつながらず、40分につながったと思ったら予約枠が埋まってしまったことが何度もあり、利用しづらかったです。一方で、子ども家庭支援サポーター制度などは本当に有難く、仕事と育児に追われる毎日ですが、家事代行サービスを利用することで、本当に家事の負担が減っていると感じます。
【学童保育の入所基準について】	
1	区内の学童保育で働いていますが、保育所と比べ待機児童が問題だと感じています。1年生優先入会も良いですが、2年生以上の延長保育を利用したい家庭が不承認となり、毎年頭を抱える保護者が多いです。

2	学童クラブの、条件を満たしていないため（月の勤務時間が足りない又は不定期就業）入会できません。入会しても月額料金が高いです。
3	保育園では一部で0歳児の予約入園があるものの、育休明けに合わせて学童にも予約入園枠を設けてほしいと考えています。6歳差の子どもを持つ共働き核家族世帯（両親を頼れない家庭）において、0歳の子どもの1歳前に入園させなければならないことに、もどかしさを感じています。以前区役所や学童に問い合わせましたが、確実に学童に入りたければ0歳児を4月入園で入れるようにと言われ、なぜこのような仕組みが取り入れられないのかについての返答がもらえなかったことに、子育てのしやすさに疑問を感じています。
【学童保育の定員について】	
1	学童保育の預け入れ枠を広げてほしいです。
2	低学年しか利用できないこと（定員の問題）や学校と学童が離れていることで、帰路が遠くなるため困っています。
【学童保育の預かり時間について】	
1	小学校に上がると学童保育の開所時間が短く、仕事に制限がかかります。保育園からのつながりを考慮した開所時間をお願いしたいです。
2	保育園は朝7時から利用可能なのに対し、学童保育は8時10分から有料で、延長も保育園は夜8時までに対し、学童保育は夜7時までと、働ける時間が圧倒的に少ないと感じています。小学校低学年はまだ全然1人にしておけないので、1人で鍵をかけて家から出発させるのは全く安心できません。朝の受け入れ体制が必要です。学校は朝8時15分から25分間で登校するため、早く行けないのも困っています。保育園は延長した際に補食があるのに対し、学童保育にはそれが無い点も不満です。保護者の当番や草刈りなどを外注してほしいと考えていますし、地域高齢者の協力をお願いしたいです。フルタイムで働かない前提の古くからの習慣は改善していただきたいと思っています。
3	亀有には朝8時30分開所の学童しかないため、夏休み等仕事に間に合わず、困っています。
4	学童の夏休みなどで朝から1日保育してもらえることは非常に助かっていますが、基本の受け入れ時間が朝8時30分からだと、仕事の始業時間に間に合わないことが多く、調整している方が多いと思います。早番申請ではなく、基本時間をもう少し早めていただけると助かります。
5	公立、私立学童保育クラブ（一部を除く）共に長期休暇中の利用時間が午前8時30分からとなり、普段の登校時間と出発時間が変わるため親の仕事調整が難しくなってしまう。公立学童保育クラブは午後6時閉所となり、私立に行くには交通量の多い道路があり危険です。ファミリーサポートも申し込みましたが、サポート会員が少ない地域のためマッチングが難しいと言われました。また、登校時間が保育園の開所時間より遅いため、子どもをひとりで行かせることになり、困っています。
6	17時（決まった時間）になると子どもだけで学童から一斉に帰宅している子ども達を見ますが、夕方に子どもだけという状況に少し不安を覚えます。親が希望すれば、親が迎えに行くまで預かるなどの対応を取ってほしいと思います。

【学童保育のサービス内容について】	
1	第一子が学童に通っていますが、アレルギーがあるため、間食の提供がしてもらえず、また長期休暇のお弁当注文も利用できません。親が間食をもたせていますが、私もアレルギー食材を見逃すこともあり、保育園や小学校のように、施設側と親親でダブルチェックして提供する仕組みづくりを希望します。
2	学童では、外で遊ぶ事ができません。テレビアニメを見ているなど、内容にも疑問があります。
3	学童の支援員がひどいです。パートタイムのスタッフも含めて、学童の環境が整っていない施設があります。人数を受け入れるだけ受け入れて、目が届いていない状況です。子どもに対する対応もひどく、不安を感じています。
【学童保育事業の拡充について】	
1	保育園が増えている中、小学校に上がると、学童の数が圧倒的に少ないため、働いている親は子どもの学年が上がるにつれて悩むことになります。学童の数が増えてほしいと思います（できれば小学校の近くに、または送迎サービスがあると嬉しいです）。
2	新しく設立するのは難しいと思いますが、新設するか、元々ある施設の規模・職員数・給与の増額・免除などを検討していただけると幸いです。
3	学童利用を高学年になっても、多少金額が上がってもいいので、使えたらと思います。高学年になると、学校のある平日はなんとかなくても、長期休みの居場所の確保が難しく、わが家の学区内には児童館もなく、学童も通年利用のみで、学童の申し込みに通るか毎年ビクビクしています。ここ数年の猛暑で外で遊ばせておくのも限界があり、学童がないと家しか居場所がありません。わくチャレも毎年必ず実施してくれるならまだいいのですが…。住んでいる地域によって学童の夏期利用ができたり、児童館で過ごすことができることの差があるのは少し不満です。
4	保育所は毎年増えていますが、学童保育は増えないので増やしてほしいです。
5	新小岩の学童は少なく、選択肢も限られています。行政には、積極的に支援内容の多様化（事業者や利用時間など）の拡充を行ってほしいです。
6	学童保育をもっと増やしてほしいです。わくチャレが2年生からは早すぎて不安です。
7	学童保育の充実。わくチャレではなく、希望する子が学童に入れるように整備してほしいです。
8	小学校と公立学童保育クラブ(児童館)が離れている上に、道中に踏切や信号の無い交通量の多い交差点なども多く、もっと近くにあれば私立学童に応募が殺到せずに選択肢が広がり、子どもたちも児童館を普段利用しやすくなるのにと考えています。
9	学童の充実をお願いします。高学年は入れないと聞いているので、高学年でも学童に預けられるようにしてほしいです。
【公立幼稚園について】	
1	公立幼稚園の利用サービス拡充を検討していただきたいです。私立は良いところもありますが、お金がかかり大変です。

2	公立幼稚園は、障害のある子や病気など事情のある親、経済的に厳しい家庭など様々な事情のある家庭を受け入れてくれる最後の砦のような、セーフティネットの機能があります。先生方の保育の知識も専門的で、発達に課題のある子どもがその子らしく生活できるよう取り組んでくださり、本当にありがたいです。セーフティネットとしての公立幼稚園という選択肢をより多くの人に知ってもらいたいです。また、その意義を理解してもらいたいです（存続は必須だと思います）。
3	区立幼稚園を存続させる方法を真剣に考えてほしいです。
【子育て支援情報等の周知について】	
1	知らない事業があることを、このアンケートを通じて知りました。広報から情報を得ていますが、これをきっかけに他の情報収集もしてみようと思いました。
2	現在子どもが5歳ですが、小学校のことや学童のことをネットで調べてもあまり情報は掲載されていないように思います。学校の開門は何時なのか、登校班はあるのか、親は旗振り当番があるのか、共働きの親にとって、重要な情報です。
3	スポーツセンターの習い事などでは、申込み方法がハガキの場合があり、分かりづらく、入りづらいです。
4	産後、0歳から1歳半までは保健センターと繋がっていましたが、その後は3歳半まで特に何も繋がりがありません。こちらから聞かないと分からない状況です。こちらから連絡しなくてもLINEで繋がって情報を流していただきたいです（相談に応えるのは大変だと思いますが、そのようなサービスがあると目につきやすいLINEは良いと思います）。
5	第三子の産休、育休時に産育取得証明書の提出が必要なことをだれにも教えてもらえず、あやうく第一子が園を退園せざるをえない状況となりました。区役所に教えてもらえない理由を聞いても、個人情報にあたることは伝えられないとの回答でした。改善してほしいです。
6	子どもの成長に伴い、年齢によって保護者や子どもが必要とする情報は変化していきます。そのため、年代に合った利用可能な施設や事業の情報を提供できるように、例えば「年代別利用施設・事業一覧」のようなものを整備していただきたいです。毎年、医療証が区役所から送付されると思いますので、その際に同封していただけると、必要な情報がより届きやすくなるのではないかと思います。そこまで必要ないのかもしれませんが、ご検討の余地がありましたら、ぜひよろしくお願いいたします。
7	子育て事業については、きっとたくさんの支援があるのだろうと思いますし、小さな子どもがいる家庭であれば利用することも多いのかもしれませんが、あまり情報を耳にすることがありません。
8	ベビーシッター（一時預かり事業）の存在を昨年知りました。実際に利用してみても便利だったので、もっと早くから知りたかったと思います。周りでも知っている人や利用したことがある人はほとんどいません。もっと区から積極的に周知すべきではないかと思います。園の保護者会もただプリントを読むだけでなく、そのような情報を提供していただきたいです。
9	学童クラブにはどうすれば入れるのか、もう少し分かりやすい情報があれば提供してほしいです。

10	LINE などの SNS を通じて、その家庭（児童の年齢）に合った情報や手続きがわかるようになると良いと思います。現在は区役所に問い合わせたり、送られてくる書類だけで確認したりしなければならず、管理がしにくいと感じます。
11	学童（私立）の空き状況をホームページで公開してほしいです。
12	幼児向けのイベント（子育てひろばや子ども未来プラザなど）は、予約がすぐにいっぱいになってしまいます。イベント情報を早めに知りたいですし、枠を増やすなどの対応をしていただきたいと思います。また、ホームページ上のイベント情報が少し見づらいため、一覧形式にするなど見せ方を工夫していただけると嬉しいです。
13	ほとんどの親が小学校に上がるタイミングで働き方を考えなければなりません。保育園だけでは情報が少ないので、何らかの形で情報発信をしていただけると参考にできると思います。
14	子育て支援に関することを、産後に知る機会がほしいです。子どもを連れていける講座のようなものと直接聞くことができて嬉しいです。
15	区のホームページが見づらいです。
16	児童館や子育て広場をまわるスタンプラリーのイベントは、保育園や児童館を知るきっかけとなり、とても良かったです。特に保育園は自分から行く勇気がなかったのですが、今回のイベントでたくさんまわることができて良かったですし、楽しかったです。地域のイベントやサービスなど、受けられるものを児童館などに貼り紙していただけると「また参加してみよう」と思うきっかけになると思いました。児童館や身近な場所で区の取組を教えてくれる講座などをもっと増やしていただきたいです。
17	自分から調べたり申請しないといけない事が多く、もっと分かりやすくしてもらえるといいと思います。ベビーシッター利用券など配布してもらえると助かります。
18	区外から転入してきたため、子育てに関する情報があまり得られておらず、なかなか利用できていません。
19	一時預かりベビーシッターなどの助成については知らず、1歳半以降から利用していました。双子だったので、もっと早く知りたかったと思います。赤ちゃん訪問などの際に教えていただけても良いのではないかと思います。知らないまま利用できなかった事業もあります。例えば産後ケアは授乳などの悩みでも利用できると知っていれば通えたのにとおもいます。
20	以前住んでいたところでは母子モ（アプリ）を使っていました。情報がとても把握しやすく、特に各保育園やこども園のイベント情報が日付で検索できるので気軽に調べられてとても助かりました。今はそれぞれの園の情報を自分で取りにいかないと行けないので、非常に不便を感じています。
21	広報かつしかはよく読んでいるので、もっと子育て支援の情報を掲載してほしいです。
22	情報発信は若者が使う SNS を積極的に活用すべきだと思います（リスクのある SNS を除いて）。
23	引越しをしてきたばかりであまり知りません。住所変更等の時に案内がほしいです。

24	幼稚園選びについては情報が少なく、どこにも相談できず少し大変でした。
25	葛飾区の児童館に関するホームページが見づらいです。他区に比べて、行事に関する説明、締切などが分かりづらいです。締切の色を変えたり、強調したりしてほしいです。
26	色々支援施設や事業がありますが、あまり身近に感じられません。知らないこともたくさんあり、こんなにさまざまな取組があっても、近くになれば行きませんし、知られていなければ利用されません。こちらから聞かないと教えてもらえないようであれば、とてももったいないと思います。
27	保健センターの相談窓口と区役所の相談窓口が完全に分かれており、連携してサポートしてもらえません。改善していただきたいです。子どもを保育園に預ける際に区役所へ問い合わせをしたところ、職員の方によって回答にばらつきがありました。締切があるので急いで送るようにと言われた書類についても、数週間経っているのに「まだ中身を見ていない」と言われました。職員によって回答や対応にばらつきがないようにしていただきたいです。
28	保育所・学童保育クラブなどの施設や子育てひろばなどのベビーカー利用の可否、階段の有無等については情報提供がやや足りないと思います。
【親同士の交流の場・子育てひろばについて】	
1	子育て広場が充実しており、ママコミュニティができたのは良かったです。
2	以前練馬区に住んでおり、子ども家庭支援センターぴよぴよが、産後すぐ1人で子育てに悩んでいるときの話し相手や居場所になりました。自分の母親世代の方がスタッフに多く、いつも向こうが話しかけてくれて救われました。葛飾区にも支援センターはありますが、ぴよぴよとは雰囲気違ったので、同じような場所ができると若いママたちの助けになるかなと思います。
3	子育てママ同士が雑談できる場、機会を増やしてほしいです（例えば…6、7ヶ月など月齢分けた会など）。2ヶ月の会が楽しかったです。
4	民間と連携したような子育て広場がほしいです。
5	乳幼児が利用できる子育て広場や施設の立地に偏りがあり、水元、奥戸、金町周辺に集中しています。近隣で利用しやすい場所がないのが現状です。
6	お昼の時間にも支援センターを開放してもらえると助かります。
【子育て世帯への経済的支援について】	
1	小・中学生の修学旅行費やドリルなどの補助がとてもありがたいです。
2	子どもに関する補助が他の区に比べて充実していると思います。
3	給食費や修学旅行費などの助成が非常に助かります。
4	現在の葛飾区の助成はとてもありがたいです。強いて要望を書きますと、収入にかかわらずオムツやミルクの助成があるととても助かります。
5	助成金のおかげで電動自転車やベビーカーの購入ができました。無痛分娩も助成が決定したことで、第2子を考えることができています。
6	おむつ定期便のように日常生活に寄り添った支援を、より拡大していただきたいです。
7	子育てをするのに充実していて助かっています。ミルクやオムツも支援してくださるとありがたいです。

8	一時保育や預かり保育の助成金も増やしていただきたいです。
9	コロナ以降、子どもが発熱した時に診てくれる病院が少なくなりました。近くにあり、大きな病院で安心していたイムスでさえ、初期診療代 7,000 円かかると言われ、がっかりしました。結局薬局で薬を買ってしのぐことになります。1 家庭につき年間 5,000 円程度、レシート申請で支給してくれたらと思います。
10	子どもにかかる教育費・学費、全て無料にしてほしいです。
11	ベビーシッター事業の助成額を増やしてほしいです。
12	ベビーシッター利用の助成があり、毎週お願いすることができ、大変助かっています。家事代行もたくさんの時間を利用することができ、魅力的ですが、1 時間あたりの利用料金を下げてもらえると更に利用しやすいです。
13	子育て世代、若者に対しての支援をもっと手厚くしてほしいです。小学校高学年から高校生のいる家庭への支援が少ないように感じます。
14	校外学習支援に続き、中学校の制服についても 1 回までで良いので支援していただきたいです。3 年間サイズアウトせずに着られるかどうか分からない中で、制服の出費はあまりにも大きすぎると感じます。
15	もっと断続的に金銭的な支援が欲しいです。
16	子どもに関わる手当関係の所得制限は理解できません。平等を理由にするなら、それこそ親の所得は関係ないと思います。
17	区は 23 区内の中で子育て給付金などが充実していたり、未就学児までは保育園をはじめ手厚い支援があると感じています。ただ、小 1 の壁が越えられません。
18	高校の教科書も無料にしてほしいです。
19	ここ数年で子育て支援がさらに手厚くなっていると感じていますが、デジタルギフトではなく、現金か金券での支援の方がありがたいです。デジタルギフトは商品のラインナップに欲しいものがないことが多く、さらに自分で Amazon などから直接購入の方が割安になるため、無駄になってしまう金額が多いと感じます。
20	子ども乗せ自転車の補助金を、各家庭で 2 回まで受けられるようにしてほしいです。主人用に子どもを乗せる自転車を購入したかったのですが、自分の時に利用してしまったため使えませんでした。ただ、助成が出ていること自体はとてもありがたいです。現在は夫婦で子どもの送り迎えをしている家庭が多いので、ご検討いただけると嬉しいです。
21	公立私立に関わらず、中学・高校の授業料、給食費、修学旅行費の無料または支援を強く希望します。現在公立では支援がありますが、私立を選択した家庭への支援がなく、物価高、米の価格が上がる中、日々のお弁当や昼食費の負担が増えています。公立同様、給食費、修学旅行費相当額の支援を切に要望します(実施されている区もあります)。決して家計に余裕があるわけではないのですが、より子どもに合う学校と思い私立を選択しました。公立、私立どちらを選択しても同等程度の支援を受けられて、乳幼児期だけでなく高校生まで途切れない、偏りない支援がある区にしてください。
22	病児保育の充実と保育に関わる助成金の充実を求めています。葛飾区プレミアム付商品券など、子どもがいる家庭を優先してくれるとありがたいです。
23	子どもが不登校になった際、毎日毎食一緒に過ごすことになる、お金がとてまかかってしまいます。何かしらのサービスや支援があるととても助かります。

24	育休手当の金額が 50%に減額以降に、区の助成金や手当金などがあつたら、働かざるを得ない人たちが延長しやすくなると思います。
25	病児保育シッターの月会費に月 1 回目の保育料が含まれている場合がありますが、利用した月はこれも助成の対象にしてほしいです。
【その他、子育て支援に関する要望について】	
1	仕方ないことではありますが、地域によって多少の差があるように感じます。区の子育て支援や子育て環境がどんなに充実していても、各家庭の子育て環境によって子どもたちの置かれる環境は異なり、そのことが地域全体の子育て環境に影響を及ぼしてしまうのが残念だと感じる場合があります。
2	子育てに関しては、所得制限等はなしにしてほしいです。
3	ママが病気の時のヘルプが、もう少し気軽に得られるようになると、安心して子育てすることができます。
4	子どもの学習面の活動を多くしてください。
5	知らない子育て支援もありますが、必要な時に必要な支援をすぐに受けることができると思いいます。
6	オンラインやアーカイブで、親子向けの講座を開けないでしょうか。子育て世代、特に共働き家庭の生活スタイルに寄り添っていただきたいです。
7	乳・幼児への支援はこれ以上手厚くしなくてもよいと思います。それよりも小・中学生の方が、より幅広い支援が必要です。家庭環境や人間関係など、子どもが抱える悩みは複雑であり、周りに知られず安心して頼れる場所がまだまだ少ないのではないかと感じます。
【子育て支援に関するアンケートについて】	
1	このアンケートは少し分かりづらいです。ネットを見て確認しないと、「のびのび」「すこやか」「いきいき」などの目標が何を指すのか分かりませんでした。別紙などに記載していただくか、どこかに説明を載せていただけると助かります。
2	I hope next time if have survey who has, There is the form for Foreigner (English Form) to easy to understand our answer. Thank you. (次回アンケートがある場合は、外国人が回答しやすいように英語のアンケートフォームを用意してほしいです。)
3	外国人なのでよく分かりません。
4	子育て支援部だけでなく、他の部署の人達にも周知し、共有出来るような仕組みが出来ているのか疑問に思います。アンケートをやりましたで終わらないように願います。葛飾区にはまだ期待しています。
5	Please make an English copy for the foreigner parents to easily understand. Thank you. (外国人保護者が理解しやすいように、英語版を作成してください。)
6	アンケートの趣旨が分からない。
7	このようなアンケートを実施する際に、あとどのくらいの質問で終わるのが分かるメーターのようなものが表示されていると助かります。

基本目標 2. すこやか子育て！について

【産前産後の健康支援について】	
1	産前に葛飾区へ転入しましたが、妊婦から産後以降も支援が多いので転居して良かったです。
2	妊婦や産後ケアに関しては年々、手厚いサポートが増えて助かります。
3	産後ケア事業や家事サポートなど、体がきついときにとっても助けられました。日数や利用回数をもっと多くしていただけると、とてもありがたいです。
4	妊婦健診の度に、補助券を使っても5千円～3万円ほどの自己負担がありました。もう少し負担が少なくなるようにしていただきたいです。
5	妊婦健診の個人負担が多すぎて驚いています。他県で2人生んでいますが、健診を受けても補助券で0円でした。採血など、初回2万円は、何故そんなにかかるのでしょうか。子どもを増やそうとしているとは思いますが、お金がないと妊娠を継続するのも難しいと思います。今されているお祝も嬉しいですが、まずは、健診の個人負担を無くすほうが、現実的に嬉しいなと思います。他県で受診の際と東京でしている健診は同じ内容でした。ちなみに、出産時も手出しはなく、完全個室です。日本で1番赤ちゃんが生まれている病院なので、その県や病院を基準に考えてみるのはいかがでしょうか。子どもが増えると思います。
6	子どもが予定よりも早く産まれ、私自身も妊娠高血圧腎症が悪化してしまい、十分に準備ができないまま産後を迎えることになりました。産院の助産師さんには産後ケアを利用させていただき、大変お世話になりましたが、それまで手厚かった分、家に帰ってからの育児は本当に過酷でした。子どもは2,100g程度で退院し、まだ哺乳する力が弱かったため、搾乳してから哺乳瓶であげていましたが、出産時の病気の影響で私自身の筋肉が落ち、産後の高血圧も治らないまま、本当にしんどかったです。必死に生きていたので、その頃の記憶はあまりありません。産後ケアの日数を増やすか、訪問で手伝っていただける仕組みがあると大変ありがたいです。また、そのようなサービスを積極的に利用できるよう、もっと伝えていただきたいです。産後は想像以上に頭が回らず、情報を得るのが難しいと痛感しました。
7	妊婦検診の費用を助成してくださっても、産婦人科に毎回5千円近く支払いをすることがあったり、助成券が使えないことがあったりしました。病院の判断なのかもしれませんが、モヤモヤしました。
8	妊婦健診の助成券がプラス1、2枚あれば安心できました。
9	産後ケアを今後利用予定ですが、基本利用料無料は嬉しいです。妊娠の際の給付金が現金支給だと嬉しいです。
10	産後ケア助成について、乳房ケアとデイケアの枠を別にしてほしいです。
11	産後デイケアを受けられる回数が増えたことはありがたく感じましたが、実際には予約が取りにくく、さらに産後4か月までという期間が短いため、利用回数を使い切ることができませんでした。使用可能な施設をもう少し増やしていただけると嬉しいです。
12	産後ケアも利用したかったのですが、予約がいっぱいで利用できませんでした。何か対策を講じていただけると助かります。

13	産後ケアをもう少し長く利用できるとありがたいです。
14	すくすく歯育て歯科健診について、現在は2歳児とその母親が対象となっていますが、父親も対象にしてほしいです。5年ほど前に利用した際、私（母親）が妊娠中の体調不良で同行できず、父親に同行してもらったところ「父親は対象外」と言われ、診てもらえませんでした。現在のホームページを見てもまだ母親のみが対象となっており、父親の育児参加が叫ばれている中で、この対応は遅れていると感じます。母親が同行できない事情のある家庭はたくさんあると思いますので、ぜひ父親も対象にしていただきたいと思います。
【乳幼児の健康支援について】	
1	1歳半検診はなぜ2回に分けるのですか。手間になります。
2	8か月歯科健診は対面の枠が少ないのであれば、1歳での歯科健診と集約した方が良いと感じました。対面での健診を希望しましたが、予約開始後すぐに埋まってしまい、「相談したいことがあれば電話で」との案内でした。しかし、歯に関することは電話では伝えにくく、あまり意味がないように思えました。また、全員が対象ではなく早い者勝ちという現状に不公平感を抱きました。
3	歯科健診は平日のみの実施で選択肢が限られているため、両親ともに仕事をしている家庭のためにも休日にも受けられるようにしていただきたいと思います。
【心の健康について】	
1	買い物をしていると、全く知らないおじさんやおばさんなどが明るく優しく話しかけてくれることがあり、子育てをしてもあまり孤独や寂しさを感じません。スーパーや小売店で働く方々も親しみやすく、声をかけてくれることが多いです。
2	30代、4人の子どもを育てています。子育てしていると、必ずしも1人ではないけれど1人のように感じたり、大人と話していないなと思う日もあります。子どもと一緒に歩いていて、心ない言葉をかけられてしまう時もありますが「ママ、えらいね。大変だけどがんばろう」と何気ない言葉で疲れが飛ぶこともあります。思いやりや優しい心を持ったままでなく、どうか迷わず、声を掛けてくださると嬉しいです。子どもたちも、パパもママも、とってもHappyに過ごせる区でありますように。
3	子ども・子育ての相談と共に、親の心の相談もできたら良いと思います。
4	不登校の子どもがいると、これまで通り働くことが難しくなり、収入も減ってしまいます。また、親自身のメンタルケアにも注目していただきたいと思います。周囲と比べて落ち込んだり、孤立してしまったりすることがあるため、支援が必要だと感じます。
【相談に関すること】	
1	区役所の子育て関連の部署の方達も、相談した際などは親切的な印象があり、ぜひそのクオリティを維持していただけると嬉しいです。
2	子どもの食事（偏食）に困っています。何度か相談はしましたが、具体的に月齢に合わせた料理教室などがあると助かります。実際に試食でき、子どもも一緒に参加できる形式だとよりありがたいです。
3	子育ての悩み相談ができる場所はあると、利用しやすいとは感じていますが、実際には解決には至らず、寄り添ってもらえるだけで行き先がないように感じています。

4	保健センターの育児相談に、栄養士さんとお話できたらいいなと思います。
5	赤ちゃん訪問など不安なことを相談しましたが、あまり差支えのない言葉のみで、不安の解消にはなりませんでした。もう少し親身になってもらえたら安心できたかもしれません。これから出産される方のためにも改善されることを願います。
6	発達相談について、定期的なアフターフォロー(心理士との面談や療育の情報へのアクセス)がもっとほしいと思います。
7	乳児の時は助産師さんや保健師さんに相談しやすい環境が整っていますが、幼児になると気軽に相談できる場が減ってしまう印象があります。3歳児健診で相談した際も、こちらとしては家庭での声掛けの仕方や接し方のコツなどを聞きたかったのですが、発達に問題があるかもしれないという一段上の相談事として扱われてしまい、相談の仕方が難しいと感じました。
8	若者相談窓口は知らなかったのですが、学校生活のいじめや、不安などを相談出来る場がもっとあればいいと思います。
【医療体制について】	
1	産後の乳房外来を定期的に利用しています。かつしか医療センターでの外来を今後も続けていただきたいです。先生方からためになるお話をいつもいただき、多くの方が安心して通える施設であり、区の魅力の一つだとも思います。
2	夜間、休日の医療体制を整えていただきたいです。葛飾には葛飾医療センター、東部地域病院と規模の大きな病院があります。もっと充実させていただきたいです。
3	子どもが3人いますが、体調を崩してしまうことが多く、特に夜間に多いです。以前はファストドクターなど、夜中でも自宅に往診に来てくださるサービスを無料で受けられましたが、現在は高額になってしまい利用できません。1人で3人を連れて受診することが難しい状況も多々あります。予算などの関係で区でこのようなサービスを整備するのは難しいかもしれませんが、体調不良の際にはとても心強いサービスでした。夜中でも安心して受診できる仕組みがあると大変ありがたいです。子どもの体調不良のときが、子育てをしていて一番不安で心配になる場面です。どうぞよろしくお願いいたします。
4	乳幼児のとき、保健センターでの健診で「病院で再検査が必要」と診断されました。子どもが通院歴のある病院への紹介状をお願いしたところ、「保健センターからは近くでこれまで紹介したことがある病院しか予約できず、紹介状も書けないので、近くの病院ではどうか」と言われてしまいました。私は、これまでのカルテがある病院の方が診断もスムーズだと思い、その旨を伝えて依頼した結果、最終的には紹介状を作成していただきました。しかし、なぜ最初に近くの病院に誘導されたのか、少し疑問が残りました。子どもの健康を考えるのであれば、保健センターの職員さんの手続きのしやすさや利便性を優先するのではなく、子どもが通院歴のある病院で診察を受けられる方が望ましいのではないかと思います。悲しくなりました。
5	小児科が少なく予約も取りづらいため、病気した時の負担が大きいです。
6	金町地区は産科・婦人科が少なく、健診を受けたくても産科が混んでいたりと、婦人科健診を受けられる場所が限られていると感じます。
7	深夜に直接診察してもらえる小児科があれば安心できると思います。電話しなくても直接お伺いできる小児科があってほしいです。

8	皮膚科と、休日にやっている 24 時間対応の病院が新小岩駅周辺にないため誘致していただきたいです。
9	新小岩駅周辺の小児科が少ないので増やしてほしいです。

基本目標 3. いきいき子育て！について

【職場での仕事と子育ての両立支援体制について】	
1	長女の担任の男性の教諭が奥さんの出産に伴って、現在育休を取られています。学校の男性の先生が育休を取るなんて、昔では信じられませんでしたよね。クラスメイトの保護者の皆さんもこの育休を好意的に捉えています。小学校の素晴らしいお心遣い、協力体制に感心しております。
2	産休・産後を取得すると、会社にもメリットがあるようなシステムをもっと作ってほしいです。
3	育児と仕事の両立をしています。両立していると育児に余裕が持てません。職場の理解も少なく、子育て世帯の同僚が辞めてしまう状況です。その中で自信をなくしてしまうこともあります。もっと育児と仕事に理解のある地域になってほしいです。
4	ワーキングママにとっては、学校行事や通院など、職場の理解がないと厳しいと思います。
【男性の家事・育児への参加について】	
1	育児パパ同士のネットワークを構築できる機会があるとありがたいです。育児パパ同士で悩みを話したりできると、気持ちを整えることができると思うからです。夫も育休を取得するなど育児に積極的に関わっていますが、その中でこれまでとは違う要望も出てくると感じました。どうぞよろしくお願いいたします。
2	父親向けの講座・クラスを充実させてほしいです。
3	0歳児を育てる父親向けの教室などが開催されていることを広報で拝見しましたが、父親はあまり興味を持たず、見ないことが多いです。子ども宛ての郵便物についても、基本的に母親が対応するものと思っている昭和的な考え方の父親が、まだたくさんいるように思います。せっかく父親向けの育児教室を開催していただいているのであれば、ぜひ父親宛ての郵便物としてプッシュ型で通知していただくとありがたいです。0歳児向けだけでなく、年齢別に父親向けの教室を開催していただけると嬉しいです。
4	父親のみ対象の父親になるにあたっての、教室、勉強会、妊娠から出産、産後の女性の身体的負担、精神的負担、ホルモンの変化などをもっと理解・促進できる機会があればと思います。

基本目標 4. あんしん子育て！について

【おむつ替え・授乳スペース等の充実について】	
1	区役所の授乳室が汚いのでキレイにしてほしいです。
2	青砥駅に授乳施設を設置してほしいです。
3	おむつ替えスペース、授乳室、ベビーカーが通りやすい道路の整備など、まだまだ不足していると感じます。

4	「おむつ替えや授乳ができるスペース」についてですが、3年前に乳幼児を連れて区役所に行った帰り、赤ちゃんがおむつを汚したため「赤ちゃんの駅」を調べて児童館に行ってみました。その際、「は？おむつ？何しに来たの？」と言われました。「赤ちゃんの駅でこちらが出てきたので、おむつ替えをしたくて来ました」と伝えたと、はあ？小学生いるけど、それでいいならどうぞ」と、嫌々案内されました。実際に案内されたのは、小学生が遊んでいるフロアの片隅に、カーテンを簡易的に仕切り、イスを置いただけのスペースでした。冷たい床に乳幼児を寝かせておむつ替えをすることになり、子どもが泣いてしまうと小学生が心配してカーテンを開けてしまい、それを職員さんが注意する声でまた子どもが泣いてしまうという状況でした。児童館は3階にあるため、ベビーカーを1階に置かなければならず、とても不便に感じました。
【子ども未来プラザ・児童館について】	
1	児童館の方やしあわせサービス、ファミリーサポート、ベビーシッター、発達支援の担当者の方、いろは、カフェアリス、きぼうの家、ミッカ等々、地域の方々が優しく感じます。ありがとうございます。
2	新水元児童館は第4日曜日以外は全て開園しているので、とても助かっています。先生方も皆優しくて子育てする身からすると、本当に有難いです。これからもこのような施設が増えればいいなと思います。
3	児童館が充実していることは、他の自治体にも自慢できる点だと感じております。各地に点在しているため、子どもが飽きないように複数の児童館を利用することができました。どの児童館でも職員の方の対応が良く、相談にも親身になっていただきました。子どもの学校の運動会も見に来てくださり、子どもたちはとても喜んでいました。ぜひこの良い政策は今後も続けていただきたいです。
4	児童館について、当初は「建物が古いイメージで、他のママさんとも挨拶する必要があるのかな」と敬遠しがちでしたが、南新宿児童館に行ったところ、職員さんが皆さん明るく、おかげで子どもも親も行きやすくなりました。週末も開いているので助かっています。
5	子ども未来プラザ西新小岩について、小学生が放課後を過ごす場所として、とても良いと思います。
6	児童館など、小学生が放課後に安心して過ごせる環境を充実させてほしいです。
7	土日開館している児童館を増やしてほしいです。夏場暑すぎて公園で遊べないので、室内施設はニーズがあると思います。
8	よく利用する高砂児童館や南新宿児童館は、どちらも階段を上らないと入れず、エレベーターもないため、自分で歩けない小さな子どもを連れて利用しづらい造りだと感じます。将来施設を更新する際は、ぜひバリアフリーにしていきたいと思います。児童館や公園に子ども用トイレがあれば良いのになとも思っています。児童館については、簡易の補助便座でも良いので設置してもらえると助かります。
9	白鳥児童館では階段や廊下がとても暑く、扇風機が踊り場に1台置いてあるだけでほとんど効いていません。低年齢の赤ちゃんが階段を行ったり来たりしているのを、お母さんと職員さんが汗だくで見守っていて、とても大変そうでした。他のお母さんたちからも同じ声を聞くので、早急に改善していただきたいです。

10	奥戸・新小岩近辺に住んでいますが、子育てするにはとても環境が整っています。各児童館やにこわ、子ども未来プラザ東四つ木などいろんな場所へ行かせてもらっています。夏も水遊び場が近くにいろいろあるのでとても喜んでいます。要望として話すのなら、子ども未来プラザ東四つ木内でも食事ができるスペースを作ってほしいと感じます。にこわではテーブルやイスが用意されていて便利です。ただ、外国人の親子（特に親）のマナーの悪さが目立ちます。大声で話したり、おもちゃを片付けなかったり、子どもの面倒を見ず友達と話していたり、道に広がって歩いていたりと、子ども用のイスで座っていたりと、大人数いると大変です。自転車でベルを鳴らして合図しただけで、怒鳴られました。
11	亀有児童館を新しくしてほしいです。児童館が2階で子どもが小さい時、階段で大変でした。トイレも古いので子どもが怖がります。
12	小菅一丁目は、児童館がどこも遠いので不便です。
13	夏休み期間の未就学児の利用休止をやめてほしいです。行き場がなく困ります。
14	子ども未来プラザ鎌倉は離乳食を食べさせていいのに、子ども未来プラザ東四つ木は離乳食を食べさせてはいけないのは何故ですか。同じ区内にある施設なのに、どんな理由があるのでしょうか。0歳から利用できる施設で、授乳などできるのであれば、離乳食も食べられるともっと利用しやすくなると思います。
【遊び場・居場所について】	
1	土日でも遊べる所が近くにいっぱいあると助かります（ハイハイ期）。
2	予約不要で毎週末体育館などで遊べないでしょうか。
3	小学校までは公園や児童館などで楽しく過ごせますが、中学生から大学生までの居場所がもっと増えると良いと思います。水元公園にスケートボードパークなど、人が自然と集まれる施設を充実させ、葛飾区の“ウリ”をつくっていくのも良いのではないのでしょうか。
4	プラネタリウムの施設についても、足立区のように遊び場として工夫していただけると嬉しいです。
5	児童館などで乳幼児がもっと遊べる場所も充実していただきたいです。おもちゃや遊具が増えるとありがたいです。
6	子どもが休日に遊びに行けるような施設や、その紹介があると嬉しく思います。
7	水遊びができる場所や、オムツのまま遊べるプールがあると助かります。
8	子どもを遊ばせることができる施設を、亀有や金町だけでなく、もう少し充実させていただきたいです。
9	子どもたちが充実して遊べるスペースと、それに関わってくださる専門の方がいると安心できます。遊びの専門家や子育ての専門家がいたらありがたいです。
10	金町駅前のカナマチぷらっとでは小学生が走り回って遊んでいるため、小さい子どもが安心しておもちゃなどで遊べる状況ではありません。遊べる場所も以前より広さが半分になっており、さらに危険な状況になっていると感じます。
11	小中高生が放課後や長期休業中に安心して過ごせるだけでなく、一人あるいは仲間と学習や趣味の活動ができる、多様なスペースやサポーターがいる居場所（施設）を区内各所に整備していただけるとありがたいです。

【子連れで利用できる場所について】	
1	子ども（赤ちゃん）が利用できるカフェなどを支援し、もっと利用しやすくするための取組を進めてほしいです。また、事業者にも理解を深めてもらえるような活動をしていただきたいと思います。赤ちゃんがいると入店も断られることがあるので、その点も改善していただけると助かります。
2	青砥駅付近に子連れで休日も行ける施設ができると嬉しいです。
3	室内で遊ばせながら仕事ができるコワーキングスペース付きの遊び場がほしいと思います。夏休みに小学生が行けるようなところだと嬉しいです。
4	親が一人で外出した際、子どもがいるとゆっくり食事ができないので、保育士のように子どもを見てくれる人がいるレストランやカフェがあると、もっと外出もしやすくなり、とても嬉しいです。
5	小学生の子どもを自然学習のイベントなどに連れて行きたいと思っても、下の子の年齢制限などで諦めてしまうことが多いです。もっと気軽に子どもを預かってもらえる場所があればいいなと思います。
6	子連れOKなお店が多いと思います。
【公園のトイレについて】	
1	水元公園のトイレの電気の点け方が分からずに真っ暗で、子どもがトイレに入りましたが困ってしまったので、整備してほしいです。
2	公園のトイレは古い所が多く、オムツ替えがしづらいのでキレイにしてほしいです。
3	公園トイレに子ども用便座の設置を希望します。
4	公園のトイレが古く、入りづらい所が多いです。
5	児童館や公園に子ども用トイレがあればいいのにといつも思っています。
【ボール遊びのできる公園の整備について】	
1	キャプテン翼君発祥の地なのに、サッカーできる公園が少ないと感じています。フェンスの設置をお願いします。
2	もっとボール遊びができる公園が増えてほしいです。なぜゲートボールが良いのか疑問に感じます。子どもたちがもっと公園で遊べる環境がほしいです。葛飾区の小学校には人工芝の校庭が少なすぎると思います。
3	ボール遊びができる場所を増やしてほしいです。
【公園の遊具について】	
1	小さい子どもに向けた遊具が少ないです。1人で遊ぶには危険な遊具があります。
2	公園の遊具について、夏場は遊具が熱くなりすぎて遊べないので、熱くならない素材の遊具を設置してもらえたらいいなと思います。
3	公園の遊具の対象年齢が5～6歳以上が多く、もっと小さい子どもが遊べる滑り台などが少なく感じます。
4	小さな公園は意外と多いですが、活用されていない公園も多いです。遊具も少ないので、より整った公園になると、行きやすくなると思います。
5	外気温の上昇により遊具が長期間使用できません。砂場には屋根がついている所もありますが、その他の遊具にも夏の間でも遊べる工夫があるといいと思いました。

6	遊具が少ないと思います。
7	公園でよく遊ぶのですが、子どもの遊具が壊れていることが多く、なかなか修理してもらえません。予算の関係などがあるかもしれませんが、使えない期間が長すぎるので、早く修理してほしいです。
8	新小岩地域の公園には、1歳児くらいの子どもの安心して乗れて楽しめるブランコがないです。
9	小学生にとっては、学区内で遊具が充実した公園がほぼなく、多くは学区外になるため、遊んではいけないとか、子どもだけで行ってはいけないなど注意されたりすることがあり、ちょっと不便だと感じます。また、安全性を考慮してか、遊具が縮小されたり撤去されたりすることもあります。安全安心のためとはいえ、子どもにとってどうなのかな、と少し残念に感じることもあります。
【安心して遊べる公園づくりについて】	
1	子どもが公園で遊ぶようになってから、青戸平和公園などで、丸くない、少し大きめの石が地面に埋まっている場所が気になっています。ひざなどを切ってしまいそうで心配です。改善していただけると大変嬉しいです。
2	砂場の犬や猫の対策を強化してほしいです。時々糞があるため、子どもを安心して遊ばせられません。大きな公園は清掃が行き届いているように感じますが、小さな児童遊園ではタバコや酒の缶などゴミがたくさん落ちていることがあります。清掃の頻度を増やしてほしいです。オムツが外れていない子ども向けの水遊び場を作してほしいです。また、公園の水道の蛇口の排水部分が葉っぱでよく詰まっているので、改善していただけると助かります。
3	転んでも痛くないような芝生やクッション性のある地面の公園がほしいです。
4	葛飾区だけには限らないですが、公園や道路にポイ捨てと思われるゴミが多いです。子どもを連れていろいろな公園に行きますが、本当にがっかりします。ベンチにはたばこやお酒の缶、遊具にはお菓子やジュースの缶がよく落ちています。歯磨きについての教育と同じくらい、学校等でもポイ捨てはダメだということを、子どもにだけではなく親世代にも教育してほしいです。聞いたことはありませんが、もし何かすでに活動を行っているのなら、もっと頑張っていたいただけたらと思います。
【公園等の整備に関すること】	
1	公園が沢山あると思います。
2	小さな公園ばかりあり、利用しづらい公園があります。新宿プレイパークのような公園を各地域に作ってほしいと思います。
3	公園の数が多くて助かっている反面、公園によってはゴミ箱が設置されていないことがあります。ゴミ箱設置によるリスクもあると思いますが、衛生的な面でも設置していただけると助かります。
4	子どもたちが安心して遊べる公園が周囲にたくさんあり、自転車の練習ができる公園もあって子育てしやすい環境でした。
5	公園が芝生で草が生い茂っているため、遊べる範囲が少ないです。
6	線路の高架下など、雨が降っても遊べる公園があると嬉しいです。
【屋内施設の整備・暑さ対策について】	
1	室内の遊び場の数をもっと増やしてほしいです。

2	夏や悪天候時に遊べる施設がもっと充実してくれるとありがたいです。児童館や子育てひろばなど、室内遊び場は、日曜日が休みで、出かける場所に困ることが多いです。公園遊びも暑いので、日陰があったり熱中症を防ぎながら体を動かせる場所があればいいと思います。
3	近年、暑くなる時期が早いため、水遊びを開始する時期を早めていただけると嬉しいです。
4	夏は暑く公園も日陰がある所を選びがちなので、緑の整備もしていただけたら嬉しいです。
5	公園は充実していると感じますが、暑すぎる日や寒すぎる日に体を思い切り動かせるような室内運動場がほしいです。
6	夏休みなどの暑い時期や梅雨時期に屋内で走り回れる場所がないので、そういった場所を作っていただけると嬉しいです。
7	夏休み期間中、子どもたちが安心して遊べる場を提供してほしいです。猛暑のため、公園に行けないので室内の施設があると助かります。
8	6月に 30℃を超えるのが当たり前になってきているので、夏のじゃぶじゃぶ池の開始を早めてほしいです。
9	夏休みなど外が暑くて公園で遊べない状況でも、子どもが安心して快適に遊べる施設があると助かります。
10	ここ数年の猛暑で外で遊ばせておくのも限界があり、学童がないと家しか居場所がありません。
11	暑い日や雨の日に小さい子どもが遊べる場所を充実させてほしいです。コロナ前は、にこわで夏にプールを設置していただき、とても助かりました。せせらぎのじゃぶじゃぶ池は衛生的に心配なので、ぜひ復活してほしいです。 子どもは幼稚園まで電車でプールに行くのもなかなか難しく、北沼公園や奥戸のプールも日差しが強すぎて自転車で行けません。近くに小さいプールを設置していただけると、とても助かります。
12	夏の公園に日陰の工夫をしてほしいです。
13	夏にプールに入れる環境、室内で思いきり遊べる施設を増やしてほしいです。
14	夏場、冬場、悪天候などに安心して遊べる環境広場を作ってほしいです。
15	細田、鎌倉、高砂地区には児童館や子ども未来プラザがあるものの、大きめの商業施設や全天候型の屋内遊園地のような施設がありません。真夏や雨の日に困ることがあり、3歳以上になると、児童館や子ども未来プラザでは物足りなさを感じてしまいます。これらの地域には広い空き地が多くありますので、そういった施設を作ると、子育て世帯がもっと集まるのではないかと思います。
16	今後さらに、子どもが安心して過ごせるとともに、遊べる環境づくりを期待しています。特に、夏場を快適に過ごせる屋内外設備への投資をお願いしたいです。
17	公園整備の際には、ぜひ日陰の場所を作っていただきたいです。子どもを遊ばせている間、大人は周辺にすることが多いのですが、日除けがなく夏場は暑くて耐えられません。そのため、公園に連れて行く機会が少なくなっていました。避難場所を想定して色々整備されていることは理解していますが、普段利用することにももう少し着目してほしいです。

18	公園の充実度が上がり、安心して遊べる場所が葛飾区には多いと感じていますが、夏場でも安全に遊べる屋内施設などをもっと増やしてほしいです。
19	子どもが習い事でサッカークラブに入っています。休日は小学校や河川敷（木根川、荒川、堀切、柴又）を利用していますが、昨年の夏に猛暑で熱中症になってしまいました。猛暑の中でサッカーは危険性があるため、葛飾区から全サッカークラブチームに対して利用中止の通達を出していただきたいです。
20	それぞれの年齢が室内と屋内で遊べる居場所を作してほしいです。
21	新小岩地区に、主に日曜日に室内遊具のある無料施設がほしいです。木をベースにしたおもちゃのある施設がほしいです。
22	暑い日や寒い日でも子どもが遊べるよう、遊具もある室内広場があると良いです。
【防犯対策について】	
1	タブレット学習が小学校から始まり、スマホも小学校から持つ子どもが多くなっています。小学校や中学校で定期的に SNS の利用ルールや、インターネットを通じて犯罪に巻き込まれることがあること、人権侵害にあたるメッセージや画像の扱いについて、保護者と子どもに伝えていただけると良いと思います。以前は警察の方が学校でお話してくださった気がします。
2	柴又 6 丁目の交番付近で、たばこを吸っている人を何人も見かけ、交番に伝えましたが、何も対応してもらえませんでした。子どもと歩いているととても危ないと感じています。見回りなどをしていただけると、もっと安心できます。柴又是観光地なので、ポイ捨てや歩きたばこがとても多いです、缶やビンもそこらじゅうに落ちているので、改善をお願いしたいです。
3	場所によっては、小さい子どもを連れて行ける治安ではない場所も少なくないと感じています。そのため、治安の改善をお願いしたいです。
4	放置自転車の取り締まりをしている方はよく見かけますが、歩きたばこや禁止エリアでたばこを吸っている人への取り締まりをする方を見ることがありません。たばこの取り締まりを強化していただけるとありがたいです。金町駅北側エリアでは、ポイ捨てが目立つので、その点も改善をお願いしたいです。
5	登下校中の不審者情報が多く、1人で学校に行かせることに不安を感じているため、スクールバスの導入も検討していただければと思います。
6	12 歳以上の子どもが塾などで夕方以降外にいと、声かけやナンパのような子どもへの興味を持つ成人が多いと感じています。警察による補導や見回りの強化が、子育てしやすい地域を作るためには必要だと思います。実際、13 歳の娘が金町や水元で塾に通っている間に、1年で8回も声をかけられました。
7	歩きたばこや自転車たばこについて、もっと厳しく注意していただきたいと思います。
8	犯罪から守る地域の取組について、もっと充実させたほうが良いのではないかと考えることが多いです。夕暮れ時に金町駅から商店街を歩いていた際、近くにいた1人の女子小学生が明らかに不審な中年男性につけられているのを見かけ、心配になって住宅街まで見守ったところ、小学生が不安になったのか走って帰っていき、振り返ると不審な中年男性が舌打ちしていました。その時、怖いと感じました。警察の見回りや、民間のパトロールが充実すると良いなと思います。

9	誘拐などを防ぐため、夕方の見回りが多くあると良いと思います。
10	交番勤務の警察官がいても、夕方以降、駅前や駅前付近の治安があまり良くなく、通学で駅を使わせているため、信用できず、何かあった場合どうするのだろうと不安に感じる場合があります。また、過去に何かあってからではないと相手にしてもらえないこともあり、その際もまともに聞いてもらえないように感じました。
【駅や施設のバリアフリーについて】	
1	お花茶屋駅のホーム（青戸方面）から改札に行くエレベーターがありません。あればとても助かる人がいると思います。
2	青砥駅のホームにつながるエレベーターが1台しかなく、速度もゆっくりで、いつも不便を感じます。利用する人が困るので、改善してほしいです。
3	亀有駅と金町駅は、特に人口が増えていると感じますが、駅がかなり小さく、エレベーターや改札が狭いため、ベビーカーでの移動がとても大変です。駅には人があふれている状態で、区として改善したいとの考えや、改善予定はあるのでしょうか。JRが関わっているので難しいとは思いますが、できるだけ早めに何とかしていただきたいと思います。
4	よく利用する高砂児童館や南新宿児童館では、どちらも階段を上らなければならず、エレベーターもないため、自分で歩けない小さな子どもを連れての利用がしにくい作りだと感じます。将来的に施設を更新する際には、バリアフリー化していただきたいです。
【歩道・自転車レーン等の整備について】	
1	子どもが通う通学路の安全について、取り組んでいただきたいと考えています。特に、草の除去を行うなど、通学路をより安全に整備していただけると助かります。
2	青砥駅前には歩道がなく、車や自転車が多いため、子どもが歩いたり自転車で通る際に事故に遭わないか心配です。再開発などの整備をお願いしたいです。
3	通学路の道の歩道が狭くガードレールがないことが心配です。
4	東水元のバス通りの道路も、ベビーカーや自転車、子どもを連れて歩く際に歩道が狭くて怖いです。金町や東金町のように、道が広くなると良いなと思います。
5	柴又3丁目（古録神社前）の五差路が分かりにくいです。朝、登下校時の交通整備を実施してほしいと思います。
6	歩道が狭いところも多いので、区画整備を検討してほしいです。
7	東金町1丁目、マークイズ葛飾金町の敷地横にある線路をくぐる南北を繋ぐ小さなトンネルについてですが、出入口には「自転車は降りて歩行」の看板が設置されています。しかし、自転車で走り抜ける人が多く、子どもが歩いて通る際に危険を感じます。マークイズ葛飾金町のオープンにより、通行量がさらに増えることが予想されますので、今のうちから定期的に監視員を配置するなどして、利用者に周知を徹底してほしいと考えています。
8	子乗せ電動自転車が多いのにレーンがないことが多いため、道路の自転車レーンがもっと増えたらいいなと思います。
9	ベビーカーが通りやすい道路の整備など、まだまだ不足していると感じます。
10	狭い道路など、通学や子どもだけで遊びに行く際に心配があります。引き続き、見守りや道路の整備を進めてほしいと考えています。

11	子どもと一緒に道路を歩いていると、信号機があったら便利だと思う場所がいくつかあります。
【公共交通について】	
1	昼間のバスについて、ベビーカーを持つ親にもっと優しくしてほしいです。
2	駅に赤ちゃん休憩室があれば、とてもありがたいです。転入の下見で何度か来るたびに不便に感じたので、改善されると嬉しいです。
3	バスや電車などの公共の乗り物は、子どもと一緒に乗るのが少し難しいと感じます。周りの目が気になったり、子どもが騒いでしまったときに冷たい視線を受けることがあります。
4	金町駅の改札の増設が必要だと感じています。
5	子ども連れのバス利用が難しく、金町に住んでいるものの、電車のラッシュ時や人が多い時間帯に子どもと移動するのはとても大変です。
6	妊娠中、バスの路線や本数が少ないのが不便でした。
7	公共の場でのベビーカー利用が不快に感じる場合があります。駅でエレベーターを待っていると、高齢者に割り込まれて乗れないことが多いです。また、バスを利用したいと思っても、運転手の協力が得られず、結局利用しないことになりました。些細なことかもしれませんが、子連れでベビーカーを持っている場合でも公共機関をストレスなく利用できると、子育て世代としてはとてもありがたいと感じます。
8	新小岩駅の副流煙問題についても、放置されている状況を問題視しています。煙が溜まらないように、扇風機を増やすなどの対策が必要だと思います。

基本目標5. みんなで子育て！について

【水泳の授業について】	
1	小学校のプールについて、早急に全校でスイミングスクールや区民プールのプロの講師に任せるべきだと考えます。
【学校の教員について】	
1	子どもの通っている公立小学校の先生が感情的に子どもを指導している場面を見聞きしています。若い先生だからか、公開授業でも余裕の無さを感じます。若い先生への支援も必要だと思います。子どもたちも困惑し、萎縮する子もいるようなので不憫です。家族以外の身近な大人として、子どものお手本になっていただきたいです。
【学校の指導・サポートについて】	
1	小・中学生の修学旅行費やドリルなどの補助がとてもありがたいです。ただ、今年から授業が始まってなかなかワークなどが届かず、定期テストの勉強が遅くなった経過があります。できれば、もう少し早くワークを納品していただきたいです。
2	小・中学生の育て方、環境がいまひとつに感じます。小学校は少人数制にしてほしいです。担任の負担を減らし、多くの子どもの目に届くようにしてほしいです。今の小学校は30年前とあまり変わっていません。乳幼児までは葛飾区に住んでいても、小学校から他区へ転出する人もいます。

3	中学以降の教育体制やレベルに不安があります。
4	乳幼児期はサポートが充実しており、子育てがしやすい環境が整っていますが、公立中学や高校のイメージが悪く、そのイメージを払拭するためには学力の底上げが必要だと考えています。
5	学校では、障害には至らないものの、普通級にいるグレーゾーンの子どもたちを十分にサポートできていないことがあり、その結果、他の子どもの学習時間が守られず、この地域の学力が低迷していると感じています。加配など、対応策を検討していただけると助かります。足立区のように、先生とLINEやメールでやり取りできるようにしてほしいです。親も働いているため、やり取りや確認に時間がかかり、仕事に支障をきたしています。現状では、TELでのやり取りも対応時間や就業時間の制約があり、なかなかつながらず、時間やお金がかかってしまいます。紙を使う方法も時代に合っていないと感じており、早急に時代に対応した方法を整備していただきたいです。
6	小学生の子どもがいますが、校内で授業中に歩いている子どもや友達と遊んでいる子どもがいると聞いており、授業が進まずに、集中できないと子どもから聞いています。学校と親がもっとコミュニケーションをとり、対策を講じてほしいです。
7	共働きの家庭が多いため、小学校も朝早めに開放してほしいと感じています。朝7時から7時30分までの間に開放されると、親としても助かります。
8	子どもの学校には、発達障害と思われる子どもがいるようですが、何も変わっていないため、学校側がその家族へアプローチをしているのか分かりません。
9	学力レベルの向上や全体の底上げに向けた取組を期待しています。
10	小学校1年生の壁に対する支援が必要だと感じます。
11	学習障害のクラスは必要です。学習障害のある子どもは知的障害とは異なるため、音声教材などの手段を利用することで、同じように学べます。特別支援学級では、学習レベルも6年生までの学習をしないため、通常級とは異なってしまいます。
【不登校支援について】	
1	私の娘は中学校へ進学してすぐに不登校になりましたが、オンラインで授業を受けさせていただき、学校の先生方もお忙しい中、いつも気にかけてくださいました。卒業式も別時間にきちんとした形で行っていただき、本当に感謝しています。
2	小学生の不登校児が別室登校できる環境を整えてほしいと考えています。現在は、先生の時間があれば放課後学習が可能ですが、支援が充分であるとは思えません。また、不登校になった際の様々な情報は、親自身で収集するしかなく、支援を十分に把握することができません。不登校児が増えている現状において、学校以外でも子どもがのびのびと過ごせる場がもっと増えてほしいと切に願っています。
3	学校をもっと自由にし、不登校の子どもたちを救ってほしいと考えています。
4	私の小学校6年生の長男も不登校です。ふれあいスクール明石には行きたがらず、民間のフリースクールに通っています。区からは1万円の補助が始まりましたが、助成金額を増やしていただきたいです。義務教育の教育機会は、お金がないために諦めることなく、全ての子どもたちに平等に与えられるべきだと考えています。学校に通えなくても、フリースクールには通えるという選択肢があるので、その支援を強化してほしいです。

5	不登校の子、クラス内で問題となっている子の受け入れ先が必要だと痛感しています。子どもが不登校になると、共働き家庭は八方ふさがりになり、結局どちらかが仕事を辞めるしかなくなるのではと心配しています。
【特別支援教室等について】	
1	子どもが自閉症なので、支援学級や支援学校などに通う子どもたちの進路や就職先などの未来が見通しやすい環境作りをしてほしいと考えています。子どもによって合う環境があると思うので、近くの学校しか通えないのはどうかと思います。選択肢を広げて、学校を選べるようにしてほしいです。また、学校は選べないのに、放課後デイサービスは家庭で探さなければならないというのは、どういうことなのでしょうか（私は10件ほど電話して断られ、面接に行った2件も落ちて大変でした）。通える放課後デイサービスの数を増やしてほしいと強く思います。
2	情緒級のある学校を増やしてほしいです。
【図書館等の整備について】	
1	新小岩駅周辺には公園が十分に整備されてなく、図書館も汚れていると感じます。
2	亀有図書館を新しくしてほしいと思っています。トイレも子連れだと利用しづらく、図書館で子どもの創造力が養われるような感じがしません。ミッカのような、もう少し素敵な空間にしてほしいです。
3	学校の図書室が学習センターとしての機能を全く果たしていないと感じています。図書室の出入り禁止や利用禁止が多々あります。子どもが子ども区議会に参加した際、自習室の設置を提案しましたが、既に図書室が学習センターとしての機能を持っているので、そちらを利用しようとの回答でした。しかし、実際には利用させてもらえませんでした。形だけではなく、きちんと利用できる状態にしてもらいたいと思います。非常に残念に感じています。
4	東京理科大学の図書館を利用させてもらいたいです。
【通学について】	
1	通学時に見守りを増やした方がいいと思います。特に、道が狭い道路を通らなくてはいけない児童を見ていて危ないと感じることがあります。もしくは、グループ通学などの取組も考えてほしいです。
2	登下校中の不審者情報が多く、1人で学校に行かせることに不安を感じているため、スクールバスの導入も検討していただきたいです。
3	公立小学校でのスクールバス送迎を希望しています。子どもたちを犯罪から守るために、必要な対策だと思います。
【給食について】	
1	費用がかかっても構わないので、給食の質を向上させてほしいと思います。
2	給食のさらなる充実をお願いしたいです。
3	給食費が無料であることはとてもありがたいですが、給食の内容については気になる点があります。500円徴収しても良いので、品数を増やしてほしいです。
【放課後・長期休暇中について】	
1	わくチャレを長期休みなどにも利用できて、とてもありがたく思っています。
2	小学生になったときの、放課後と夏休みの過ごし方について、今から不安に思っています。

【部活・地域スポーツについて】	
1	中学では顧問不足の問題がありました。地域移行化など他の区が既に取り組んでいることを進めてほしいです。子どもたちの個性や才能を潰してしまうのはもったいないです。
【その他】	
1	暑すぎて、学校の休み時間に遊ぶことができず、運動不足を感じています。
2	金町小学校の校庭が狭いです。
3	地域と学校との繋がりを特に感じません。親が外で働いている子どもたちが増えているので、地域と学校がもっと密に連携することで、犯罪や事故の抑止力になるのではないかと思います。
4	同じ区内の小学校でも、運動会などの行事や PTA の取組が学校によって異なるのはどうなのだろうかと感じています。
5	共働き世帯が増加しているにもかかわらず、PTA や子ども会の役員など、強制的に感じられる環境が今も続いている現実があります。任意団体とはいえ、後ろめたさや負担を感じている共働き世帯は多く、そのため区としても積極的な介入やガイドラインの策定を早急に行ってほしいと考えています。

基本目標 6. つながる子育て！について

【児童虐待防止対策の推進について】	
1	引きこもりや児童虐待の子どもたちを対象とした児童相談所のアクションが機能していないと感じています。問題のない子どもに対してアクションを起こし、無駄な時間を過ごすのではなく、本当に支援を必要としている子どもたちに対して早急にアクションを起こしてほしいです。
【障害児等への支援について】	
1	発達障害グレーゾーン（境界知能）の子どもたちへのフォローがほぼないと感じています。担任の先生の力では足りないことが多いので、小学校には加配の先生を配置すべきだと思います。特に低学年での支援が重要です。区に、廊下で子どもが一人で寝そべっているのを見て、これは良いことだと思っていますかと問いたしたいです。予算をつけて支援体制を整えるべきだと思います。
2	支援が必要な子どもや障害のある子どもたちの施設が、より充実すると良いと感じています。設備や人的環境が整っていないように思います。
3	障害のある子どもたちに対して力を入れすぎているように感じます。普通の子どもの生活に対する支援も考えてほしいです。障害やアレルギー体質の子どもばかりに気を配りすぎて、普通の子どもたちも心身が病んでしまうことがあります。コロナが普通の病気として扱われるようになった現在、体育祭などのイベントを未だに分流して、分けて参観することには理解できません。以前の賑やかで自由な学校生活に戻ってほしいと感じています。
【ひとり親への支援について】	
1	ひとり親への支援をもう少し増やしてほしいと考えています。実家に住んでいると、区との関わりや支援が全くないように感じています。

その他

【イベントについて】	
1	去年、夏休み企画としてプラネタリウムの特別プログラムを見に行った際、鬼のようなキャラクターが出てきて、子どもが怖がって見れませんでした。係の人に聞くと、「大人用のプログラムです」と言われましたが、夏休み企画として提供されているのに、どうして子ども向けではないのか疑問に感じました。夏休みの企画なら、子どもと一緒に楽しめる内容にするべきではないでしょうか。他の区では、ポケモンやクレヨンしんちゃんとコラボしたプラネタリウムのプログラムが流れ、子どもたちも楽しめていました。葛飾区の独自路線が強すぎて、プラネタリウムが楽しくなくなり、行かなくなってしまったことがとても残念です。
2	西亀有・亀有エリアは、駅が近く交通の便が良い代わりに区のイベントに参加しづらいです。子ども未来プラザ、テクノプラザは遠いし、自然系のイベント・体験は、鎌倉や水元ばかりです。広報かつしかには、たくさんのイベントが載っていますが、結局車の運転ができないと現実的ではありません。もっと、幼児・小学生が楽しめるお祭りや体験イベントを亀有・西亀有エリアで開催してほしいです。
3	子育てイベントが小学生のみのもの、幼稚園生のみのものと分かれているので、兄弟がいると参加できないことが残念です。みんなで参加できるワークショップのようなイベントがあると嬉しいです。立石や小菅地域のイベントもあると嬉しいです。
【その他】	
1	葛飾区で子育てができて良かったと思います。
2	3人目以降も考えており、これからも葛飾区に住みたいと思っています。
3	水元に引っ越ししてきて、本当に良かったです。
4	心が満たされている状態であれば、葛飾区の今の環境はとても良いと思います。
5	子どもの人権が尊重される区政を望みます。豊島区の子どもの権利に関する条例の前文は子どもにも読みやすく作成されていて、これが学校や保育所等、子どもに関する施設で子どもにも大人にも広く理解されると良いなと思いました。そのような条例が制定される豊島区がうらやましく思いました。
6	子ども政策は行政にあります。が、いったい何をしているのか疑問に感じます。実際に役立っているのかどうか不思議です。子どもが育ちやすい環境や地域になっているのでしょうか。
7	チャレンジスクールやエンカレッジスクールに入りやすくしてほしいです。
8	子ども食堂に力を入れすぎず、全ての子ども達が平等に過ごせるような助成や事業を行ってほしいです。
9	働く両親が安心して働けるサポートが整っている区であってほしいです。
10	幼稚園や保育園と福祉施設の交流イベントなど、お年寄りや障害をもつ方との交流が盛んになると良いと思います。
11	区とは関係ないかもしれませんが、育休手当、産休手当の支給が遅すぎます。仕組みを変えた方が安心して妊娠できると思いました。
12	葛飾区に住んでいて良かったです。一軒家の助成などもあったら嬉しいです。また、無料結婚式の枠を増やしてほしいと思います。

13	産後の手続きのために、子育て応援課が区民事務所にもほしいと思いました。
14	新小岩駅周辺に子ども用品のお店があると嬉しいです。いつも隣の駅まで行っているのに、駅近くにあればとても便利だと思いました。
15	引き続きみなさんの意見を聞きながら、子育てしやすい、住みやすい街にしていただければ嬉しいです。
16	制度や仕組みの充実とともに、子どもを持つことの重要性を国として広めていくべきだと考えています。子どもを持つことが自分自身にとってもメリットがあることを広めていかなければ、日本が存続できないのではないかと思います。そのため、積極的な発信が必要だと感じています。
17	新小岩にも駅周辺にベビー用品や子ども用品が買えるお店が増えると嬉しいです。

Ⅲ 調査結果（子ども）

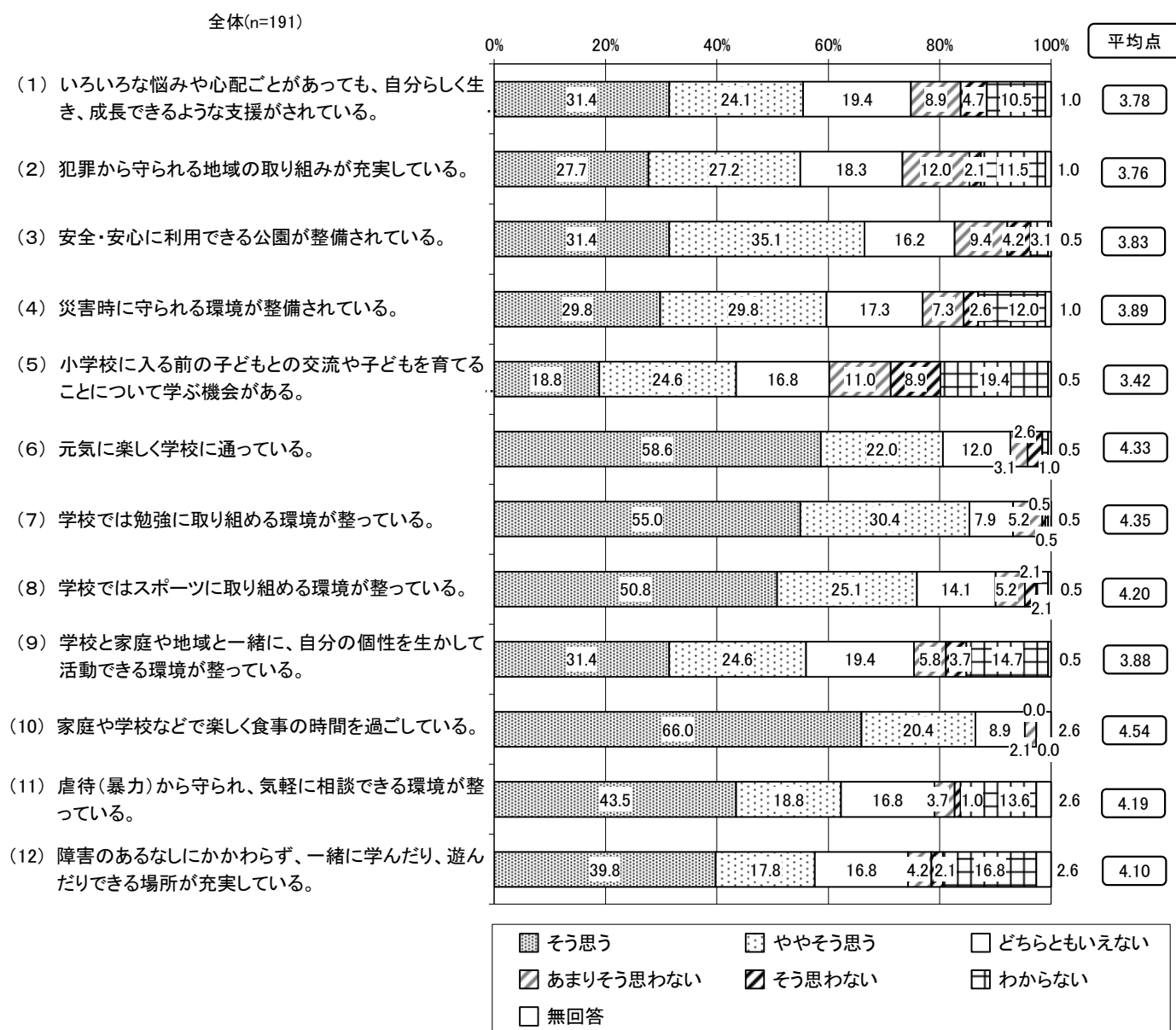
1 それぞれの項目について、あなたの評価に最も近いものを一つお選びください。

【全体】各選択肢の回答比率を算出するほか、「そう思う」を5点、「ややそう思う」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまりそう思わない」を2点、「そう思わない」を1点にそれぞれ配点し、平均得点を算出しました。

【経年変化】令和3年度から実施している同様の調査3か年分の比較を掲載しています。

【全体】

（1）から（12）の評価は、『（10）家庭や学校などで楽しく食事の時間を過ごしている』が4.54点で最も高く、『（5）小学校に入る前の子どもとの交流や子どもを育てることについて学ぶ機会がある』が3.42点で最も低くなっています。

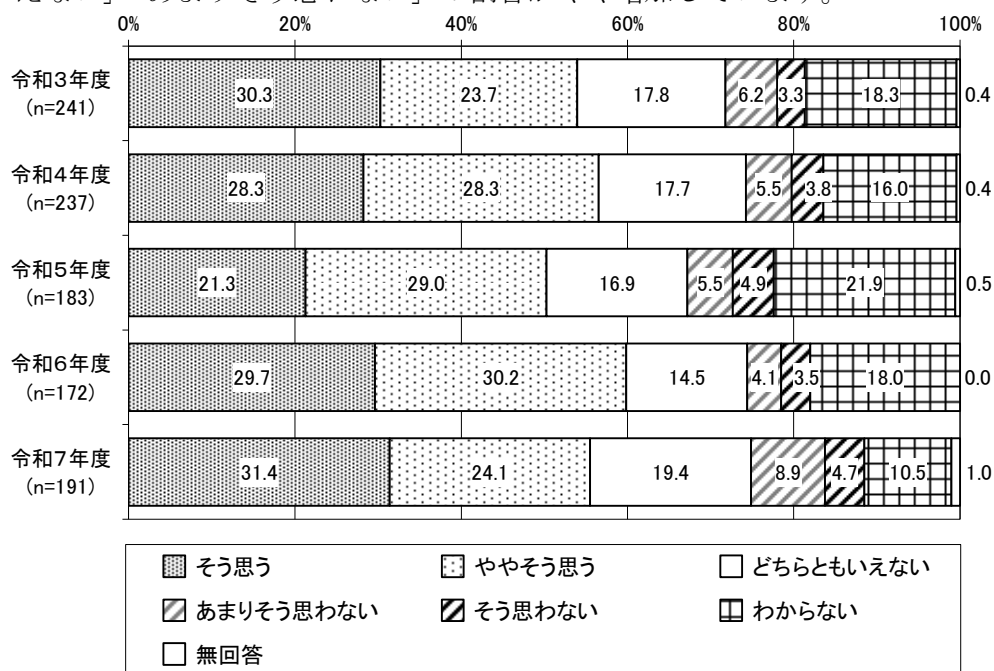


【経年変化】

(1) いろいろな悩みや心配ごとがあっても、自分らしく生き、成長できるような支援がされている。

「そう思う」が31.4%で最も多く、「ややそう思う」が24.1%、「どちらともいえない」が19.4%となっています。

令和6年度調査と比較すると、「わからない」「ややそう思う」の割合が減少し、「どちらともいえない」「あまりそう思わない」の割合がやや増加しています。

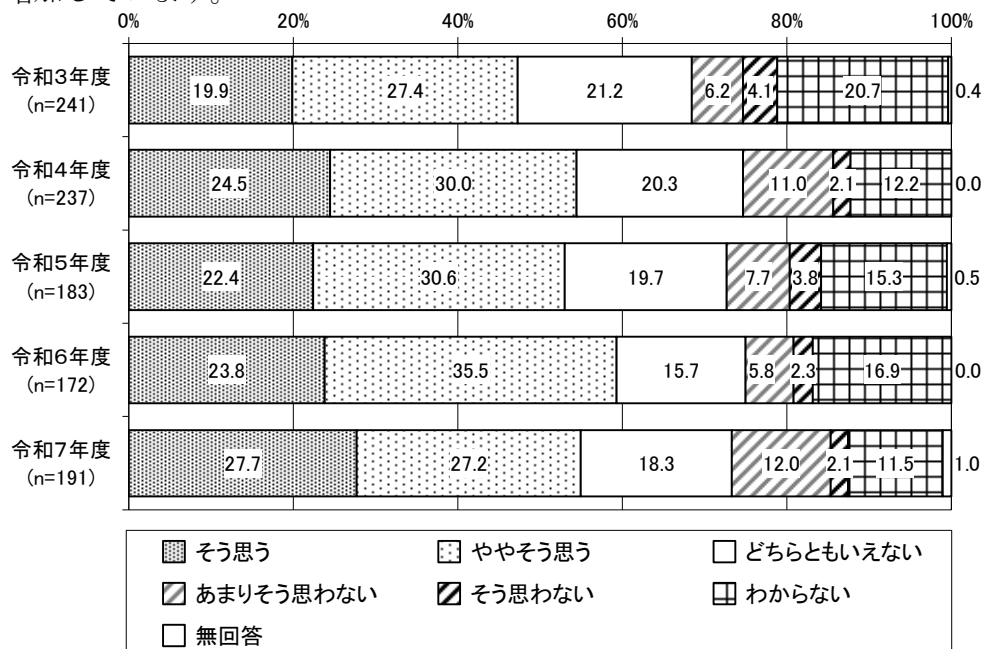


※令和3年度の調査の質問は「悩みや心配ごとがあったときに、自分を認めてもらいながら成長できるよう支援されている」

(2) 犯罪から守られる地域の取組が充実している。

「そう思う」が27.7%で最も多く、「ややそう思う」が27.2%、「どちらともいえない」が18.3%となっています。

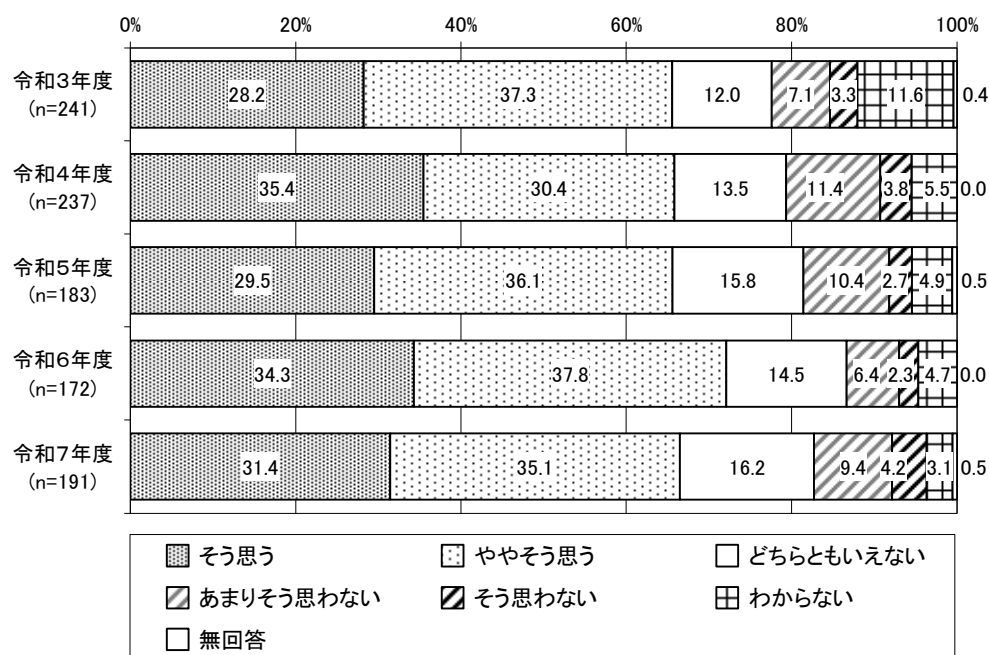
令和6年度調査と比較すると、「ややそう思う」「わからない」の割合が減少し、「あまりそう思わない」の割合が増加しています。また、「そう思う」「どちらともいえない」の割合がやや増加しています。



（３）安全・安心に利用できる公園が整備されている。

「ややそう思う」が 35.1%で最も多く、「そう思う」が 31.4%、「どちらともいえない」が 16.2%となっています。

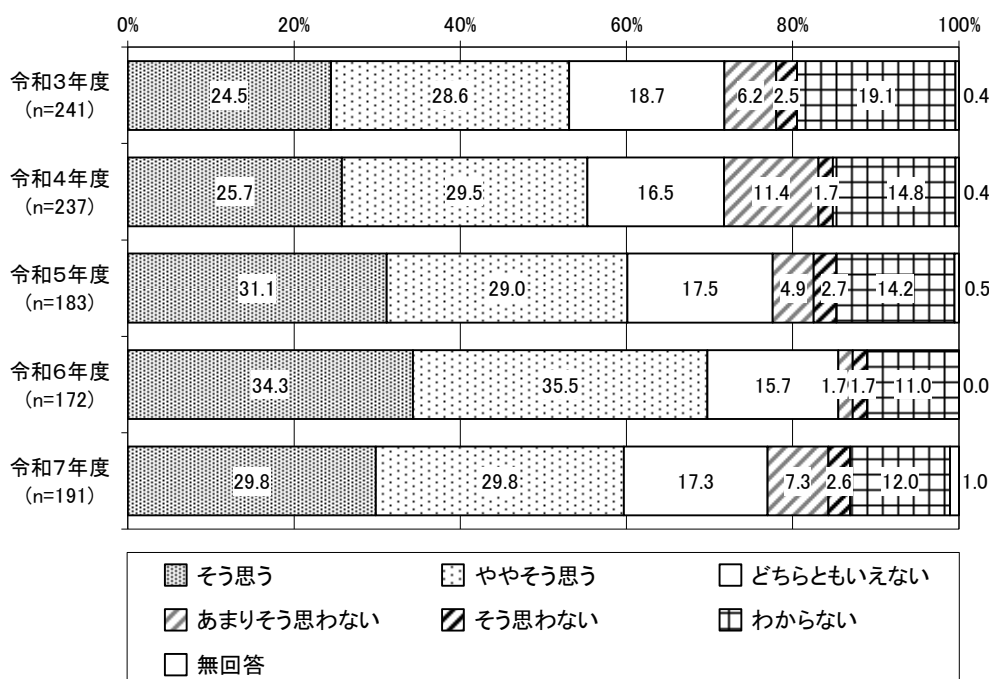
令和 6 年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合がやや増加しています。



（４）災害時に守られる環境が整備されている。

「そう思う」「ややそう思う」がともに 29.8%で最も多く、「どちらともいえない」が 17.3%となっています。

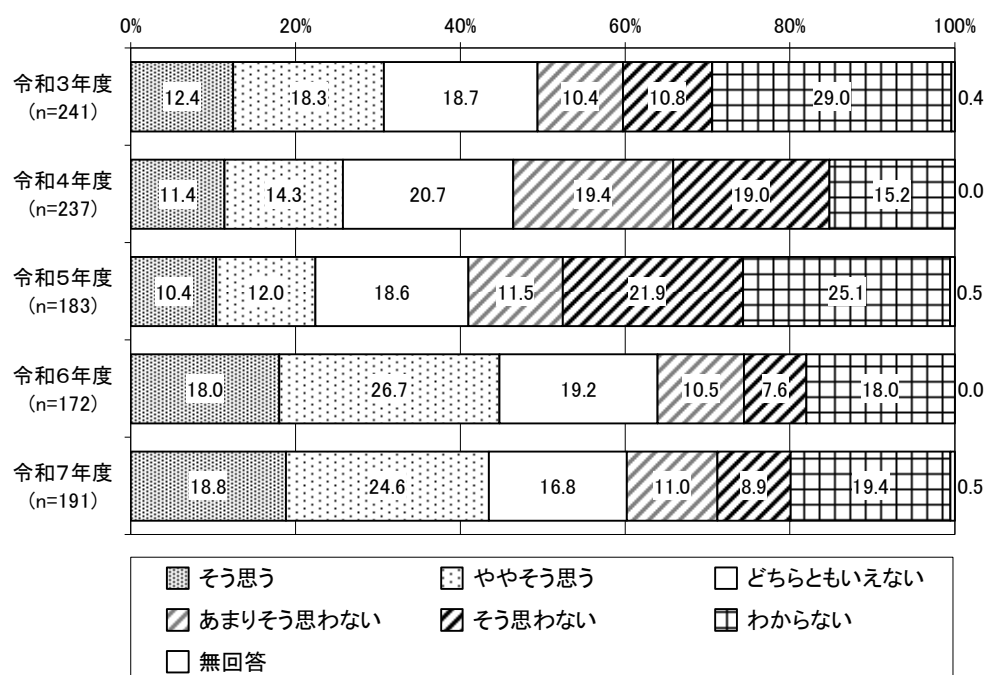
令和 6 年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合が減少し、「あまりそう思わない」の割合が増加しています。



(5) 小学校に入る前の子どもとの交流や子どもを育てることについて学ぶ機会がある。

「ややそう思う」が24.6%で最も多く、「わからない」が19.4%、「そう思う」が18.8%となっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

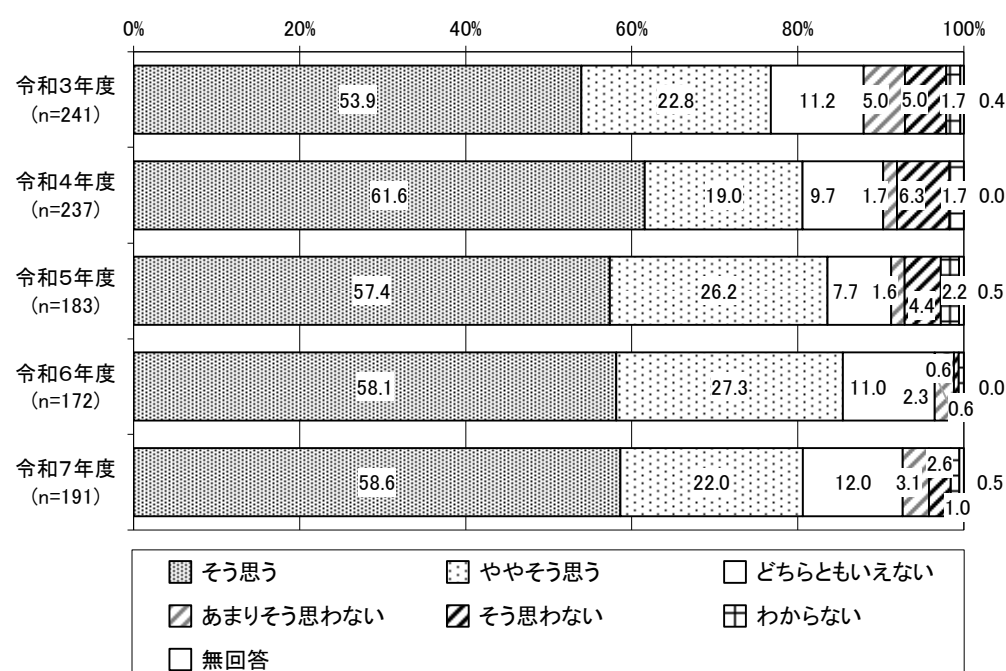


※令和5年度調査までの質問は「乳幼児と触れ合い、子育てについて学ぶ機会がある」

(6) 元気に楽しく学校に通っている。

「そう思う」が58.6%で最も多く、「ややそう思う」が22.0%、「どちらともいえない」が12.0%となっています。

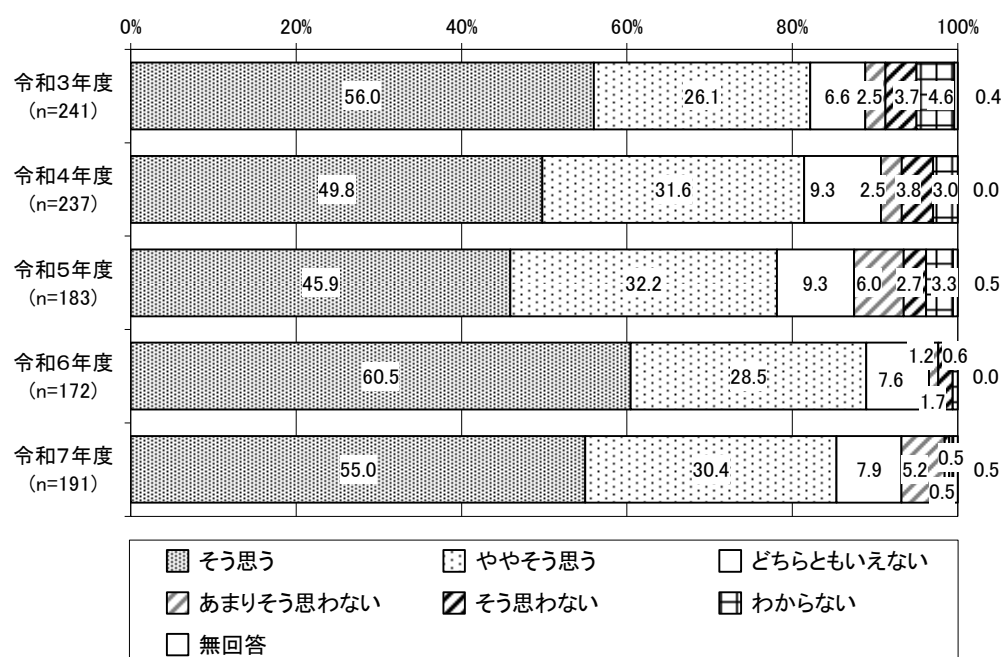
令和6年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合が減少しています。



(7) 学校では勉強に取り組める環境が整っている。

「そう思う」が 55.0%で最も多く、「ややそう思う」が 30.4%、「どちらともいえない」が 7.9%となっています。

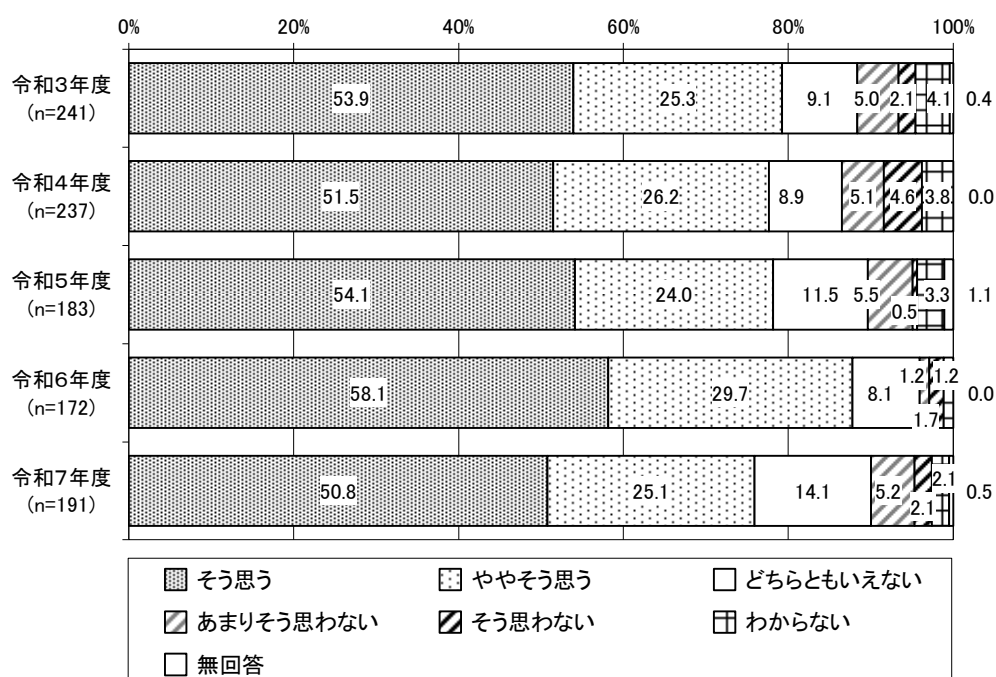
令和6年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が減少しています。



(8) 学校ではスポーツに取り組める環境が整っている。

「そう思う」が 50.8%で最も多く、「ややそう思う」が 25.1%、「どちらともいえない」が 14.1%となっています。

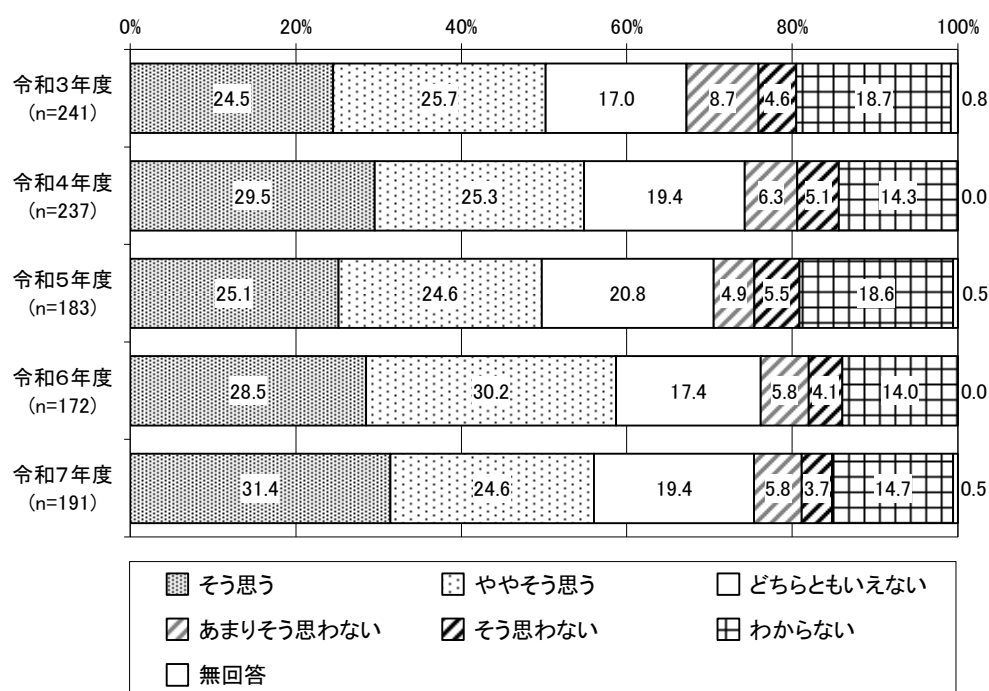
令和6年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が減少しています。また、「ややそう思う」の割合がやや減少しています。



(9) 学校と家庭や地域と一緒に、自分の個性を生かして活動できる環境が整っている。

「そう思う」が 31.4%で最も多く、「ややそう思う」が 24.6%、「どちらともいえない」が 19.4%となっています。

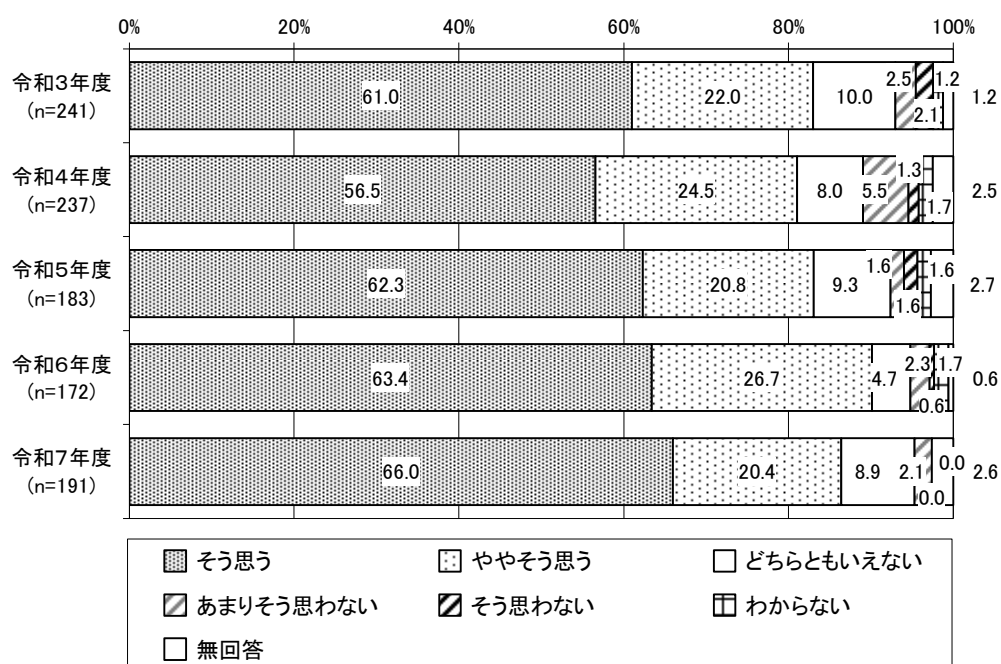
令和6年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合がやや減少しています。



(10) 家庭や学校などで楽しく食事の時間を過ごしている。

「そう思う」が 66.0%で最も多く、「ややそう思う」が 20.4%、「どちらともいえない」が 8.9%となっています。

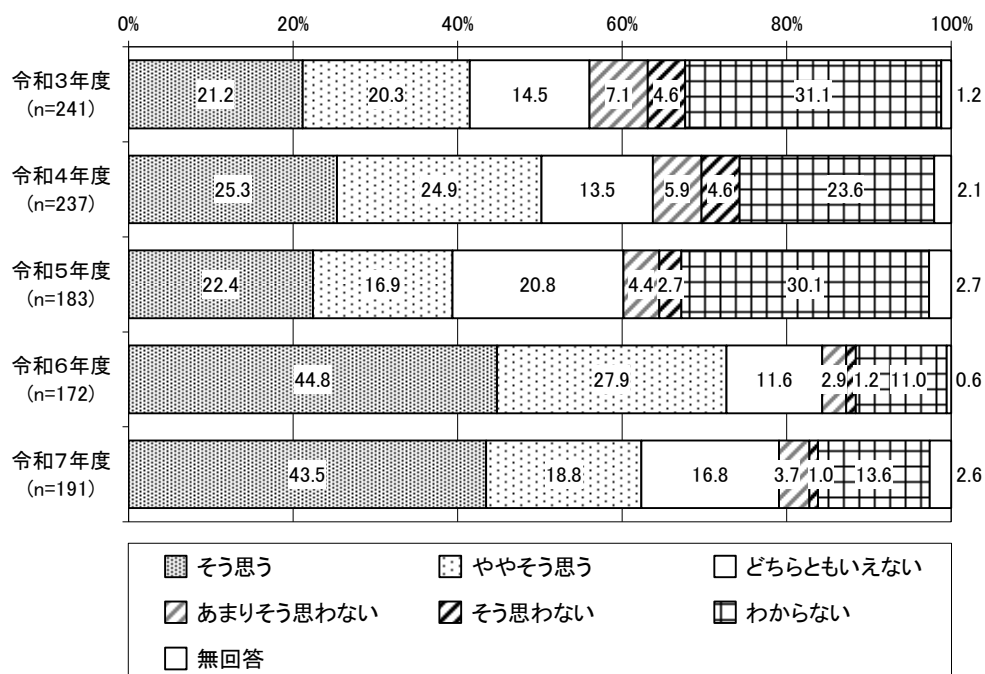
令和6年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合が減少し、「どちらともいえない」の割合がやや増加しています。



(11) 虐待（暴力）から守られ、気軽に相談できる環境が整っている。

「そう思う」が 43.5%で最も多く、「ややそう思う」が 18.8%、「どちらともいえない」が 16.8%となっています。

令和 6 年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合が減少し、「どちらともいえない」の割合が増加しています。

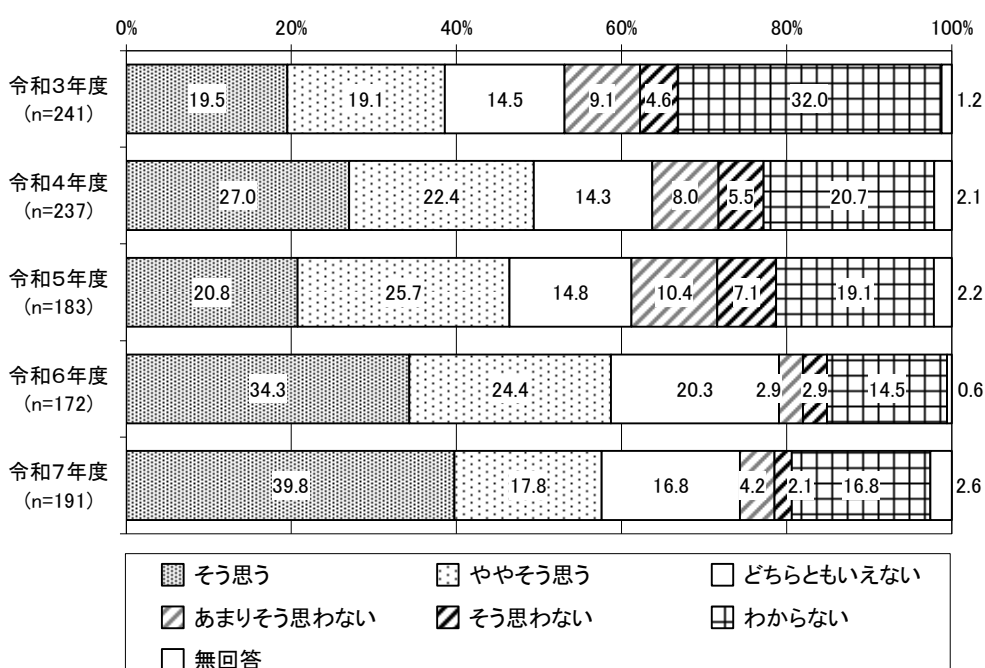


※令和 5 年度調査までの質問は「子どもが虐待から守られる取り組みが充実している」

(12) 障害のあるなしにかかわらず、一緒に学んだり遊んだりできる場所が充実している。

「そう思う」が 39.8%で最も多く、「ややそう思う」が 17.8%、「どちらともいえない」「わからない」が同じく 16.8%となっています。

令和 6 年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加し、「ややそう思う」の割合が減少しています。さらに、「どちらともいえない」の割合がやや減少しています。



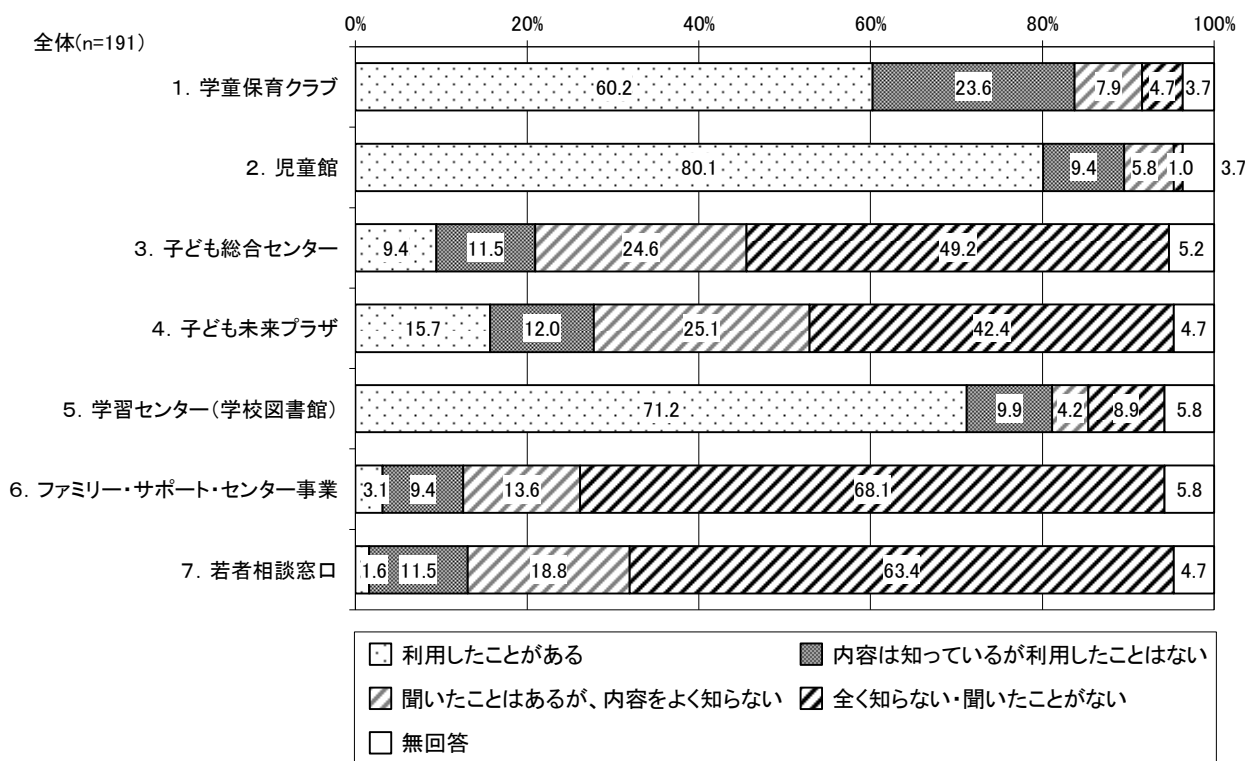
※令和 5 年度調査までの質問は「障害のあるなしにかかわらず、子ども同士が一緒に交流できる場所が充実している」

2 子ども・子育て支援に関する情報等についてお聞きします。

(13) 区で実施している子ども・子育て支援に関する施設・事業を知っていますか。

『児童館』は80.1%が、『学習センター（学校図書館）』は71.2%が、『学童保育クラブ』は60.2%が「利用したことがある」と回答しています。

一方、『ファミリー・サポート・センター事業』は68.1%が、『若者相談窓口』は63.4%が「全く知らない・聞いたことがない」と回答しています。



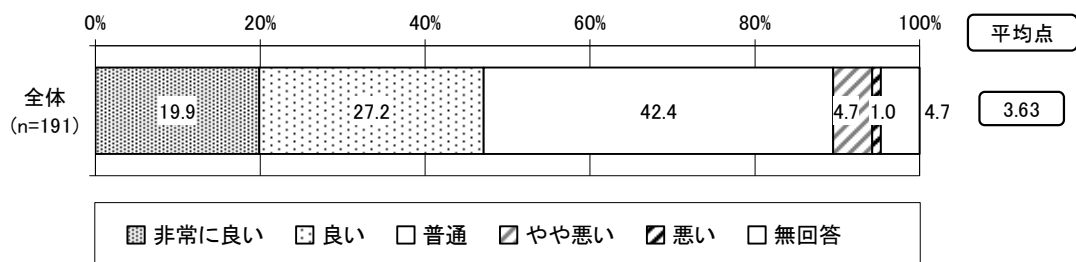
3 環境についてお聞きします。

(14) 自分の考えや判断を表現できる力を身につけ、大人に成長していく環境について、葛飾区の実践をどのように評価しますか。

【全体】

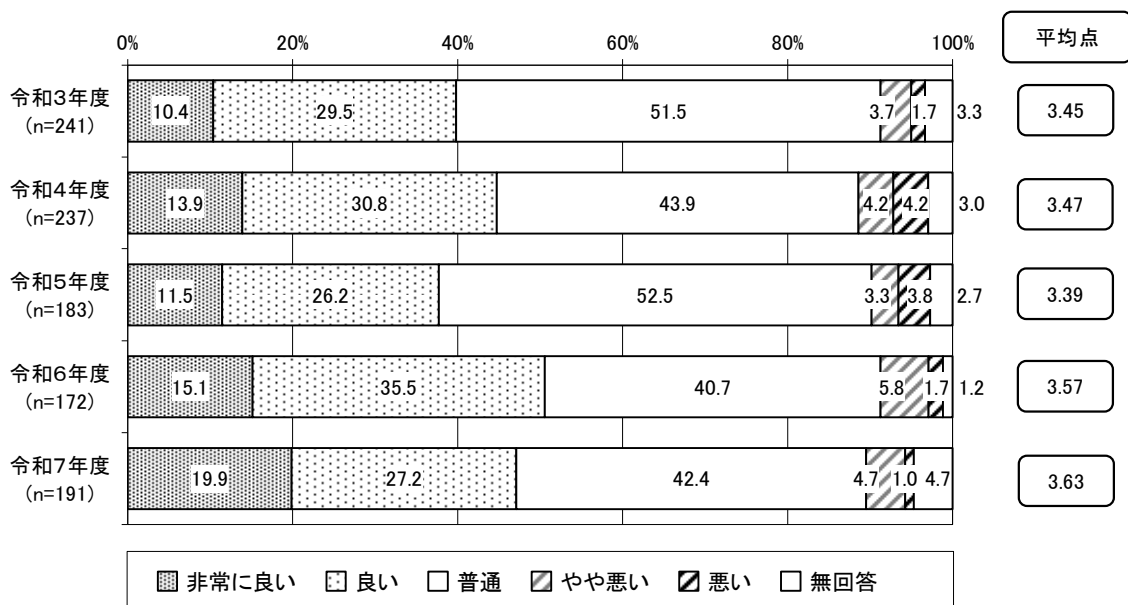
総合的な評価は、「非常に良い」「良い」の合計は47.1%、「やや悪い」「悪い」の合計は5.7%となっています。

「普通」が42.4%で最も多く、「良い」が27.2%、「非常に良い」が19.9%となっています。



【経年変化】

令和6年度調査と比較すると、「良い」の割合が減少し、「非常に良い」の割合がやや増加しています。



その他ご意見・ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

ご意見・ご要望等の記述があったのは、回収数 191 票中 10 票でした。記述内容を区の子育て支援の「基本目標」に従って分類すると、以下のような結果となりました。

分類項目	件数
基本目標 1. のびのび子育て！について	1
基本目標 2. すこやか子育て！について	0
基本目標 3. いきいき子育て！について	0
基本目標 4. あんしん子育て！について	8
基本目標 5. みんなで子育て！について	4
基本目標 6. つながる子育て！について	0
その他	1

以下に、主な意見を掲載します（文意を損なわない範囲で要約や表現の変更を行っている場合があります）。

基本目標 1. のびのび子育て！について

【子育て支援に関するアンケートについて】	
1	Hope next time English Form for the Foreigner to easy to Understand and Answer. Thank you. (次回は外国人向けに英語版の用紙を用意していただけると、理解しやすく回答もしやすいです。)

基本目標 4. あんしん子育て！について

【遊び場・居場所について】	
1	夏休みなどで、おともだちと遊べる施設がほしいです。
【公園のトイレについて】	
1	公園や休日遊ぶ学校のトイレをきれいにしてほしい。
【安心して遊べる公園づくりにについて】	
1	区立すなおし公園は禁煙のはずですが、いつもタバコを吸ってそのままポイ捨てるおばさん 2 人がいて不愉快です。夕方 4 時～5 時ぐらいです。飲んだジュースの缶もそのまま置いて帰ります。環境に悪いと思います。トイレが無い公園なのにおしっこをしてるおじいさんもいます。あと、すなおし公園はサッカーや野球は禁止と書いてありますが、キャッチボールをしてるだけなのにしょっちゅう通報する人が近所にいるみたいです。小さな子とお父さんがボール遊びをしてるだけなのに、通報されてお巡りさんが来たこともあります。子育ての環境が良い町とは思えないです。
【公園等の整備に関すること】	
1	水あそび、花火ができる公園をふやしてほしい！
2	ボールあそびができる公園をふやしてほしい！

【屋内施設の整備・暑さ対策について】	
1	学校からすずしく帰りたい!!
【防犯対策について】	
1	犯罪にいつもおびえています。もっと安心して遊んだり留守番ができる地域にしてほしいです。
2	公園に防犯カメラをつけてほしい。

基本目標5. みんなで子育て！について

【学校の指導・サポートについて】	
1	小学校のクラス替え頻度を変えてほしい。
【通学について】	
1	通学路の整備をもう少しちゃんとやってほしいです。
2	通学路にハチがいるが処理できない。学校には伝えたが聞いてもらっただけ。
【その他】	
1	土日の工程開放はあっても、他のクラブが利用してるのか予定表で分かるようにしてほしい。他のクラブチームがいると解放されていても遊びにくい。

その他

【その他】	
1	理科大（葛飾区にあるので）の優先オープンキャンパスなどがあると嬉しいです！（希望者制）

令和7年度 子育て支援に関するアンケート調査ご協力のお願い

葛飾区では、令和2年3月に「第二期葛飾区子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）」を策定し、「子どもの幸せを第一に考え、全ての子どもと子育て家庭に地域社会全体で寄り添い、支えることを通じて、子どもの最善の利益が実現される『かつしか』を目指していく。」ことを基本理念として、子育て支援に取り組んでまいりました。

区民の皆様には、子ども・子育て支援事業計画の事業がどの程度役立っているのか率直な評価をしていただき、さらに事業の充実に努めてまいりたいと考えております。

お忙しい中、誠に恐縮ではありますが、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

なお、アンケート調査は**無記名**です。また、ご記入いただいた内容は調査目的以外に使用することはありませんので、ご安心ください。

●調査の対象（合計 約2,500人）

このアンケート調査は、次の皆様にご協力をお願いしています。

対象の方	調査票受取方法	回答する方
区内子育て施設を利用しているお子様の保護者様 （幼稚園、認可保育園、家庭的保育事業所、認証 保育所、子育てひろば、小規模保育事業所、認定 こども園、児童館、子ども未来プラザ）	利用している施設で 配付	保護者様
区内子育て施設を利用している小学生とその保 護者様（学童保育クラブ）	利用している施設で 配付	施設を利用しているお 子様本人・保護者様
無作為抽出した区内に住む小学生、中学生、高校 生のお子様とその保護者様	自宅に郵送	宛名に記載されている お子様本人・保護者様

●調査回答方法（以下の2つをお選びいただけます。）

①オンライン回答

- ・ オンラインにより回答する場合は、次ページを参考に回答してください。

②紙での回答

- ・ 施設で調査票を受け取った場合は、施設へ提出してください。

●回答期限

お手数ですが、 **令和7年 7月14日（月）まで** をお願いいたします。

○お問い合わせ先○

葛飾区 子育て支援部

子育て政策課 子ども政策係

電話 03-5654-6136（直通）

03-3695-1111（代表）

内線 2432

オンライン回答方法

この調査は、スマートフォンやタブレット端末から回答することができます。

- 1 調査票の最初のページ上部に印刷されている二次元コードを読み取り、調査特設ページを開いてください。（または、ブラウザで <https://ks7ka.fmq.jp/Q/auto/ja/ks7ka/s/> を開いてください。）
- 2 ID と パスワードを半角英数字で入力してください。



令和7年度 子育て支援に関するアンケート(保護者用)
ユーザID・パスワードを入力してください。

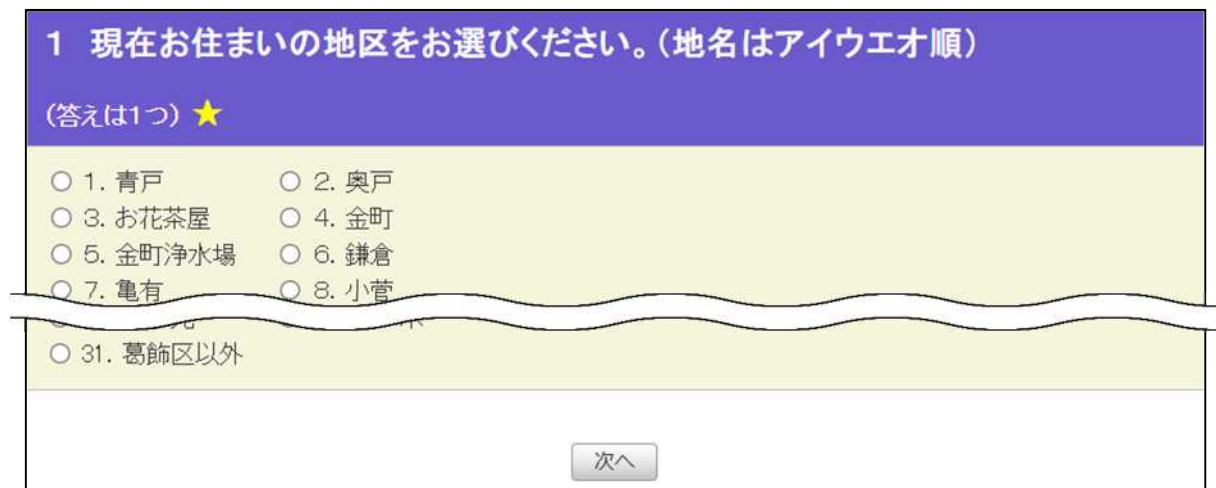
ユーザID

パスワード

ログイン

（上記 ID、パスワードから回答した方が特定されることはありません。）

- 3 画面に表示された説明文をよくお読みになり、画面下部の「次へ」をタップまたはクリックしてください。
- 4 それぞれの問いに対してあてはまる数字の左横にある○ボタンまたは□ボタンを、タップまたはクリックしてください。黄色い★マークがついた質問には必ず回答してください。
次のページへ進むには、ページ下部の「次へ」ボタンをタップまたはクリックしてください。



1 現在お住まいの地区をお選びください。(地名はアイウエオ順)

(答えは1つ) ★

☐ 1. 青戸 ☐ 2. 奥戸

☐ 3. お花茶屋 ☐ 4. 金町

☐ 5. 金町浄水場 ☐ 6. 鎌倉

☐ 7. 亀有 ☐ 8. 小菅

☐ 31. 葛飾区以外

次へ

- 5 回答を中断する場合は、ブラウザを閉じるか終了してください。
- 6 回答を再開する場合は、あらためて 1、2 の手順を進めると、前回終了したページが開くので続きを回答してください。
- 7 下記の画面が表示されたらアンケート調査は全て終了です。ブラウザを閉じるか終了してください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

※ オンラインで回答した場合は、調査票の提出は必要ありません。

アンケート調査票（保護者様用）

オンライン
回答用二次元コード



ID：00xxx PASS：00xx

該当する数字に○をつけてください。

1 現在お住まいの地区をお選びください。（地名はアイウエオ順）

1. 青戸	2. 奥戸	3. お花茶屋	4. 金町	5. 金町浄水場
6. 鎌倉	7. 亀有	8. 小菅	9. 柴又	10. 白鳥
11. 新小岩	12. 高砂	13. 宝町	14. 立石	15. 新宿
16. 西亀有	17. 西新小岩	18. 西水元	19. 東金町	20. 東新小岩
21. 東立石	22. 東堀切	23. 東水元	24. 東四つ木	25. 細田
26. 堀切	27. 水元	28. 水元公園	29. 南水元	30. 四つ木
31. 葛飾区以外				

2 お子様の年齢層をお選びください。

カッコ内には、お選びいただいた年齢層のお子様の 人数 をご記入ください。

1. 0～2歳（ ）	2. 3～5歳（ ）	3. 小学生以上（ ）
------------	------------	-------------

3 子育てに関するそれぞれの項目について、あなたの評価に最も近いものを一つお選びください。

☆【基本目標1. のびのび子育て！に関する質問】

（1）保育所・学童保育クラブなどの保育施設が充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

（2）保育所・学童保育クラブなどの保育時間が充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

（3）延長、休日及び子どもの病気などに対応する多様な保育が充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

（4）一時保育やベビーシッター利用支援事業など在宅家庭に対する保育サービスが充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

（5）育児中の親同士が出会いや交流できる場所（子育てひろばなど）が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (6) 保育所・学童保育クラブなどの施設や、子育てひろばなどの子育て支援事業について分かりやすく情報提供されている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

☆【基本目標2. すこやか子育て！に関する質問】

- (7) 子どもの発育など子育てに悩む親が相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (8) 妊娠から出産、産後までの相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (9) 子どもの病気に昼夜・休日を問わず適切に対応する医療機関が充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (10) 妊娠期を含めた子育て中の親（父親を含む）に、子育てについて学ぶ機会が提供されている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (11) 悩みを持つ若者の相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

☆【基本目標3. いきいき子育て！に関する質問】

- (12) 仕事と育児の両立ができるように職場での支援体制が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (13) 男性が積極的に家事・育児に取り組むことへの理解が進んでいる。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

☆【基本目標4. あんしん子育て！に関する質問】

- (14) 乳幼児を連れた親が安心して外出できるように、公共施設などにおむつ替えや授乳などができるスペースが充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(15) 保護者と乳幼児が利用しやすい公園・児童遊園が充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(16) 様々な事情のある子どもが、自分らしく生き、社会的な自立につながる支援体制が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(17) 子どもを犯罪から守る地域の取り組みが充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(18) 子どもが安心して利用できる防犯、安全に配慮した公園・児童遊園が整備されている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(19) 災害時に子どもが守られる環境が整備されている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

☆【基本目標5. みんなで子育て！に関する質問】

(20) 小・中学生と乳幼児が触れ合い、子育てへの関心が高められる機会が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(21) 子育てに関する地域の活動が活発で、身近なところで支援を受ける環境が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(22) 子育てを支援するための講座や自主サークル活動がしやすい環境が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

※ (23)～(27)は、小学生以上のお子様がいる保護者の方にお尋ねします。
小学生以上のお子様がいらない保護者の方は(28)にお進みください。

(23) 子どもたちは、元気に、楽しく学校に通っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(24) 学校においては、勉強に取り組める環境が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(25) 学校においては、スポーツに取り組める環境が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(26) 学校と家庭や地域の方が連携して、一人一人の子どもの個性を活かしながら活動できる環境が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(27) 子ども自身が食に関心を持ち、家庭や学校などで楽しく食事の時間を過ごしている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

☆【基本目標6. つながる子育て！に関する質問】

(28) 児童虐待防止への取り組みが充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(29) 障害のあるなしにかかわらず、子どもたちが共に交流できる場が充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(30) 乳幼児の障害を早期に発見・相談できる体制が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(31) ひとり親家庭への経済的・精神的な支援が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

4 子ども・子育て支援に関する情報提供についてお伺いします。

(32) 子育てに関する区の情報をどのように得ていますか。

(あてはまるもの全てに○を付けてください)

1. 広報かつしか	2. 区公式ホームページ	3. かつしか子育てマップ
4. その他のホームページ ()		5. 区公式フェイスブック
6. 区公式 X (旧ツイッター)	7. 区公式 LINE	8. 育児支援ガイドブック
9. その他の方法 ()		10. 特に得ていない

(33) 区で実施している子ども・子育て支援に関する施設・事業を知っていますか。

	利用した ことがあ る	内容は知って いるが利用し たことはない	聞いたことは あるが、内容を よく知らない	全く知らない・ 聞いたことが ない
1 認可保育所	1	2	3	4
2 幼稚園	1	2	3	4
3 認定こども園	1	2	3	4
4 認証保育所	1	2	3	4
5 家庭的保育事業所（保育ママ）	1	2	3	4
6 小規模保育事業所	1	2	3	4
7 夜間保育所（白鳥ふたば保育園）	1	2	3	4
8 学童保育クラブ	1	2	3	4
9 児童館	1	2	3	4
10 子ども総合センター	1	2	3	4
11 子ども未来プラザ	1	2	3	4
12 学習センター（学校図書館）	1	2	3	4
13 病児・病後児保育事業	1	2	3	4
14 休日保育事業	1	2	3	4
15 延長保育事業	1	2	3	4
16 定期利用保育事業	1	2	3	4
17 一時保育事業	1	2	3	4
18 幼稚園の預かり保育	1	2	3	4
19 ファミリー・サポート・センター事業	1	2	3	4
20 ショートステイ事業	1	2	3	4
21 トワイライトステイ事業	1	2	3	4
22 育児支援訪問事業	1	2	3	4
23 子育てひろば事業	1	2	3	4
24 妊婦健康診査費用助成	1	2	3	4
25 こんにちは赤ちゃん訪問事業	1	2	3	4
26 利用者支援事業 （子ども未来プラザや保健センターで行う、子育て支援 事業等に関する情報提供及び相談）	1	2	3	4
27 ベビーシッター利用支援事業	1	2	3	4
28 産後ケア事業	1	2	3	4
29 ゆりかご葛飾	1	2	3	4
30 若者相談窓口	1	2	3	4
31 ぐらしのまるごと相談窓口 （「ヤングケアラー」などぐらしに関する困りごとの相談窓口）	1	2	3	4

5 子育て環境について伺います。

あなたの考えに最も近いものを一つ選んでください。

(34) 安心して子育てができる環境について、葛飾区を総合的にどのように評価しますか。

非常に良い	良い	普通	やや悪い	悪い
1	2	3	4	5
(選んだ理由がありましたらご記入ください。)				

その他ご意見・ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

[illegible]

以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

ご記入されたアンケート調査票の紙は、調査票を施設で受け取った場合には施設へ提出していただき、調査票を郵送にて受け取った場合は、返信用封筒にて提出してください。

オンラインで回答した場合は紙での提出は不要です。

令和7年度 子育て支援に関するアンケート調査 (お子様用)

● 調査票の回収方法 (以下の2つを選べます。)

① オンライン回答 (お子様と保護者様別々のタイミングで構いません。)

- ・ オンラインにより回答する場合は、以下を参考に回答を作成してください。

② 紙での回答

- ・ 同封の返信用封筒にて、お子様と保護者様別々に提出できます。

● 回答期限

お手数ですが、**令和7年7月14日(月)までに** お願いいたします。

オンライン回答方法

この調査は、スマートフォンやタブレット端末から回答することができます。

1 調査票の最初のページ上部に印刷されている二次元コードを読み取り、調査特設ページを開いてください。

(または、ブラウザで <https://ks7kc.fmq.jp/Q/auto/ja/ks7kc/s/> を開いてください。)

2 ID と パスワードを半角英数字で入力してください。

令和(れいわ)7年度(ねんど) 子育て(こそだ)で支援(しえん)に関(かん)するアンケート(お子様用(こさまよう))

ユーザID・パスワードを入力してください。

ユーザID	
パスワード	
ログイン	

(上記 ID、パスワードで、回答した方が特定されることはありません。)

3 画面に表示された説明文をよくお読みになり、画面下部の **次(つぎ)へ** をタップまたはクリックしてください。

令和(れいわ)7年度(ねんど) 子育て(こそだ)で支援(しえん)に関(かん)するアンケート(お子様用(こさまよう))
ご協力(きょうりょく)のお願い(ねが)い

葛飾区(かつしかく)では、令和(れいわ)2年(ねん)3月(がつ)に「第二期(だいにぎ)葛飾区(かつしかく)子(こ)ども・子育て(こそだ)で支援事業計画(しえんじぎょうけいかく)(令和(れいわ)2年度(ねんど)～令和(れいわ)6年度(ねんど))」を策定(さくてい)し、「子(こ)どもの幸(しあわ)せを第一(だいいち)に考(かんが)え、全(すべ)ての子(こ)どもと子育て(こそだ)で家庭(かてい)に地域社会全体(ちいきしゃかいせんたい)で寄(よ)り添(そ)い、支(ささ)えることを通(つう)じて、子(こ)どもの最善(さいぜん)の利益(りえき)が実現(じつげん)される『かつしか』を目指(めざ)していく。」ことを基本理念(きほんりねん)として、子育て(こそだ)で支援(しえん)に取(と)り組(く)んでまいりました。

区民(くみん)の皆様(みなさま)には、子(こ)ども・子育て(こそだ)で支援事業計画(しえんじぎょうけいかく)の事業(じぎょう)がどの程度(ていど)役立(やくだ)っているのか率直(そっちょく)な評価(ひょうか)をしていただき、さらに事業(じぎょう)の充実(じゅうじつ)に努(つと)めてまいりたいと考(かんが)えております。

お忙(いそが)しい中(なか)、誠(まこと)に恐縮(きょうしゅく)ではありますが、何卒(なにとぞ)ご協力(きょうりょく)のほどお願い(ねが)い申(もう)し上(あ)げます。

なお、アンケート調査(ちょうさ)は無記名(むきめい)です。また、ご記入(きにゅう)いただいた内容(ないよう)は調査目的(ちょうさもくてき)以外(いがい)に使用(しよう)することはありませんので、ご安心(あんしん)ください。

- 4 それぞれの問いに対してあてはまる○ボタンまたは□ボタンを、タップまたはクリックしてください。黄色の★マークがついている質問は、必ず答えてください。
- 次のページへ進むには、ページ下部の  ボタンをタップまたはクリックしてください。

以下(いか)の質問(しつもん)にお答(こた)えください。

★黄色(きいろ)の星(ほし)マークがついている質問(しつもん)は、かならず答(こた)えてください。

1 それぞれの項目(こうもく)について、あなたの評価(ひょうか)に最(もっと)も近(ちか)いものを一(ひと)つお選(えら)びください。

(1) いろいろな悩(なや)みや心配(しんぱい)ことがあっても、自分(じぶん)らしく生(い)き、成長(せいちょう)できるような支援(しえん)がされている。

(答えは1つ) ★

- ☐ 1. そう思(おも)う
- ☐ 2. ややそう思(おも)う
- ☐ 3. どちらともいえない
- ☐ 4. あまりそう思(おも)わない
- ☐ 5. そう思(おも)わない
- ☐ 6. わからない

- 5 回答(かいとう)を中 断(ちゅうだん)する場合は、ブラウザを閉(ふ)じるか 終 了(しゅうりょう)してください。
- 6 回答(かいとう)を再 開(さいかい)する場合は、あらためて1、2の手 順(ていじゆん)を進めると、前回 終 了(ぜんかいしゅうりょう)したページが開(ひら)くので続(つづ)きを回答(かいとう)してください。
- 7 下 記(か き)の画 面(がめん)が表 示(ひょうじ)されたらアンケート調査(ちょうさ)は全 体(すべ) 終 了(しゅうりょう)です。ブラウザを閉(ふ)じるか 終 了(しゅうりょう)してください。

以上(いじょう)で終(お)わりです。ご協力(きょうりょく)ありがとうございました。

※ オンラインで回答(かいとう)した場合は、紙(かみ)での提 出(ていしゅつ)は必要(ひつよう)ありません。



ID : 00xxx PASS : 00xx

あてはまる数字に○をつけてください。

1 それぞれの項目について、あなたの評価に最も近いものを一つお選びください。

- (1) いろいろな悩みや心配ごとがあっても、自分らしく生き、成長できるような支援がされている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (2) 犯罪から守られる地域の取組が充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (3) 安全・安心に利用できる公園が整備されている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (4) 災害時に守られる環境が整備されている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (5) 小学校に入る前の子どもとの交流や子どもを育てることについて学ぶ機会がある。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (6) 元気に楽しく学校に通っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (7) 学校では勉強に取り組める環境が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (8) 学校ではスポーツに取り組める環境が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (9) 学校と家庭や地域と一緒に、自分の個性を生かして活動できる環境が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(10) 家庭や学校などで楽しく食事の時間を過ごしている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(11) 虐待（暴力）から守られ、気軽に相談できる環境が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(12) 障害のあるなしにかかわらず、一緒に学んだり、遊んだりできる場所が充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

2 子ども・子育て支援に関する情報提供等についてお聞きします。

(13) 区で実施している子ども・子育て支援に関する施設・事業を知っていますか。

	利用したことがある	内容は知っているが利用したことはない	聞いたことはあるが、内容をよく知らない	全く知らない・聞いたことがない
1 学童保育クラブ	1	2	3	4
2 児童館	1	2	3	4
3 子ども総合センター	1	2	3	4
4 子ども未来プラザ	1	2	3	4
5 学習センター（学校図書館）	1	2	3	4
6 ファミリー・サポート・センター事業	1	2	3	4
7 若者相談窓口	1	2	3	4

3 環境についてお聞きします。

あなたの考えに最も近いものを一つ選んでください。

(14) 自分の考えや判断を表現できる力を身につけ、大人に成長していく環境について、葛飾区の取組をどのように評価しますか。

非常に良い	良い	普通	やや悪い	悪い
1	2	3	4	5
（選んだ理由がありましたらご記入ください。）				

その他ご意見・ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

以上で終わります。ご協力ありがとうございました。

ご記入されたアンケート調査票の紙は、同封の封筒をご使用いただき、ご提出ください。

※ オンラインで回答した場合は紙での提出は不要です。